

福井市の 現状データ集

令和5年6月
福井市 総合政策課



活用方法

- この資料は、統計データなどをグラフ化し、福井市の現状を「見える化」したものです。
- 「第八次福井市総合計画」に掲げる14の政策ごとにデータを分類し、掲載しています。
- 下記のような様々なシーンでご活用いただけます。



会議や審議会での
手持資料として



施策立案や予算要求時
の根拠資料※として



計画策定時の
参考資料として



福井市の
紹介の資料として

※近年、データを活用した合理的根拠に基づく政策立案(EBPM)の手法が注目されています。
エクセル形式等でのデータを提供できるものもありますので、総合政策課(20-5283)までお問い合わせ下さい。

目次

人口・財政



- (1)総人口の現状と予測 ……4
- (2)人口構成の現状と予測 ……5
- (3)出生・死亡の現状(自然動態) ……6
- (4)転入・転出の現状(社会動態) ……7
- (5)財政状況の推移 ……8

政策1 公共交通



- (1)新幹線の延伸 ……9
- (2)新幹線開業効果 ……10 **NEW!**
- (3)並行在来線の運行 ……11
- (4)公共交通輸送 ……12
- (5)バス等の路線 ……13
- (6)すまいるバスの運行状況 ……14 **NEW!**
- (7)レンタサイクル ……15

政策2 中心市街地



- (1)福井駅周辺の再開発 ……16
- (2)空き店舗 ……17
- (3)まちなかのにぎわい ……18
- (4)足羽山のにぎわい ……19

政策3 生活インフラ



- (1)公共施設の状況(インフラ施設) ……20
- (2)公共施設の状況(建物施設) ……21
- (3)空き家(推移) ……22 **NEW!**
- (4)空き家(地区別) ……23
- (5)下水道 ……24
- (6)水道 ……25

政策4 地域活性化



- (1)若者の県内定着状況 ……26
- (2)三世代同居 ……27 **NEW!**
- (3)地区別人口変動 ……28 **NEW!**
- (4)自治会加入率 ……29

政策5 共生、協働



- (1)女性の就業 ……30
- (2)夫婦の育児・家事、労働時間 ……31
- (3)男性の育児休業 ……32
- (4)市内在留外国人数の推移 ……33
- (5)ボランティア ……34

政策6 福祉



- (1)医療 ……35
- (2)出生の状況 ……36
- (3)保育 ……37
- (4)児童虐待 ……38
- (5)平均寿命と健康寿命 ……39
- (6)高齢化(地区別) ……40
- (7)介護 ……41
- (8)障がい者 ……42
- (9)生活保護 ……43
- (10)生活相談 ……44 **NEW!**
- (11)ひきこもり ……45
- (12)保健衛生 ……46

政策7 環境



- (1)ごみ ……47
- (2)自然エネルギー、公害 ……48
- (3)気温変動、温室効果ガス ……49

政策8 防災、安全安心



- (1)火災・救急 ……50
- (2)自然災害 ……51
- (3)犯罪 ……52
- (4)消費者トラブル ……53
- (5)交通事故 ……54
- (6)運転免許返納 ……55

政策9 農林水産業



- (1)農業 ……56
- (2)漁業 ……57
- (3)林業 ……58
- (4)有害鳥獣の被害 ……59

政策10 商工業



- (1)所得 ……60
- (2)製造業(出荷額) ……61
- (3)製造業(従業者・事業所数) ……62
- (4)有効求人倍率 ……63
- (5)開業率・廃業率 ……64

政策11 観光



- (1)観光 ……65
- (2)観光地別 観光客入込数 ……66
- (3)外国人観光客 ……67
- (4)新幹線開業に関する認知度 ……68 **NEW!**

政策12 文化、歴史、自然



- (1)文化指標の都道府県順位 ……69
- (2)文化財 ……70

政策13 学校教育



- (1)学力全国順位 ……71
- (2)体力全国順位 ……72
- (3)英語力 ……73
- (4)子どもの健康(肥満) ……74 **NEW!**

政策14 生涯教育、生涯スポーツ



- (1)生涯学習 ……75
- (2)図書館 ……76
- (3)スポーツ ……77

その他

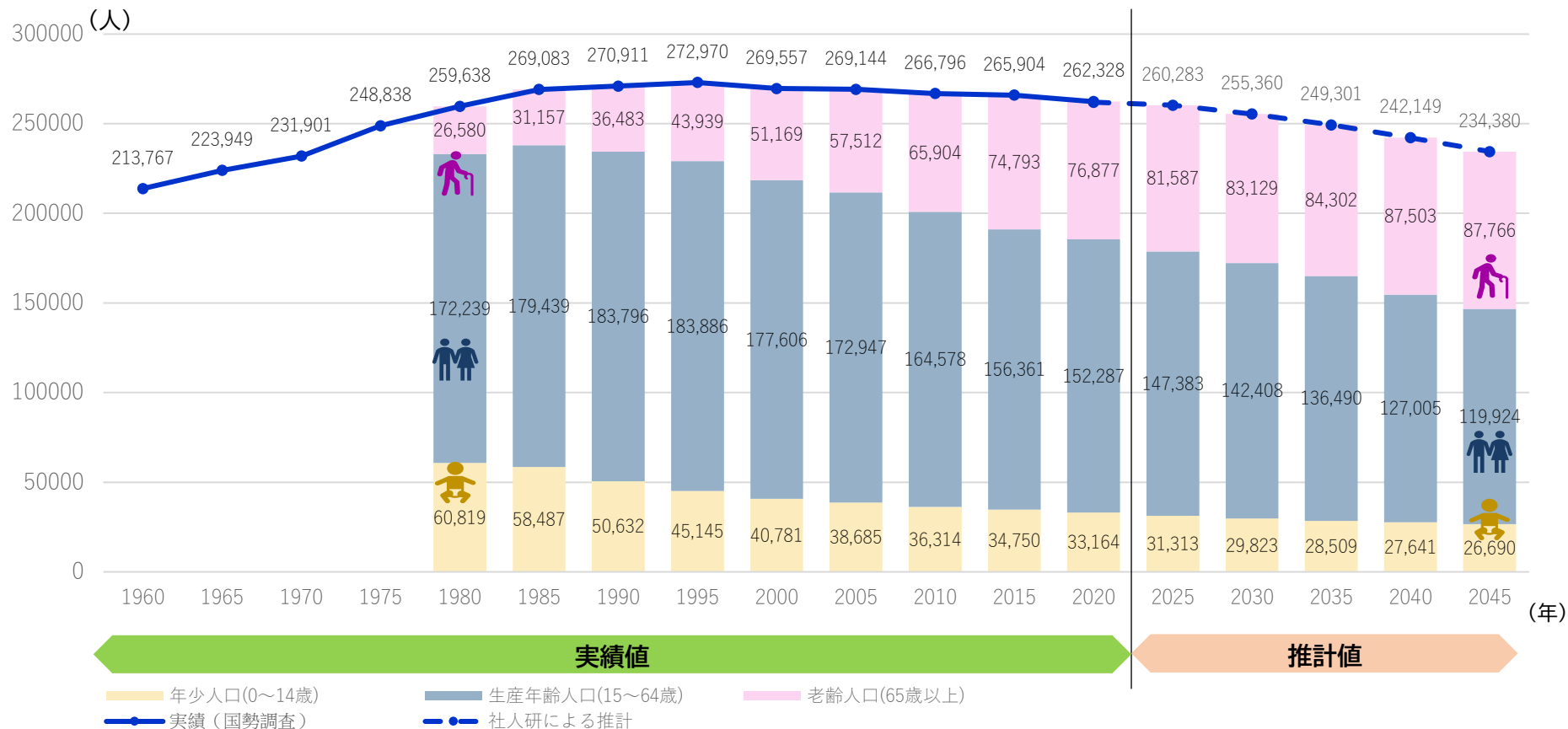


- (1)住みよさランキング(全国順位) ……78
- (2)住みよさランキング(本市の特徴) ……79 **NEW!**
- (3)中核市との比較 ……80
- (4)地域幸福度(Well-Being)客観指標 ……81 **NEW!**

(1) 総人口の現状と予測

○本市の人口は、1995年の約27万3千人がピーク。
 ○減少傾向が続くと予測されており、2045年には、2020年より約2万8千人(約1割弱)減少する見通し。

●本市の人口と将来推計

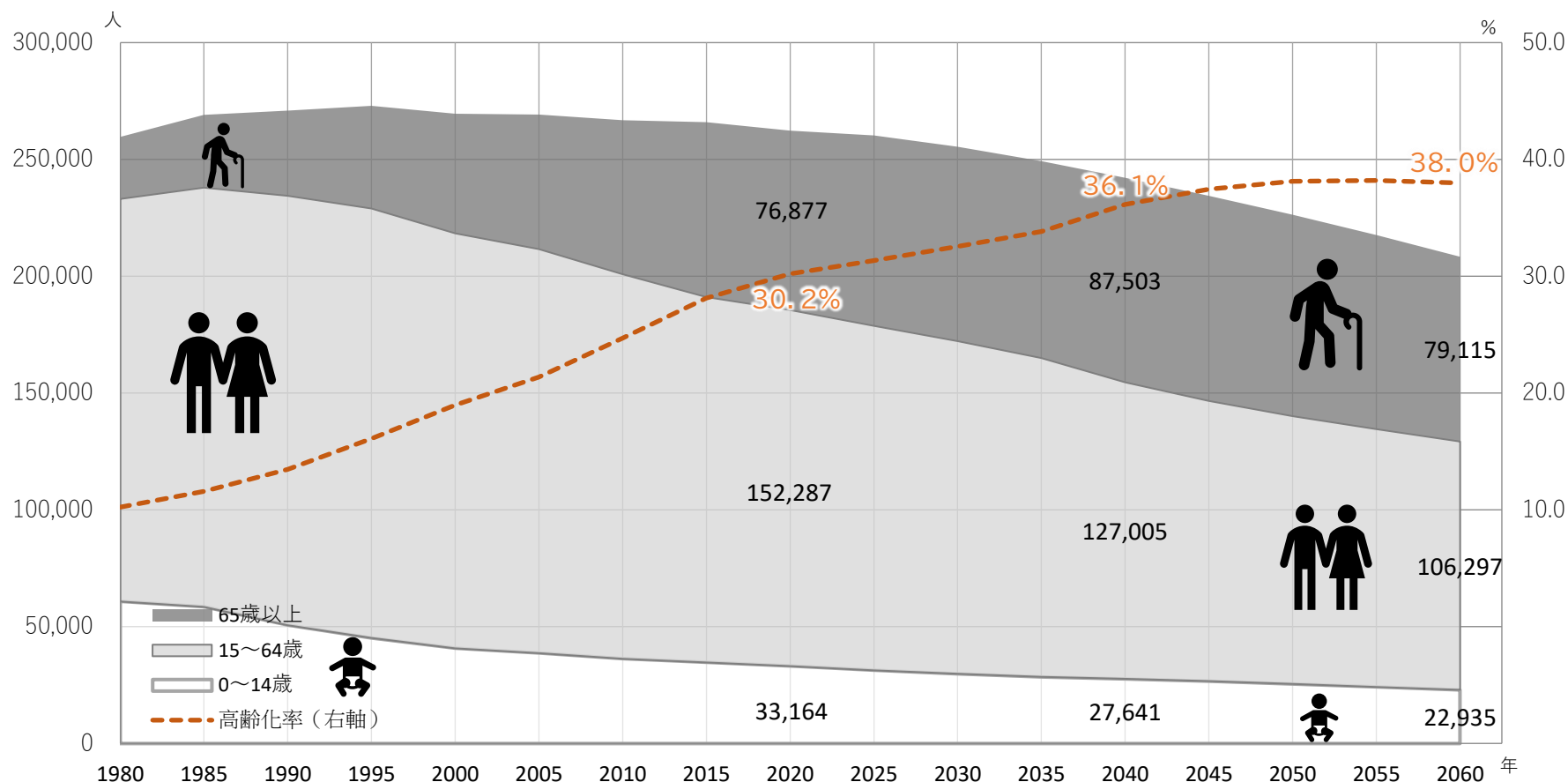


出典：実績値…国勢調査（～2020）
 推計値…国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30年推計)」

(2)人口構成の現状と予測

- 年少人口(0～14歳)は減少し続け、2040年には、2020年に比べて約6千人減少して8割程度となる。
- 生産年齢人口(15～64歳)も大幅な減少が見込まれ、2040年には、2020年に比べて約2万5千人の減少となる。
- 高齢化率は上昇し続け、約38%で高止まりする。

●本市の年齢3区分別人口の推移：2015年国勢調査に基づく社人研中位推計



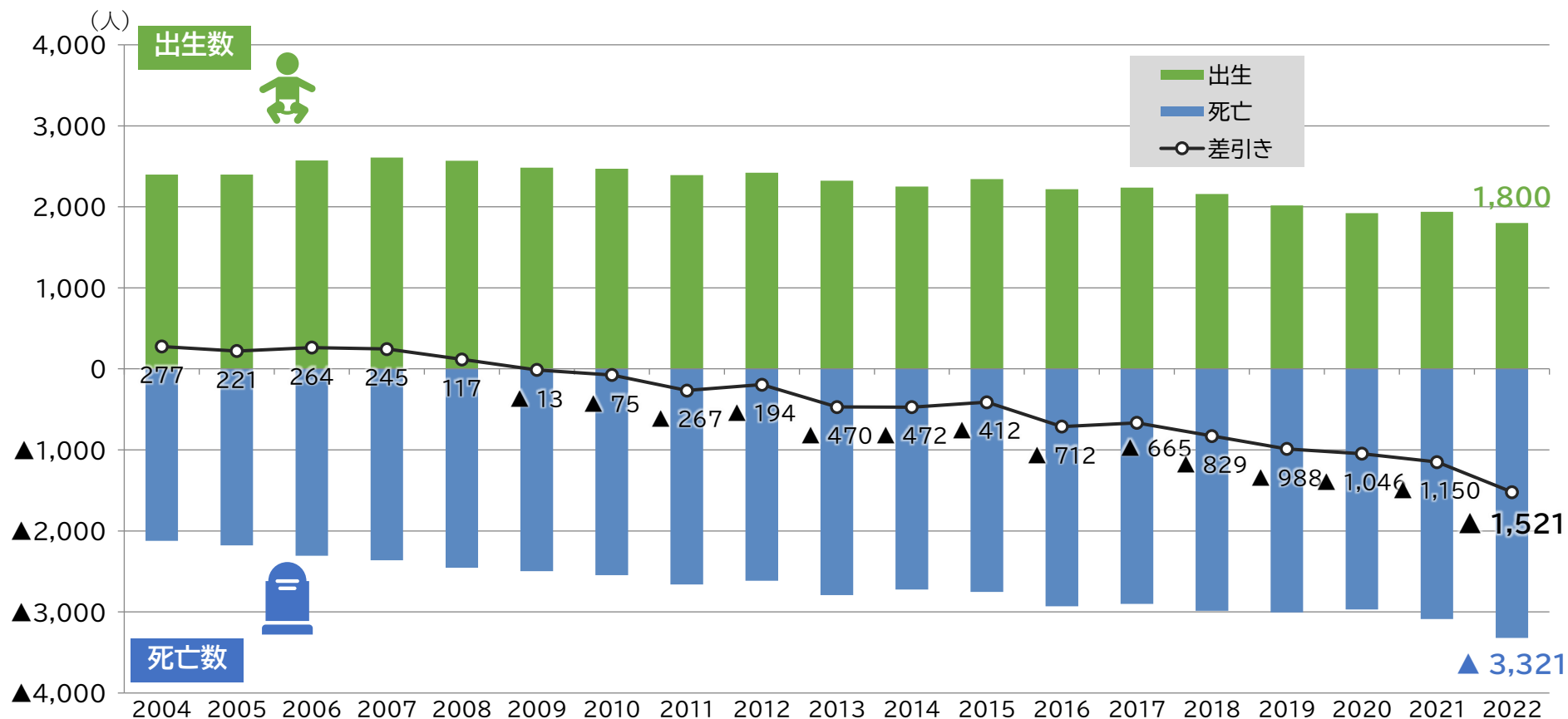
出典：実績値…国勢調査（～2020）

推計値…国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30年推計)」

(3) 出生・死亡の現状(自然動態)

○2009年以降、死亡数が出生数を上回っており、その差は1,500人以上にまで拡大している。

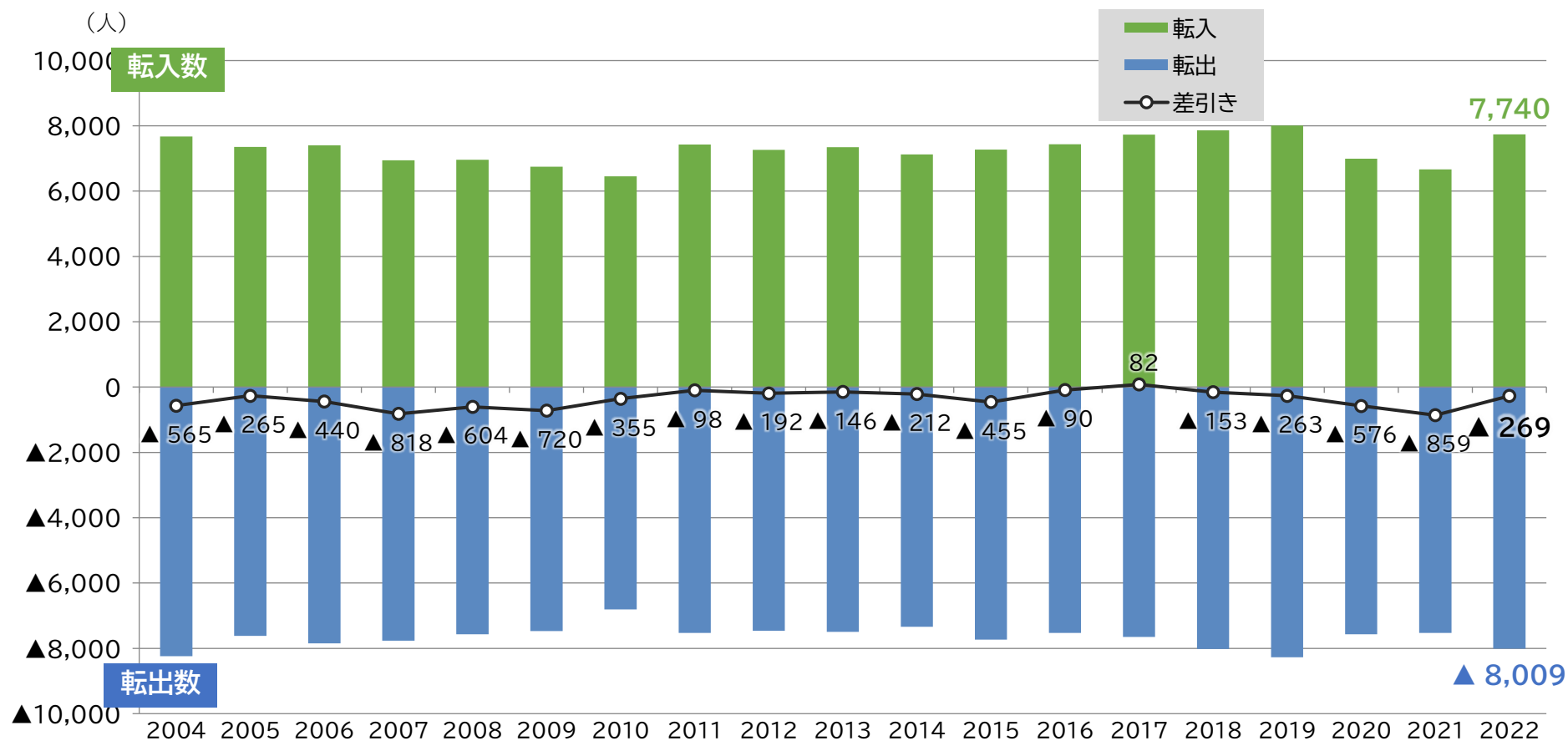
●本市の出生・死亡の現状



(4) 転入・転出の現状(社会動態)

○市外への転出者が転入者を上回っており、人口流出が続いている。

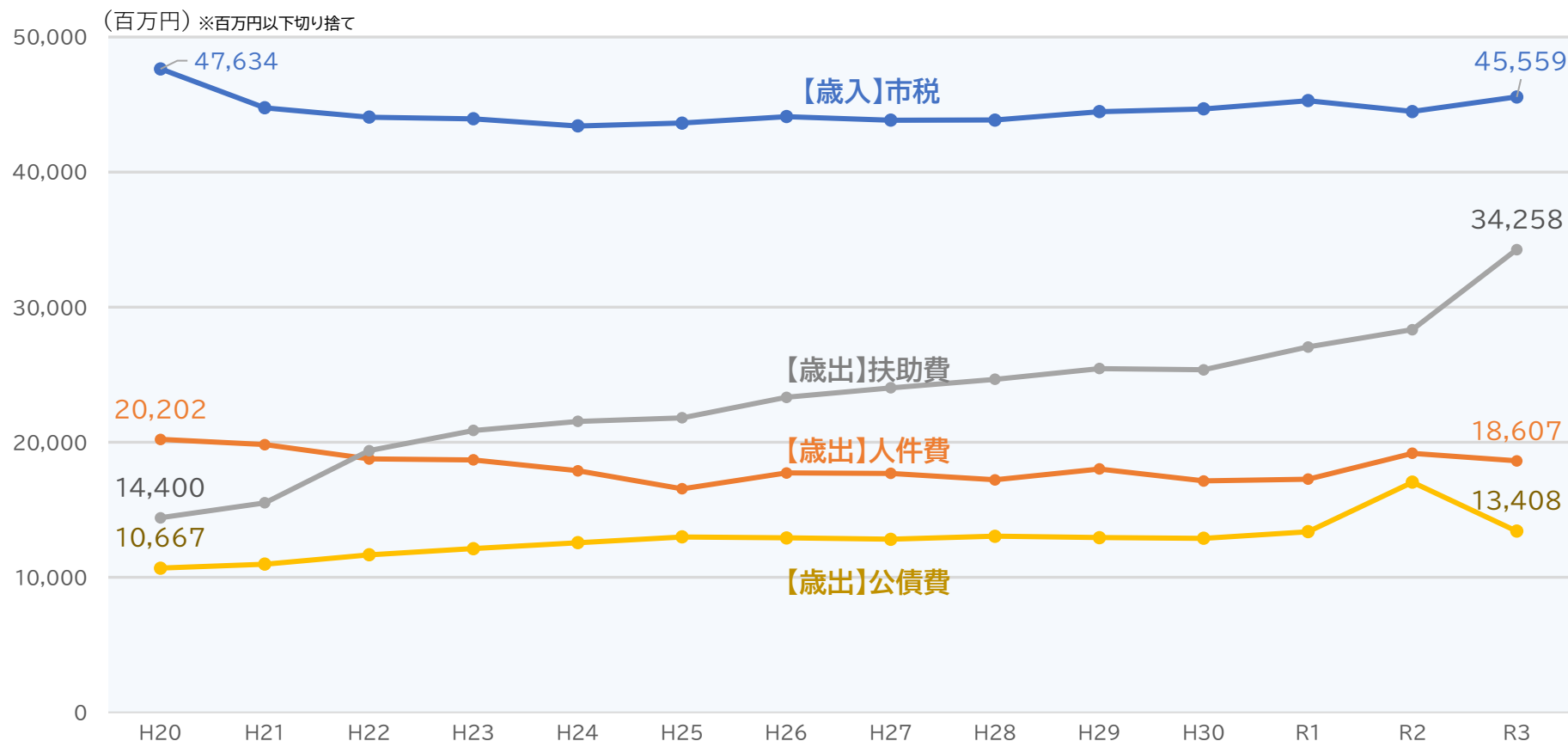
●本市の転入・転出の現状



(5) 財政状況の推移

- 歳入の根幹となる市税収入については、ほぼ横ばいとなっている。
- 令和3年度の歳出では、コロナ対策として実施した子育て世帯などへの給付金支給などにより、扶助費が大幅に増加している。

●本市の主要な歳入・歳出決算額(普通会計)の推移



扶助費・・・社会保障制度の一環として地方公共団体が各種法令に基づいて実施する給付や、地方自治体が単独で行っている各種扶助に係る経費。
公債費・・・地方公共団体が発行した地方債の元利償還等に要する経費。

(総務省 地方財政白書 用語の解説より)

出典：市町村決算カード

公共交通

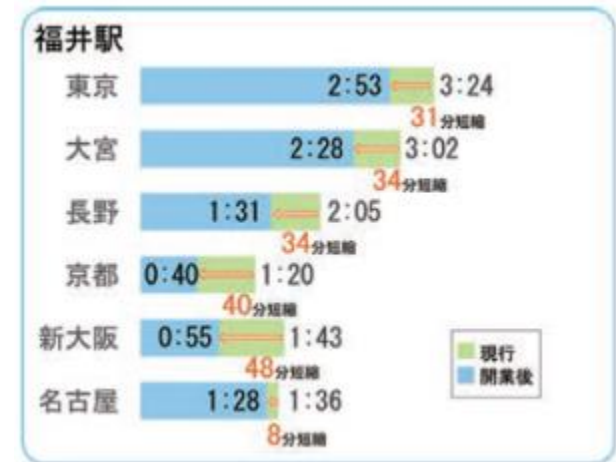
(1) 新幹線の延伸

- 新幹線福井開業により、首都圏をはじめとする沿線地域との移動時間が大幅に短縮され、上京、帰省等が容易になる。
- 福井が日帰り圏内となることにより、首都圏からの旅行者の増加が見込まれ、観光やビジネスの可能性が拡大する。

●「北陸新幹線」駅・ルート図



●福井駅から各都市への所要時間(全線開業後)



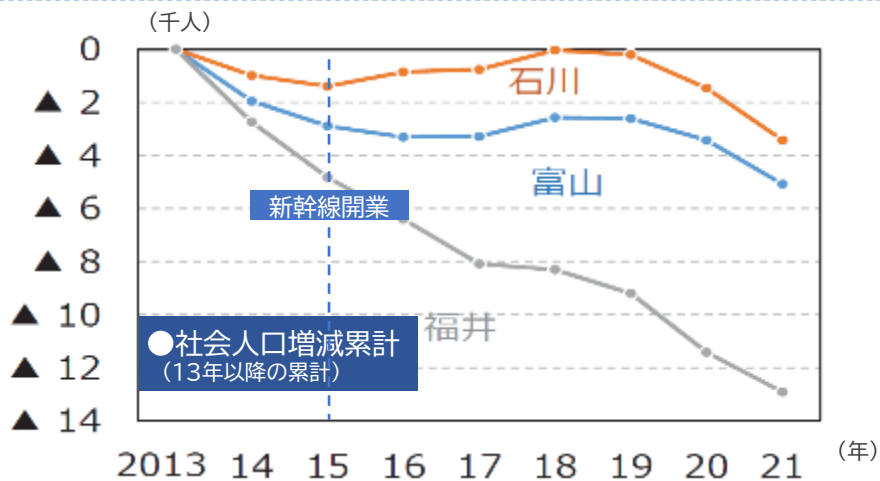
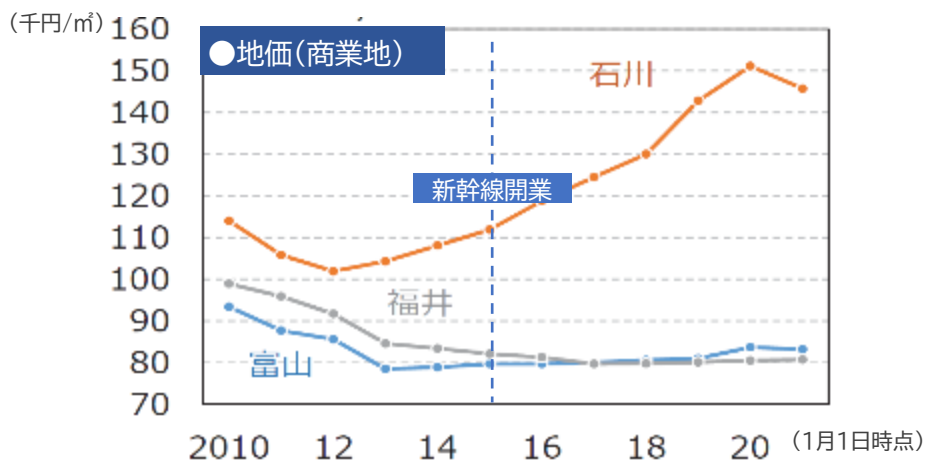
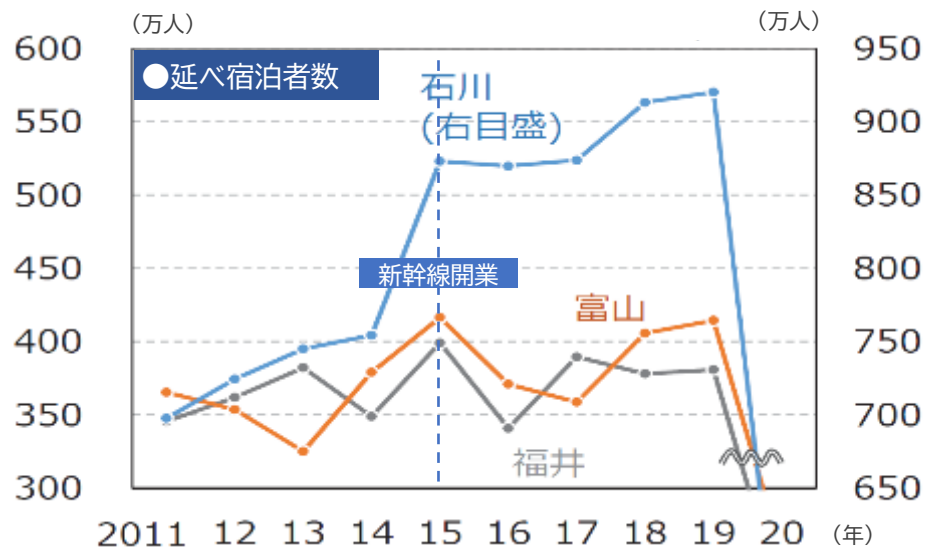
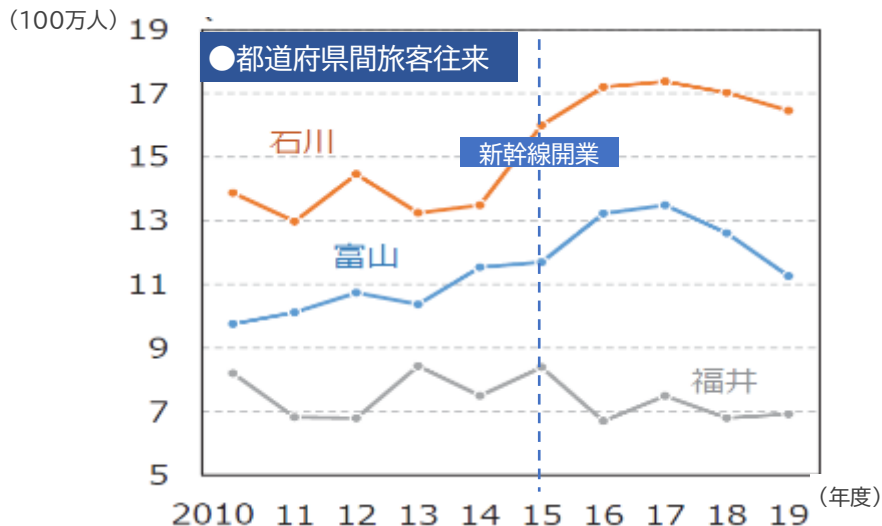
※現行の所要時間は、R5.3.18改正ダイヤの最速値を使用
※開業後の所要時間は、国土交通省調査(H29.3)に基づく最速値及び福井県試算値(乗り換え時間10分)
※所要時間は想定値であり、開業後の運行ダイヤはJRが決定

公共交通

(2)新幹線開業効果

○新幹線金沢開業を契機に、特に石川県では「旅客往来数増」「宿泊者数増」「社会人口の下止まり」「地価上昇」がみられた。

●北陸3県における北陸新幹線金沢開業効果



公共交通

(3) 並行在来線の運行

○北陸新幹線敦賀開業後は、並行在来線(北陸本線)の運行は、第三セクター鉄道会社(株ハピラインふくい)が実施。
 ○1日あたり約20,000人が利用しており、また1日あたり102本が運行されている。

●ハピラインふくいの運行



北陸本線（敦賀駅～大聖寺駅）普通列車の概要

乗車人員 約20,000人/日

運行本数 102本/日

営業区間 約84km 18駅(大聖寺駅を除く)



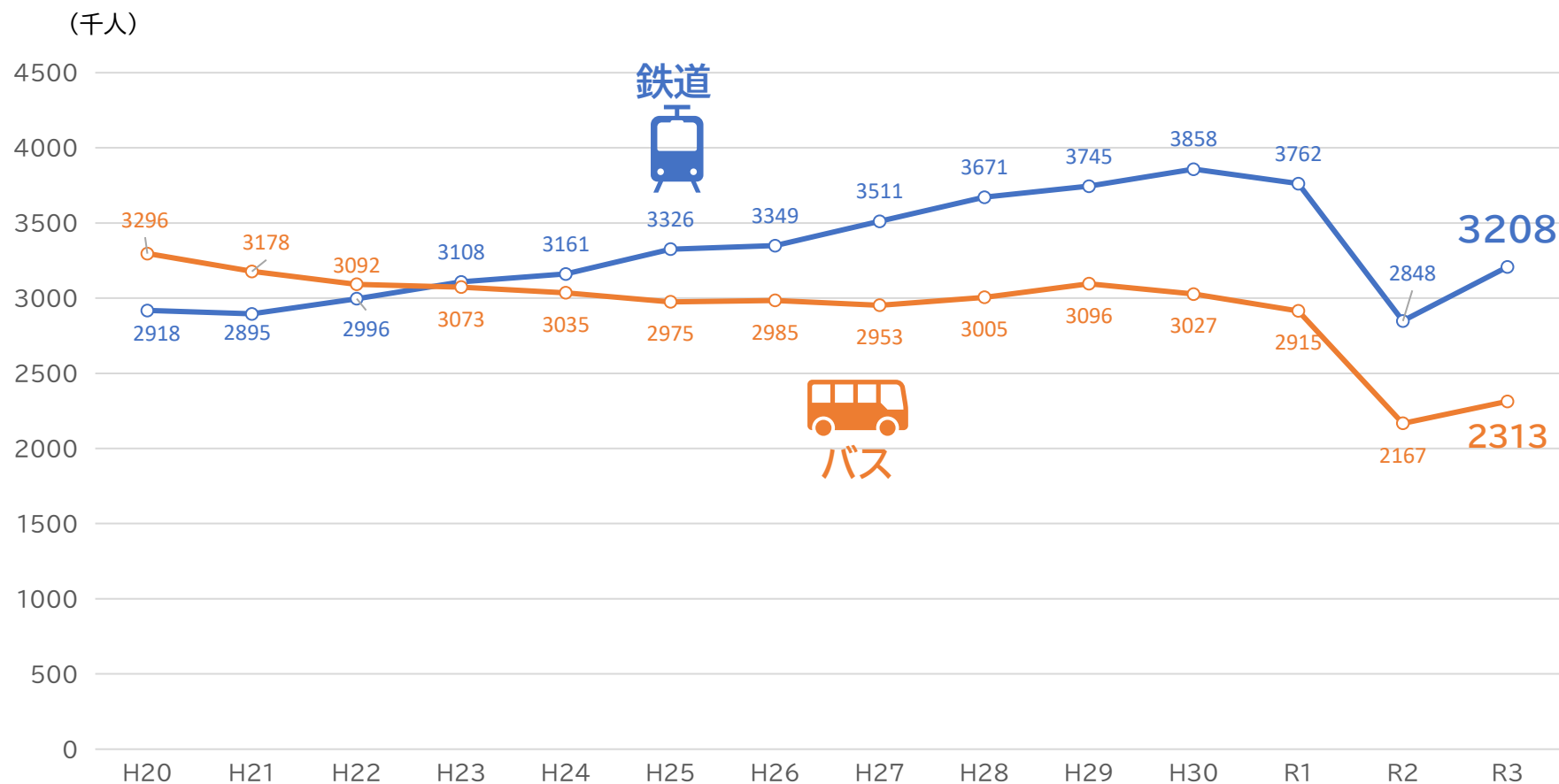
出典：ハピラインふくい ホームページより

公共交通

(4)公共交通輸送

○鉄道・バスの輸送人員は、コロナ禍の影響により大きく落ち込んだが、令和3年度以降、回復傾向にある。

●福井市内の鉄道・バス輸送人員の推移



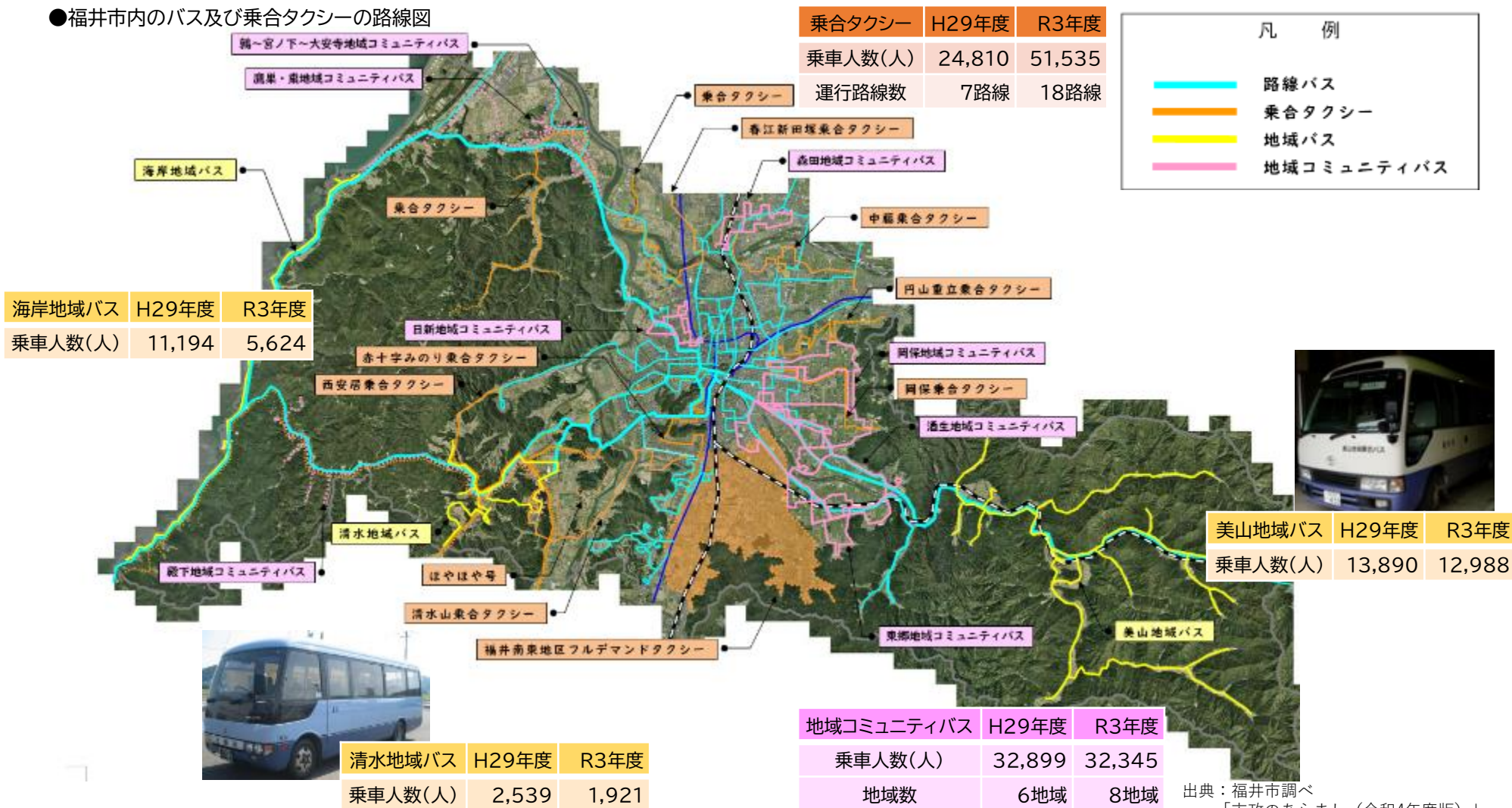
出典：福井市調べ

公共交通

(5)バス等の路線

○各地域の実情に応じた様々な運行形態のバスやタクシーが運行している。

●福井市内のバス及び乗合タクシーの路線図



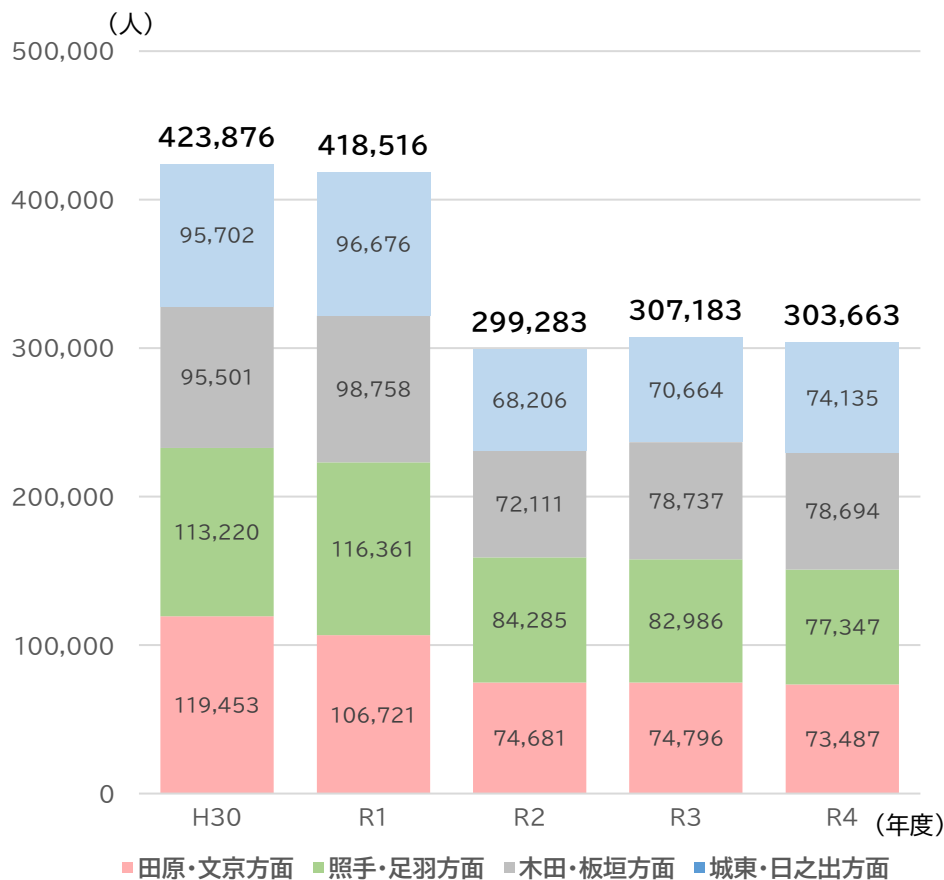
出典：福井市調べ
「市政のあらまし（令和4年度版）」

公共交通

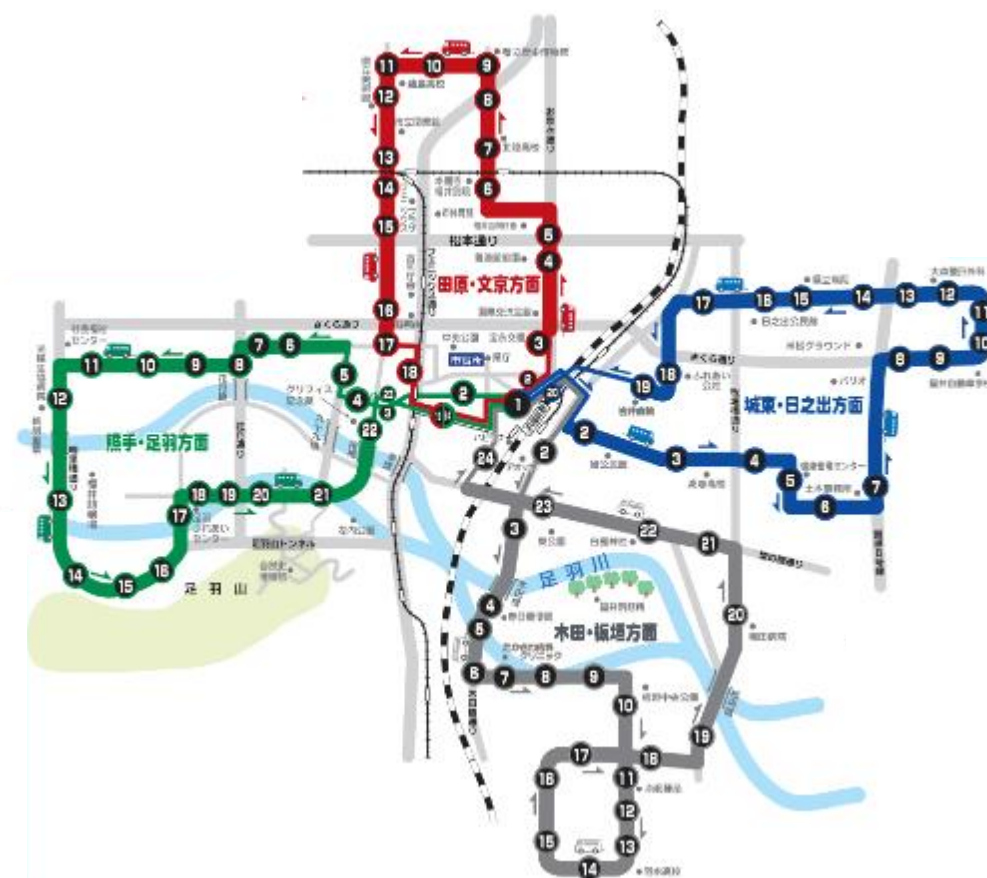
(6)すまいるバスの運行状況

○中心市街地を循環する「すまいるバス」では、令和4年度には約30万人の市民等が利用している。

●すまいるバス 利用者数の推移



●運行ルート(2022年4月1日改正)

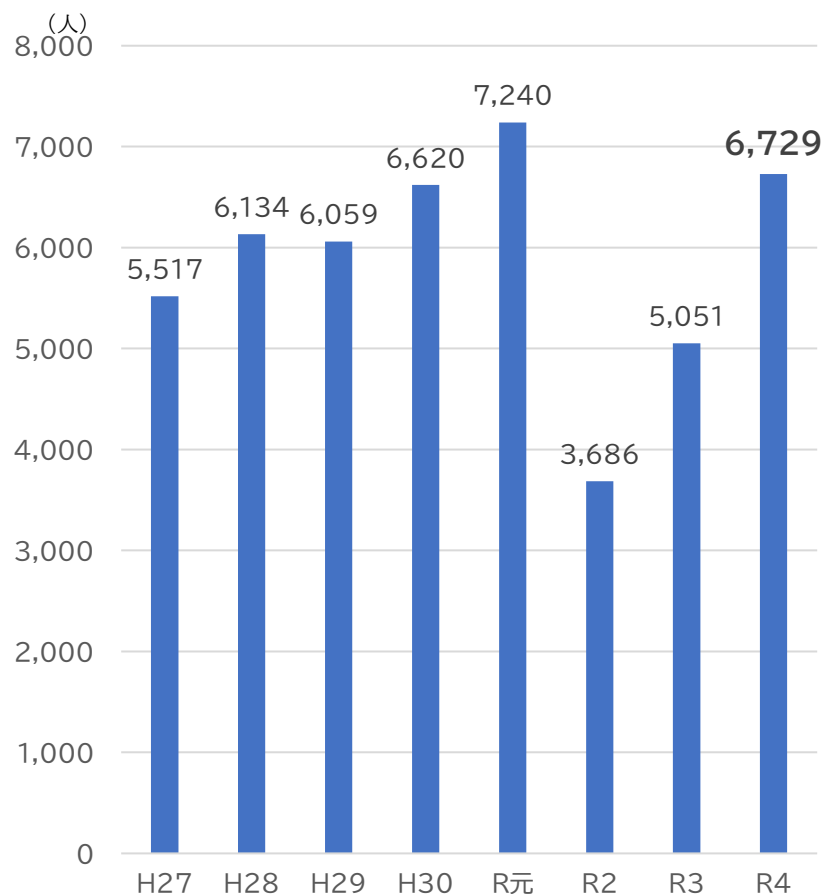


公共交通

(7) レンタサイクル

○まちなかレンタサイクル「ふくチャリ」の利用者数はコロナ禍からの回復傾向にあり令和4年度には6,000人以上の方が利用。
○令和5年3月にリニューアルを行い、スマホアプリを使った貸出等が可能になるなど、利便性が向上。

●「ふくチャリ」の利用者数推移



●貸出ポート一覧(R5. 4. 1時点)

- 福井商工会議所
- 田原町駅広場
- 錦公園(片町)
- 中央公園
- 福井市立郷土歴史博物館(養浩館)
- 福井市グリフィス記念館
- 愛宕坂下駐車場
- 福井駅北側駐輪場
- ウェルカムセンター(福井市観光案内所)
- 北庄城址(柴田神社)



中心市街地

(1) 福井駅周辺の再開発

- アオッサやハピリンなどの大型再開発事業が順次完成。
- 北陸新幹線福井・敦賀開業を控え、駅前電車通り北地区などにおいて、再開発が進行中。

●再開発事業位置図

① 御屋形地区

事業名	御屋形地区 第一種市街地再開発事業
名称	AREC CITY おやかた
規模	地下3階、地上17階
完成	平成3年度

② 浜町桜橋地区

事業名	浜町桜橋地区 優良建築物等整備事業
名称	ロアル濱町桜橋
規模	地下2階 地上11階
完成	平成18年度

③ 中央3丁目地区

事業名	中央3丁目地区 優良建築物等整備事業
名称	幸橋グランデCHA
規模	地下2階 地上12階
完成	平成21年度

④ 中央1丁目地区

事業名	中央1丁目地区 優良建築物等整備事業
名称	サカエパーキング「P+」
規模	地上5階
完成	平成18年度

⑤ 中央1丁目(駅前南通り)地区

事業名	中央1丁目(駅前南通り)地区 優良建築物等整備事業
名称	エリアス
規模	地上14階
完成	平成21年度

⑥ 福井駅西口中央地区

事業名	福井駅西口中央地区 第一種市街地再開発事業
名称	Happing(ハピリン)
規模	地下2階 地上21階
完成	平成27年度

⑦ 手寄地区

事業名	手寄地区第一種市街地再開発事業
名称	AOSSA(アオッサ)
規模	地下2階 地上10階
完成	平成18年度

⑧ 三の丸地区

事業名	福井市の三の丸地区 第一種市街地再開発事業
名称	三の丸ビル
規模	地下1階 地上15階
完成	平成14年度

⑨ 大手2丁目地区

事業名	大手2丁目地区 優良建築物等整備事業
名称	プレミスト大手さくら通り
規模	地上14階
完成	平成22年度

⑩ 中央1丁目18番地区

事業名	中央1丁目18番地区 優良建築物等整備事業
名称	ドミーイン福井
規模	地上9階
完成	平成30年度

⑪ 中央1丁目10番地区

事業名	中央1丁目10番地区 優良建築物等整備事業
名称	デュオヒルズ福井駅前
規模	地上15階
完成	令和3年度

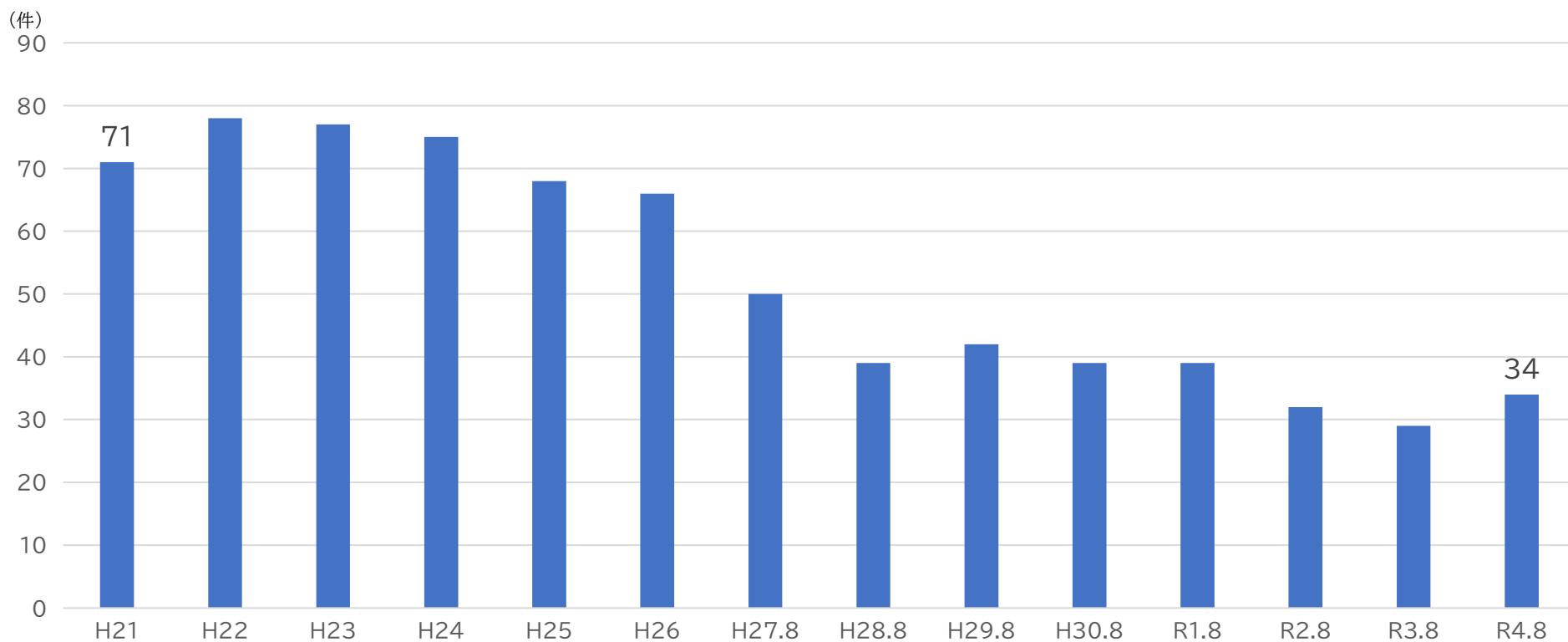
Map Legend:

- 市街地総合再生計画(約50ha)
- 市街地再生完了区画(完了)
- 市街地再生中区画(事業計画中)
- 優良建築物等整備事業(完了)
- 建設地区

出典：福井市調べ

- 中心市街地における空き店舗については、平成28年のハピリン開業を境に大きく減少している。
- 平成28年以降の空き店舗数は、概ね横ばいで推移している。

●中央1丁目における空き店舗の推移



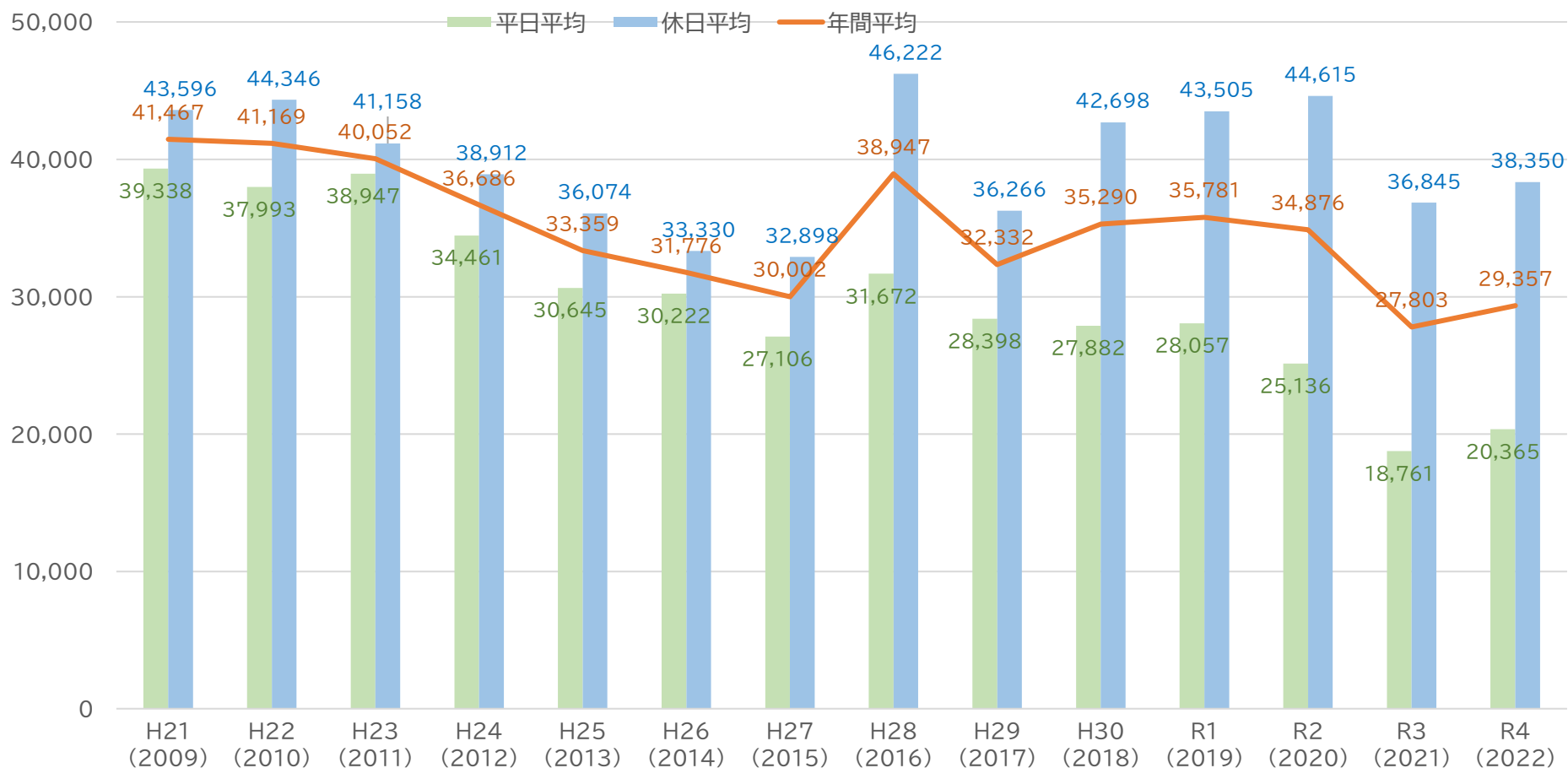
出典：福井駅周辺地区交通戦略（資料作成：まちづくり福井（株））

中心市街地

(3) まちなかのにぎわい

○福井駅周辺における2022年(令和4年)の歩行者・自転車数は、前年度に比べ、若干回復している。
○近年では、平日と休日の通行量の差が大きくなる傾向にある。

●福井駅周辺(中央1丁目)における歩行者・自転車通行量の推移

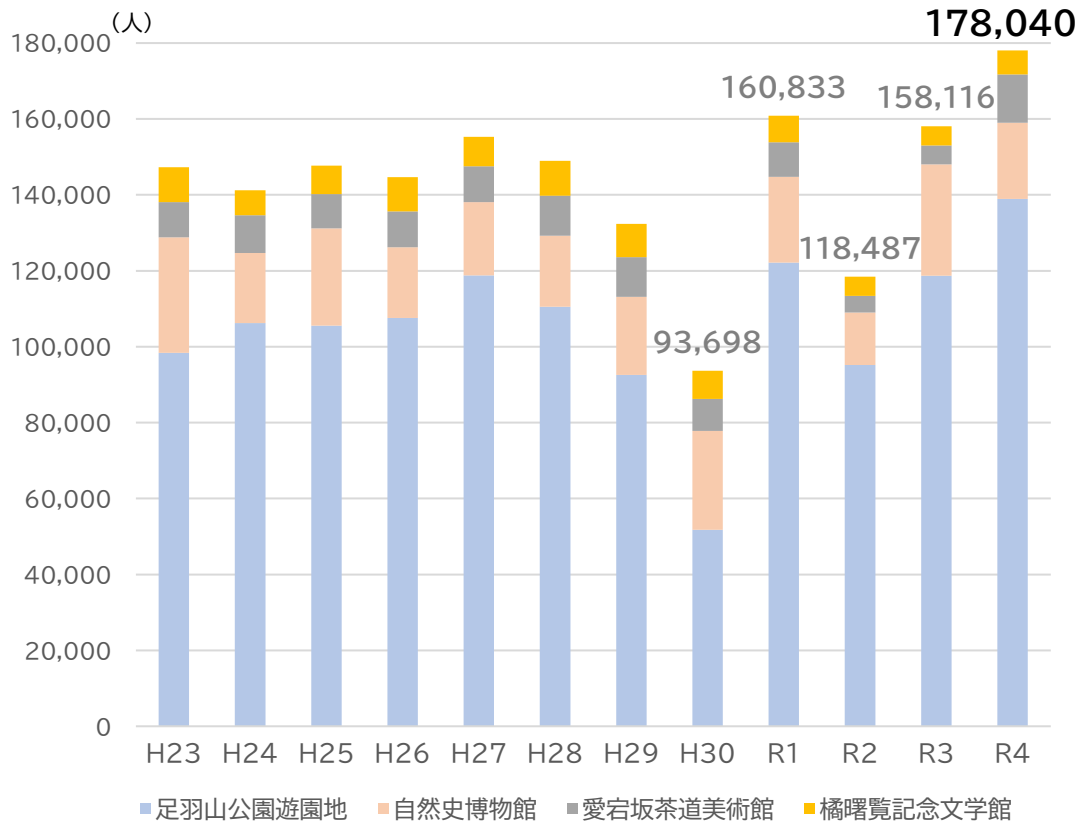


中心市街地

(4)足羽山のにぎわい

○ふれあい動物舎「ハピジャン」のオープン(H30)以降、足羽山公園遊園地の利用者数が大きく増加している。

●足羽山主要施設の利用者数の推移



足羽山公園遊園地



自然史博物館



愛宕坂茶道美術館



橘曙覧記念文学館

生活インフラ

(1) 公共施設の状況(インフラ施設)

○社会情勢の変化や市民ニーズに対応した、最適な状態での公共施設等の維持管理・更新を進めている。

●インフラ施設の保有量の推移

類型区分	大分類	中分類	主な施設	H27年3月末		R3年3月末	
インフラ施設	都市基盤施設	道路	都市計画道路、一級市道、二級市道、その他の市道、自転車歩行車道	7,207路線	延長 2,055,883m	7,345路線	延長 2,146,610m
			橋梁	1,782橋	橋長 13,163m	1,756橋	橋長 12,765m
			トンネル	1カ所	延長 270m	1カ所	延長 270m
		河川	河川(準用河川・普通河川等)	267本	延長 173,455m	267本	延長 173,455m
			河川公園、桜づつみ等	12カ所		11カ所	
			樋門、樋管	114カ所		116カ所	
			排水機場	8カ所		10カ所	
		公園	街区公園、近隣公園、地区公園、総合公園、歴史公園・緑地など	487カ所※	面積 376.75ha※	514カ所	面積 384.68ha
			観光関連公園・遊歩道	26カ所		26カ所	
			運動公園、スポーツ施設(サッカー場、グラウンドなど)	17カ所		16カ所	
	広場	駅前広場等	4カ所		3カ所		
	農林水産関連施設	農道	広域農道・農免農道	8路線	延長 27,100m	8路線	延長 27,100m
			農道橋	21橋	橋長 743m	21橋	橋長 743m
			トンネル	1カ所	延長 162m	1カ所	延長 162m
		林道	林道(軽車道・自動車道)	266路線	延長 394,300m	263路線	延長 399,159m
			橋梁	67橋	橋長 519m	65橋	橋長 564m
		公園	トンネル	1カ所	延長 360m	1カ所	延長 360m
			農村公園	21カ所		21カ所	
		漁港	森林公園	4カ所		4カ所	
			第1種漁港、第2種漁港	7カ所		6カ所	
集落排水		集落排水処理施設、集落排水管路	28カ所		28カ所		
	用水路	用悪水路	77カ所	延長 379,744m	77カ所	延長 379,744m	
その他	排水機場	排水機場	19カ所		19カ所		
		樋門・樋管	9カ所		9カ所		
	滝波ダム	滝波ダム	1カ所		1カ所		
		漁港海岸	6カ所	延長2,775m	6カ所	延長2,445m	
		農地海岸	4カ所	延長1,900m	4カ所	延長1,900m	
施設の その他	トイレ	観光施設トイレ、公衆トイレ、マンホールトイレ等	253カ所		265カ所		
	駐車場	平面駐車場	10カ所	面積 8,908㎡	10カ所	面積 8,908㎡	
		駐輪場	26カ所	駐輪台数 3,930台	31カ所	駐輪台数 4,049台	
	その他	携帯電話関連施設、防災行政無線関連施設	243カ所		248カ所		
公営企業施設	上水道	上水道	上水管路		配水管総延長 2,000,393m	配水管総延長 2,010,317m	
			配水池	23カ所		23カ所	
		浄水場	9カ所		8カ所		
		簡易水道	簡易水道施設	21カ所		19カ所	
			飲料水供給施設	13カ所		13カ所	
	下水道	簡易水道管	簡易水道管		簡易水道管総延長87,221m	簡易水道管総延長91,355m	
			下水管路		下水管総延長1,444,365m	下水管総延長1,567,044m	
		下水道	雨水貯留槽・雨水貯留管等	14カ所		12カ所	
			ポンプ場	24カ所		21カ所	
			マンホールポンプ場	160カ所		160カ所	
ガス	ガス	下水処理場等	7カ所		7カ所		
		ガス管路		ガス管総延長 541,930m			
		ガス工場	1カ所		令和2年にガス事業を民間譲渡		

※公園については、平成27年度のデータを精査した数値

出典：福井市公共施設等
総合管理計画

○社会情勢の変化や市民ニーズに対応した、最適な状態での公共施設等の維持管理・更新を進めている。

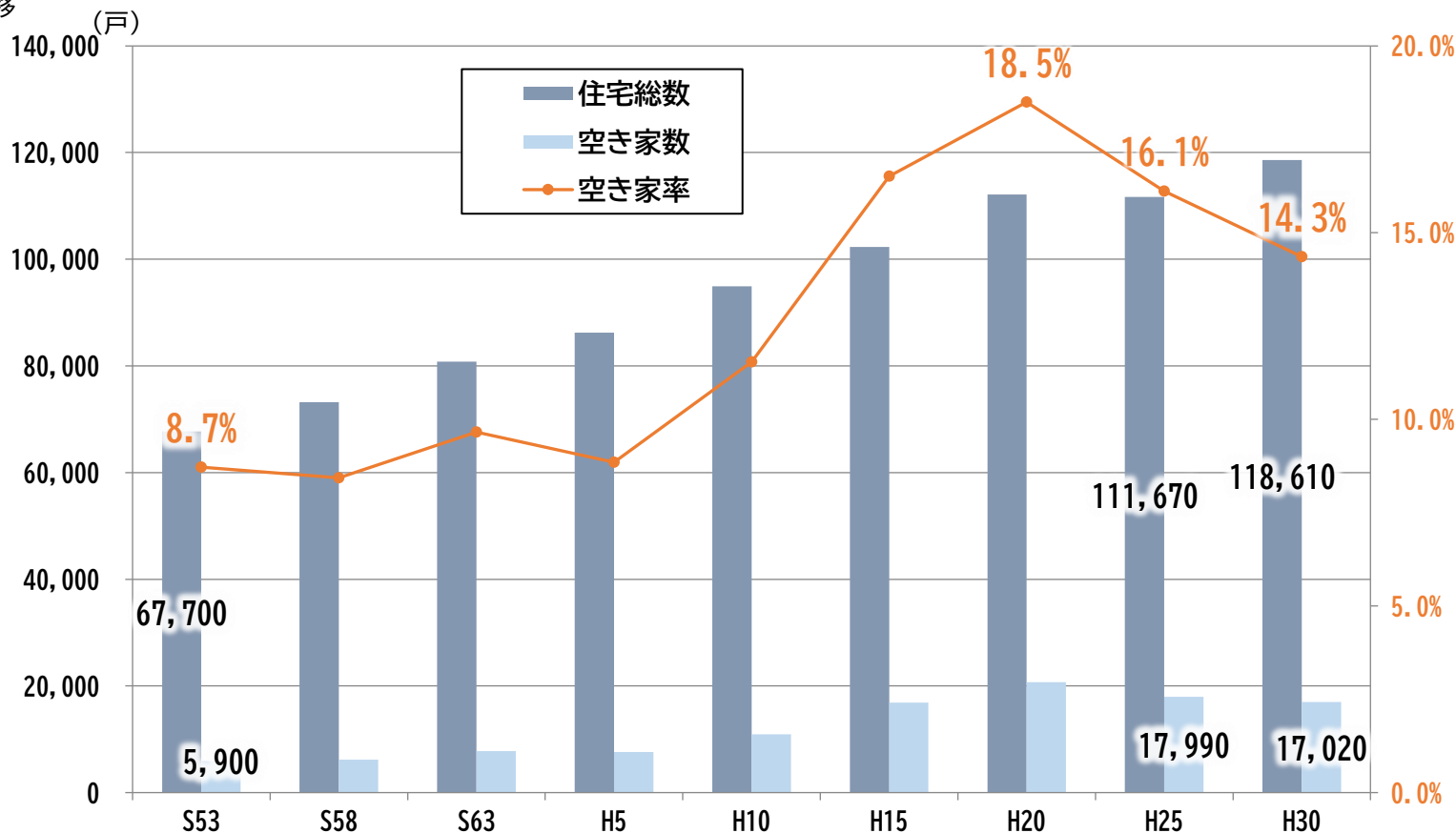
●建物施設の保有量の推移

大分類	中分類	主な施設	H27年3月末		R3年3月末		面積増減(㎡)
			施設数	延床面積(㎡)	施設数	延床面積(㎡)	
学校・子育て施設	学校	小学校	47	255,540	47	256,436	896
		中学校	24	173,265	24	176,569	3,304
		幼稚園	5	1,946	5	1,947	1
	保育園等	保育園、こども園等	38	22,381	28	18,371	▲4,010
	児童館等	児童館等	34	10,992	32	10,225	▲767
公民館	公民館	公民館	53	34,440	53	35,545	1,105
消防・防災施設	消防庁舎・消防署	消防局庁舎、消防署・消防分署・分遣所	23	17,605	20	17,199	▲406
	分団本部	分団本部等	31	2,446	36	2,735	289
庁舎等	市庁舎	本館、別館、分館、企業局庁舎	4		4		
	その他庁舎	総合支所(美山、清水、越廼)、車両基地	4	42,370	4	43,003	633
	サービスセンター	サービスセンター(西、東、北) ※南はベル内	3		3		
文化施設	博物館等	美術館、郷土歴史博物館、自然史博物館ほか	11	20,488	9	24,661	4,173
	図書館	図書館、みどり図書館、桜木図書館、清水図書館、美山図書館	5	10,501	5	10,520	19
	多目的ホール	きらら館、清水社会福祉センター、地域交流プラザ、フェニックス・プラザ、木ごころ文化ホール	7	40,598	5	34,586	▲6,012
	文化財	養浩館庭園、朝倉氏遺跡、おさごえ民家園	3	2,911	3	3,445	534
産業系施設	産業系施設	競輪場、中央卸売市場、園芸センターほか	11	73,415	8	65,240	▲8,175
観光・レクリエーション施設	観光施設等	水仙の里公園、柴田公園ほか	23	28,053	22	26,202	▲1,851
	レクリエーション・入浴・宿泊施設	みらくる亭、鷹巣荘、SSTランド、足羽山公園遊園地ほか					
スポーツ施設	スポーツ施設	体育館、わかばテニスコート、きららパークほか	22	40,521	21	41,423	902
市営住宅	市営住宅	市営住宅	21	131,264	21	131,656	392
その他施設	福祉保健医療施設	健康管理センター、清水健康管理センター、聖苑ほか					
	ゴミ処理施設	クリーンセンター、収集資源センターほか	27	85,649	29	81,612	▲4,037
	教育関連施設	給食センター、少年自然の家ほか					
	駐車場	大手駐車場、大手第2駐車場、本町通り駐車場ほか					
			396	994,385	379	981,375	▲13,010

(3) 空き家(推移)

○本市の総住宅数は増加傾向にあり、平成30年では、118,610戸となっている(平成30年10月1日時点)。
 ○空き家数は、17,020戸であり、空き家率は14.3%となっている(平成30年10月1日時点)。

●空き家率の推移

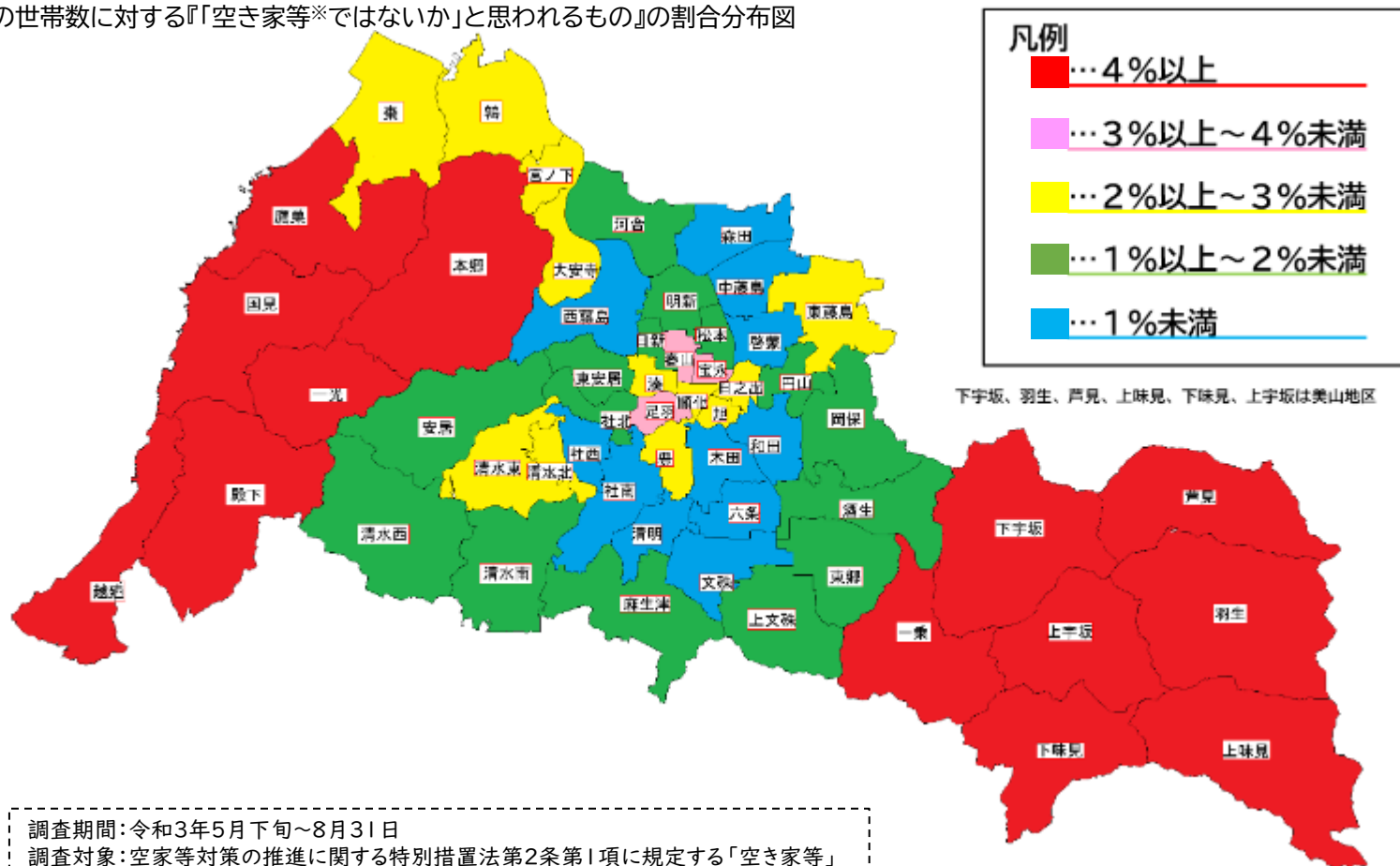


※「空き家等」…建築物又はこれに附属する工作物であって、居住その他の使用がなされていないことが常態であるもの及びその敷地。なお、国又は地方公共団体が所有し、又は管理するものを除く。

(4)空き家(地区別)

○過疎化の進行が考えられる山間部や海岸部の区域の割合の突出が目立つ。
 ○市街地やそこに隣接する区域は、空き家等の割合が比較的低くなっているが、市中心部では周辺隣接区域と比べてやや高い傾向が見られる。

●公民館区域毎の世帯数に対する『「空き家等※ではないか」と思われるもの』の割合分布図



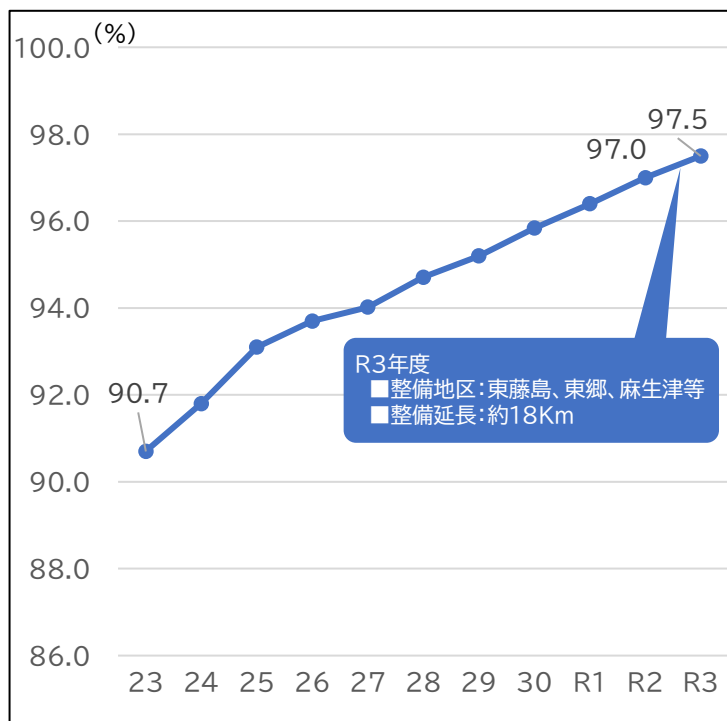
調査期間: 令和3年5月下旬～8月31日
 調査対象: 空家等対策の推進に関する特別措置法第2条第1項に規定する「空き家等」
 調査方法: 路上や玄関先等一般的に立ち入れる場所から、建物外観の目視にて実施

生活インフラ

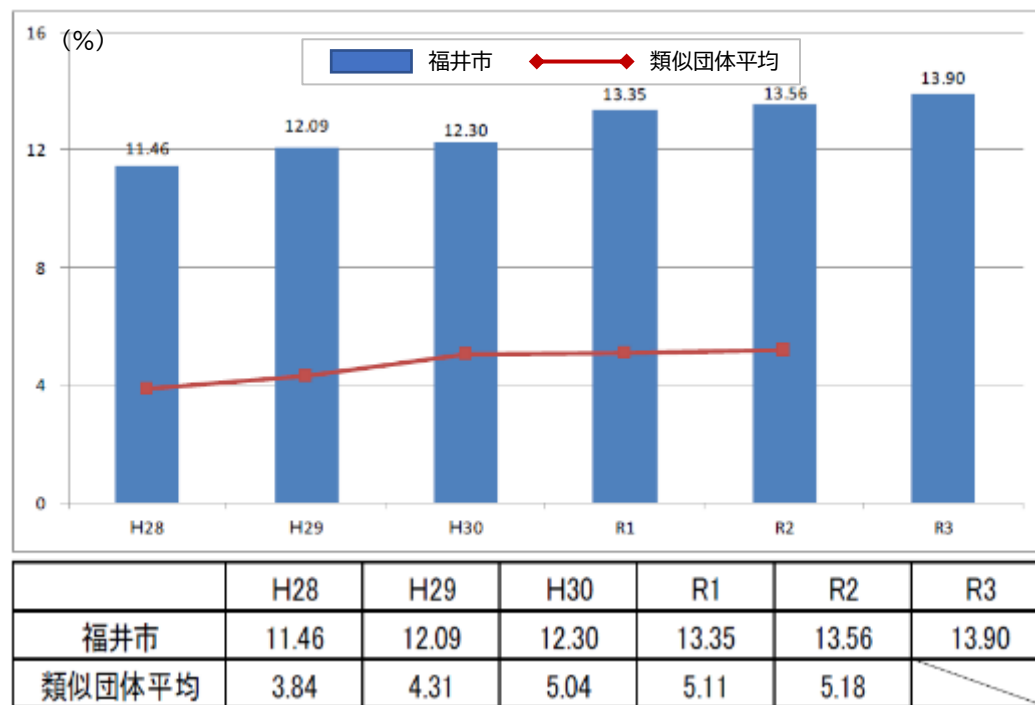
(5) 下水道

○未普及地域への下水管の延長により、下水道の人口普及率は令和3年度末時点で97.5%となっている。
 ○本市の管渠老朽化率は、類似団体や全国平均に比べ、約2倍となっており、老朽化が著しく進行している。

●本市の下水道の人口普及率※の推移(年度)



●管渠老朽化率の推移(特定環境保全公共下水道を除く)



	H28	H29	H30	R1	R2	R3
福井市	11.46	12.09	12.30	13.35	13.56	13.90
類似団体平均	3.84	4.31	5.04	5.11	5.18	

$$\text{管渠老朽化率} = \frac{\text{50年を経過した管渠延長}}{\text{整備した管渠総延長}} \times 100$$

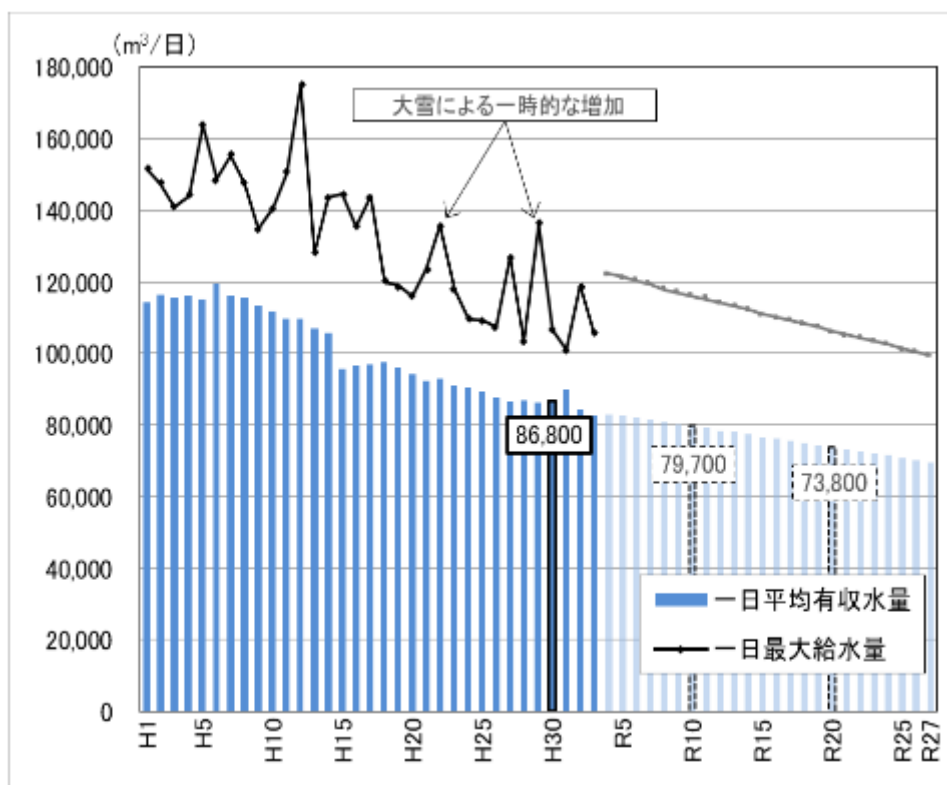
※整備計画区域内の人口に対する供用人口(公共下水道に接続できる人口)の割合

生活インフラ

(6)水道

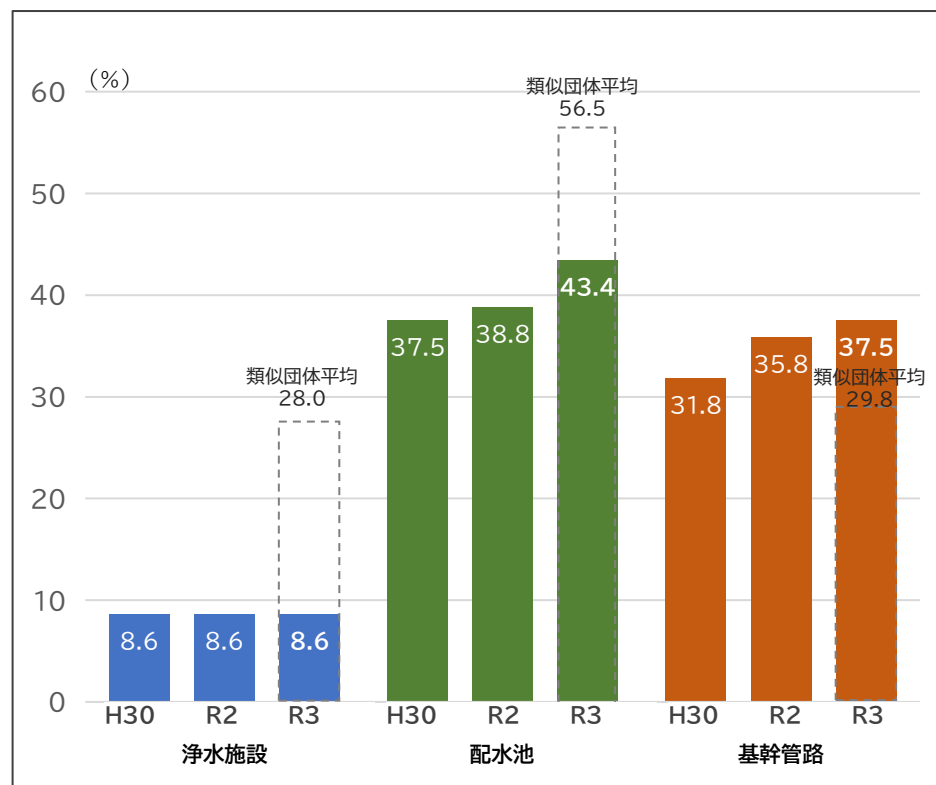
○人口減少や節水機器の普及などにより、使用水量は年々減少しており、今後も減少する見込み。
○福井市の水道施設の耐震化率は、類似団体平均と比べ、低い状況となっている。(基幹管路を除く)

●本市の給水量の見通し



※有収水量…料金徴収の対象となった水量
※令和4年度以降は見込値

●本市の水道施設の耐震化率の推移



地域活性化

(1)若者の県内定着状況

○令和3年度では、県外大学を卒業した者のうち、約4人に1人(27.4%)が県内にUターン就職をしている。
 ○エリア別では、北信越エリアが40.9%と最もUターン就職率が高いが、一方、関東エリアでは15.2%に留まっている。

●福井県へのUターン就職率の推移

卒業年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
県外大学等への進学者数※[A] ※4年前の大学、2年前の短大進学者数	2,695	2,547	2,459	2,588	2,576	2,674	2,613
福井へのUターン就職者数[B]	776	744	775	830	683	727	715
Uターン就職率※(%) ※[B]÷[A]×100	28.8	29.2	31.5	32.1	26.5	27.2	27.4

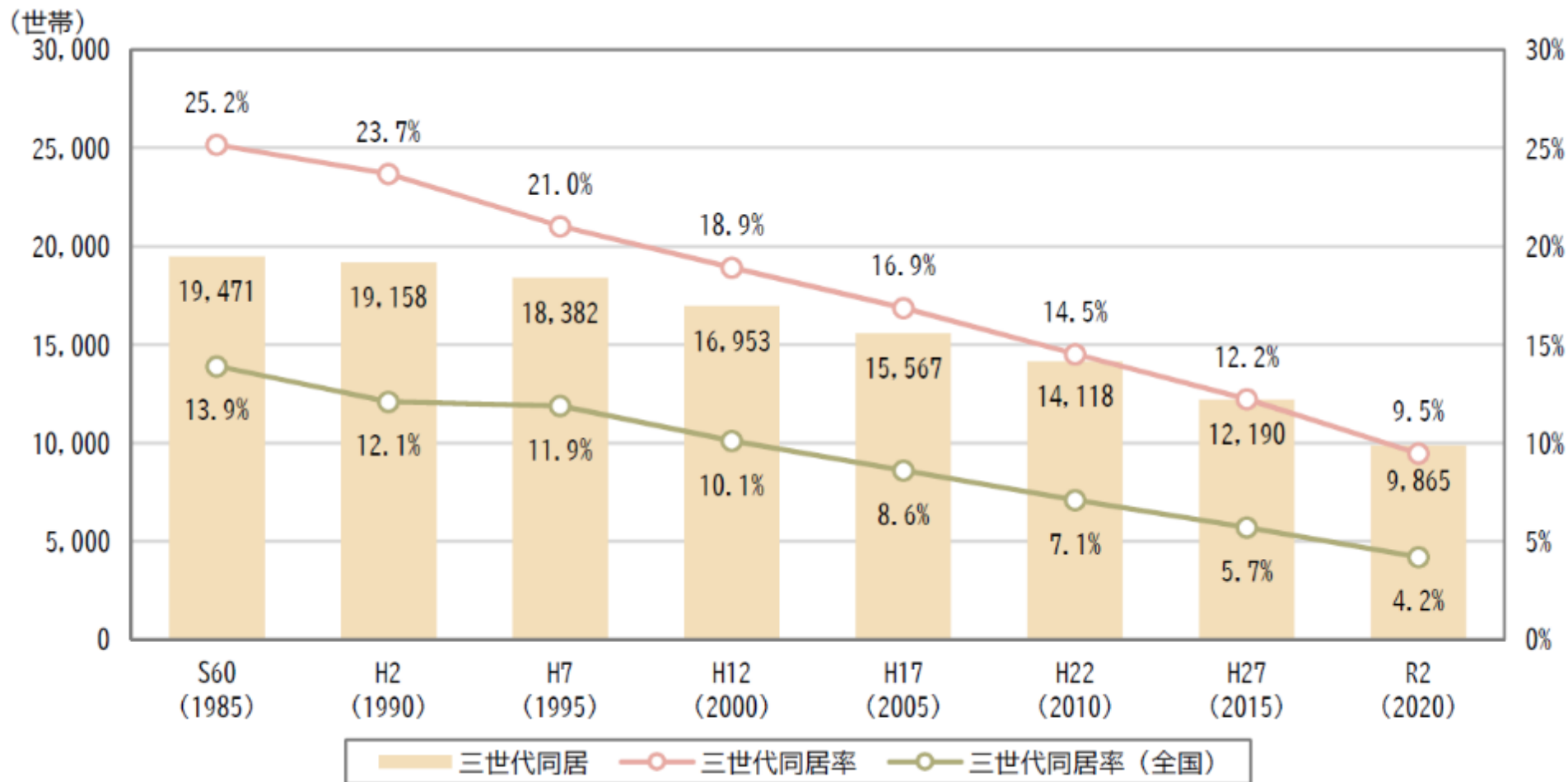
主なエリア別で見ると…

●Uターン就職率の主なエリア別内訳(R4.3)

エリア	全体	(関東)	(関西)	(中京)	(北信越)
エリア別 Uターン就職者数	715	64	270	111	230
エリア別 Uターン就職率(%)	27.4	15.2	25.4	26.6	40.9

○福井市の三世代同居率は全国平均と比べると高い水準にあるものの、減少傾向が続いている。

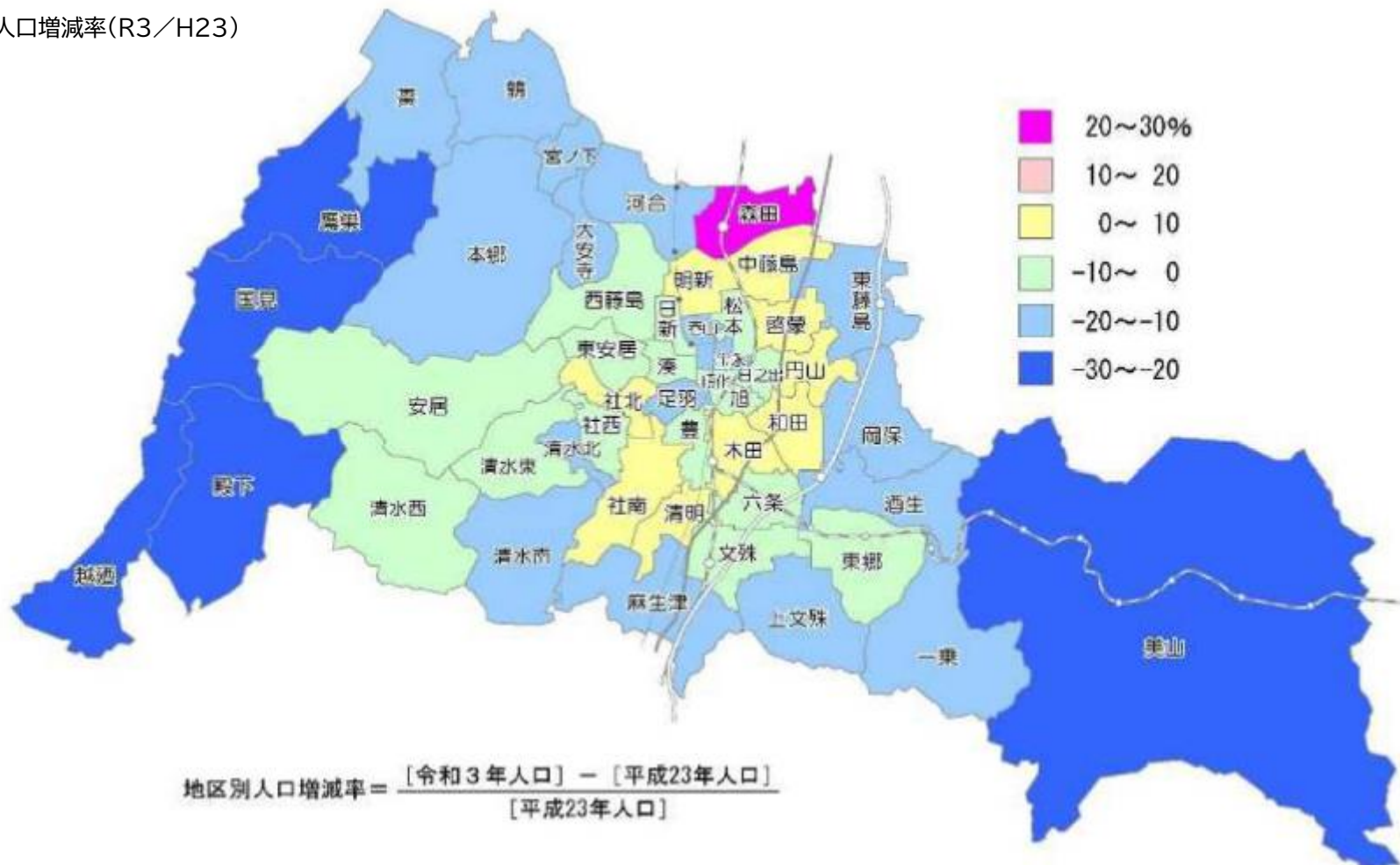
●三世代同居世帯の推移



出典：福井市住宅基本計画（国勢調査）

○越廼地区周辺や美山地区において特に人口減少が進んでいる一方で、中止市街地の周辺や森田地区では人口が増加。

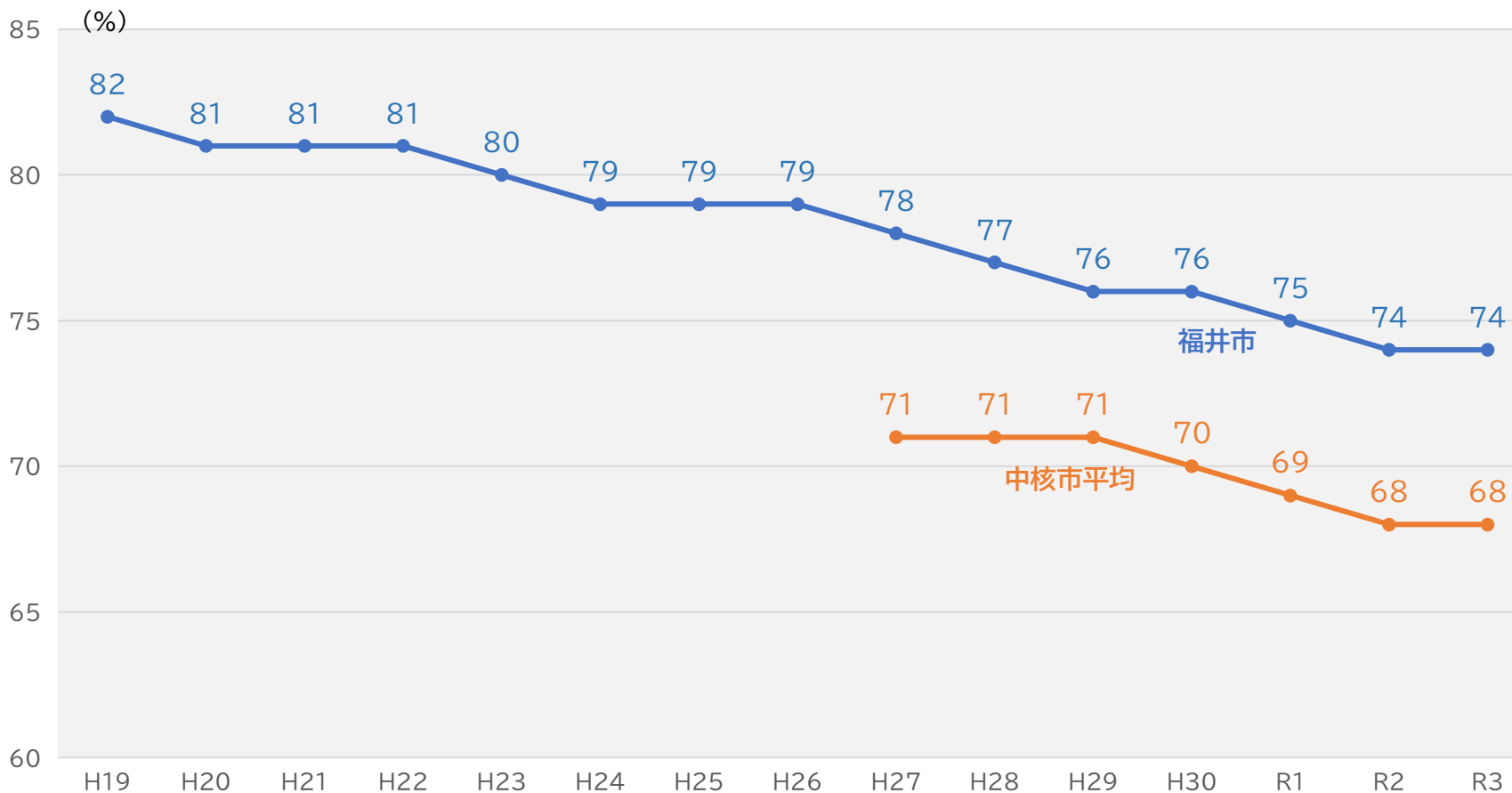
●地区別の人口増減率(R3/H23)



$$\text{地区別人口増減率} = \frac{[\text{令和3年人口}] - [\text{平成23年人口}]}{[\text{平成23年人口}]}$$

○本市の自治会加入率は、中核市平均よりも高くなっているが、平成19年以降、減少傾向にある。

●自治会加入率の推移



※中核市のデータは平成27年度から収集開始。
 ※一部の中核市は未回答のため、平均に算入していない。

出典：中核市市長会「令和4年度都市要覧」

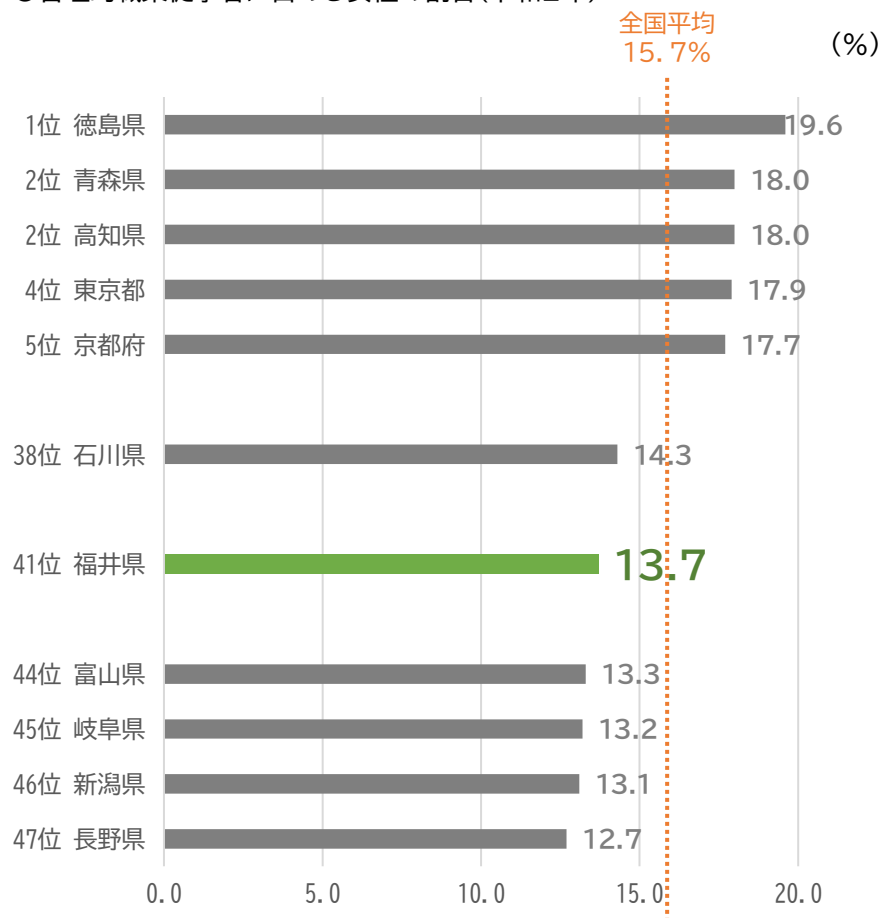
○福井県の共働き世帯割合は、全国1位(61.2%)となっている。

○女性の管理職の割合では、全国41位(13.7%)となっており、全国平均(15.7%)を大きく下回る状況にある。

●夫婦世帯における共働き世帯の割合(令和2年)

順位	都道府県	世帯割合
1	福井県	61.2%
2	山形県	59.9%
3	島根県	58.7%
4	富山県	58.3%
5	鳥取県	58.0%
全 国		51.6%

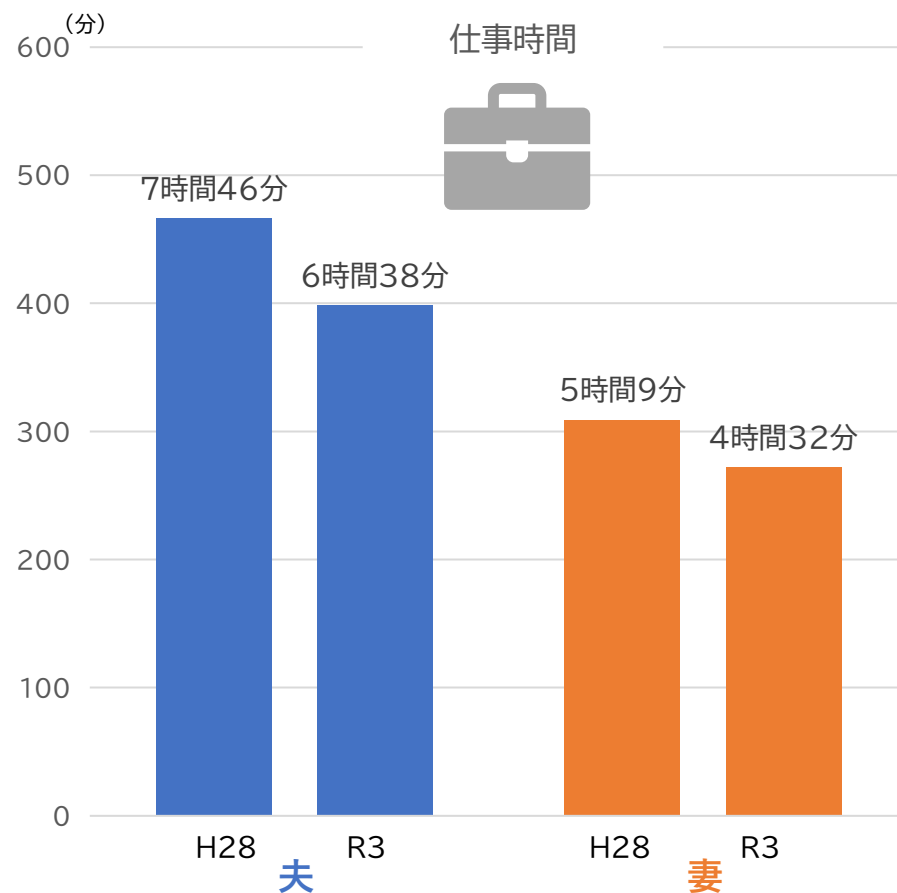
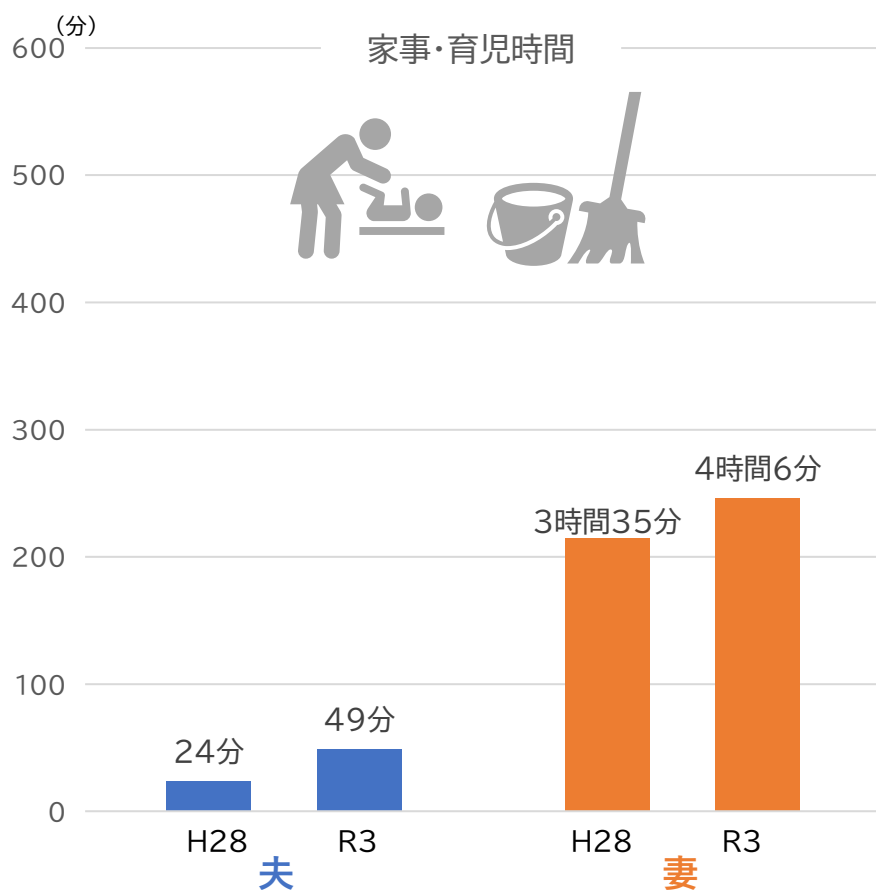
●管理的職業従事者に占める女性の割合(令和2年)



(2) 夫婦の家事・育児、労働時間

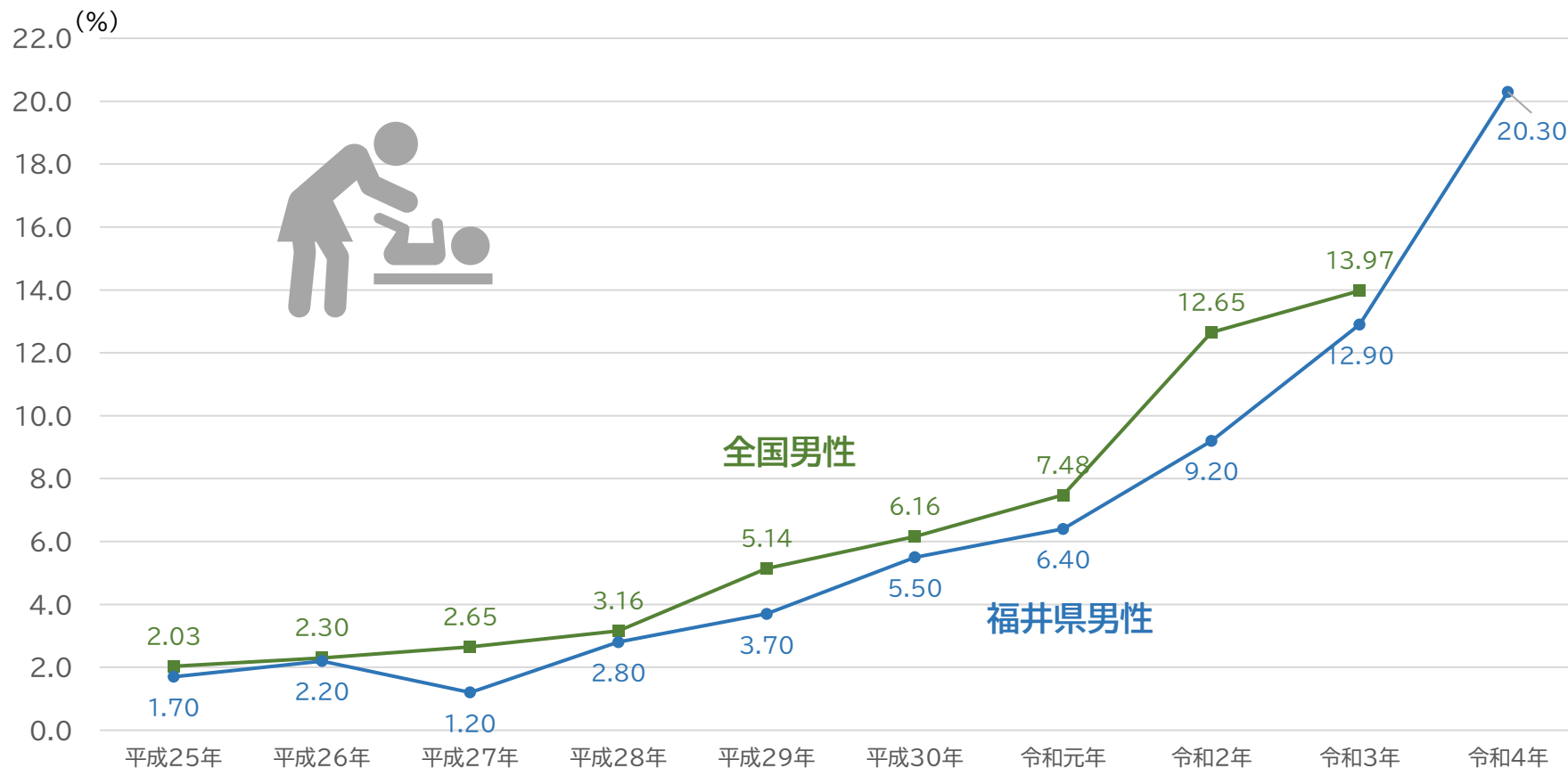
○福井県における夫の家事・育児時間は、増加(24分⇒49分)しているが、妻に比べて非常に短い。
 ○福井県における仕事時間については、夫及び妻ともに減少している。

●福井県の子供のいる共働き世帯の夫婦の家事・育児、労働時間(1日あたり)



○福井県における男性の育児休業取得者率は、全国平均を下回るものの、増加傾向にあり、令和4年では20.3%となった。

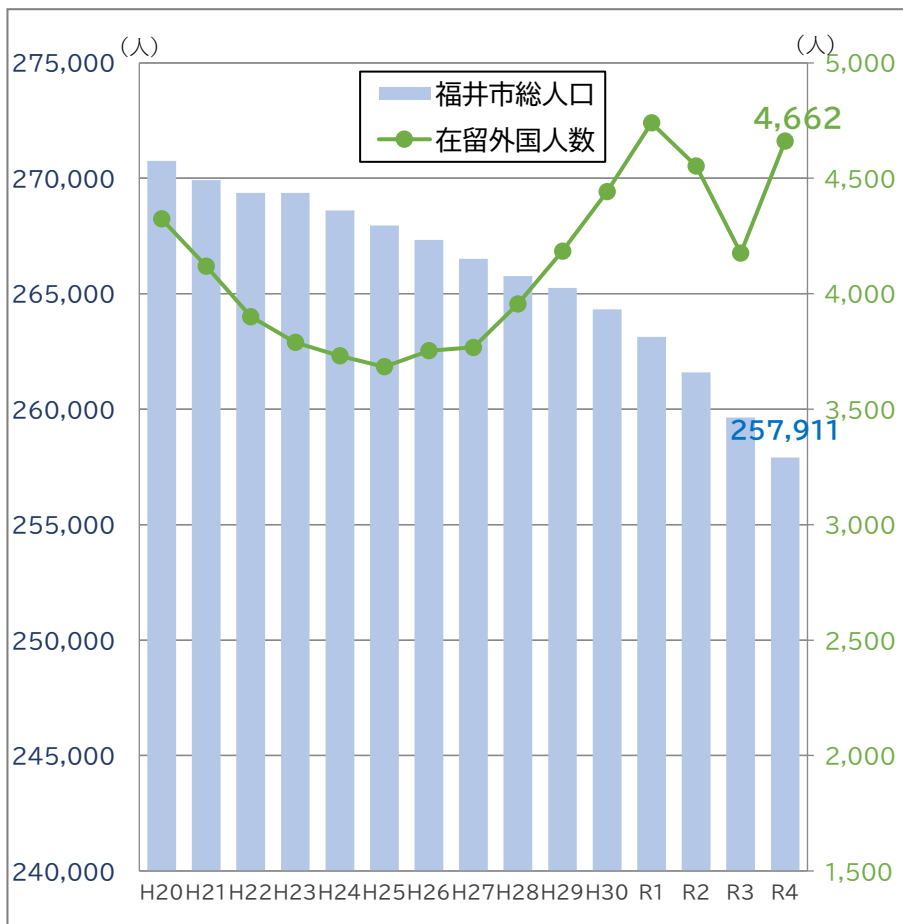
●男性の育児休業取得率の推移



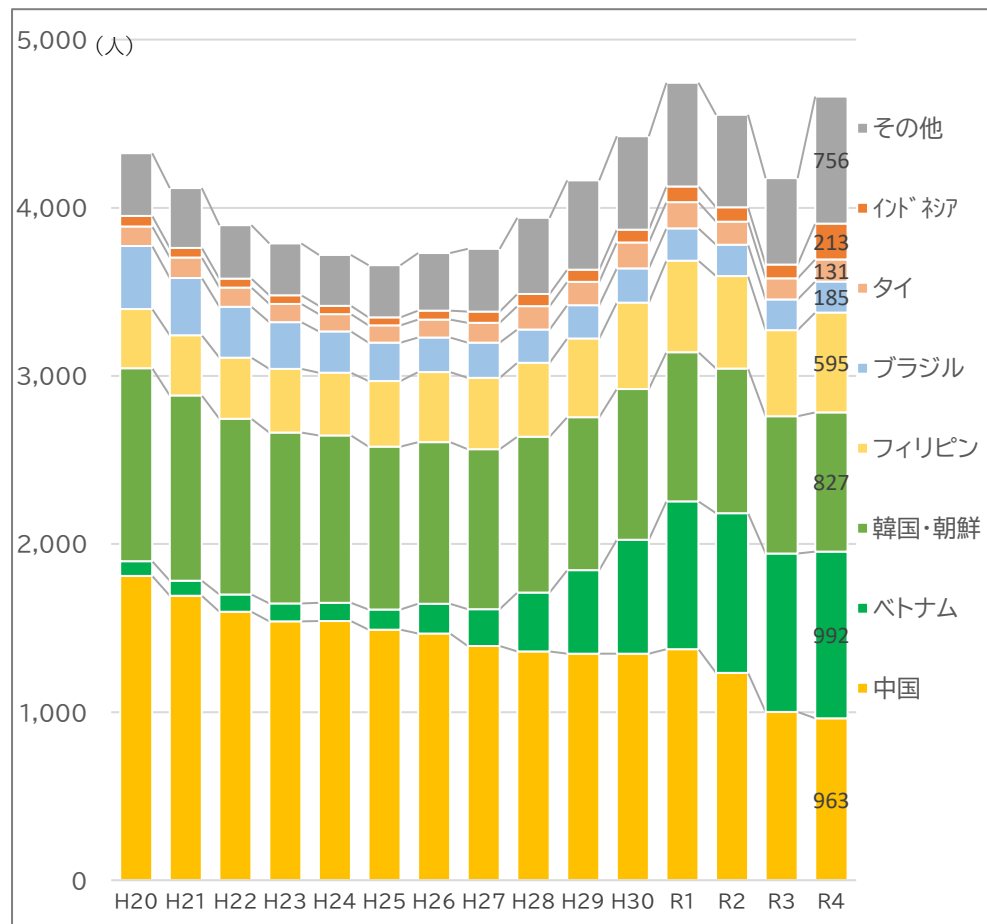
(4) 市内在留外国人数の推移

○令和4年末における本市の在留外国人数は4,662人となり、コロナ前の水準と同程度となった。
 ○国籍別の外国人数では、初めてベトナムが最も多くなり、次いで中国となっている。

●福井市総人口の推移と在留外国人数の推移(各年12月末時点)



●国籍別在留外国人数の推移(各年12月末時点)



○福井市総合ボランティアセンターでは、様々なボランティア講座の開催やボランティア活動の情報提供を行っており、令和4年度は、延べ300人近くの市民がボランティア講座に参加。

●ボランティア講座(ボランティアアカデミー)及び市民ボランティア活動促進事業の実施状況(令和4年度)

ボランティアアカデミー

講座名	回数	定員	受講者 実人数	延べ 受講者数	内容等	
はじめてのボランティア	13	—	33	33	ボランティア活動の考え方や心構えを学ぶミニ講座	
分野別 コース	ホテル舞うまちづくりコース	3	20	19	36	ホテルによるまちづくりや地域活性化につながるボランティアについての知識を学ぶ講座と体験活動
	子ども食堂体験コース	4	20	21	36	子ども食堂におけるボランティアについての知識を学ぶ講座と体験活動
	親子エコ活動コース	2	30	25	26	身近にできる環境ボランティアについての知識を学ぶ講座と体験活動
	おさごえ民家園ボランティアコース	1	15	6	6	おさごえ民家園でのおもてなしボランティアについての知識を学ぶ講座と体験活動
	写真ボランティアコース	1	15	6	6	SNSでの情報発信によるボランティアについての知識を学ぶ講座と体験活動
	地域の居場所づくりコース	2	20	26	42	地域の居場所におけるボランティアについての知識を学ぶ講座と体験活動
フ ォ ー ア ッ プ	タオルケア帽子を作ろう！	1	20	23	23	がん患者とその家族への理解を深め、ものづくりボランティアを通した支援のあり方を学ぶ講座
	足羽山あじさい花つみボランティア	1	20	26	26	あじさいの剪定という活動の場を提供し、継続的なボランティア活動につなげる講座
	SDGsをホテルから学ぼう	1	20	12	12	ホテルによるまちづくりや地域活性化につながる活動についてSDGsの観点から学ぶ講座
	楽しく学ぼう！レクリエーション	1	20	12	12	ボランティア活動者の横のつながりと活動への意欲を高めるための交流会
ス テ ッ プ	「聴く力」「伝える力」を育む傾聴セミナー	1	20	22	22	傾聴の技法を学び、コミュニケーション力を高める講座
	1分間動画を公開してみよう！	1	15	8	8	動画を撮影して公開するまでの知識を学び、オンラインを活用したボランティアにつなげる講座
計	32	235	239	288		

市民ボランティア活動促進事業

講座名	回数	定員	受講者 実人数	延べ 受講者数	内容等
シトラスリボンを作ろう！	1	20	29	29	シトラスリボンの意味を知り、リボンづくりを体験する講座
フードドライブを知ろう！	1	20	18	18	食品ロスについて学び、フードドライブの仕分けを体験する講座
聴覚に障がいのある人とのコミュニケーション講座	1	20	14	14	聴覚に障がいのある人とのコミュニケーションについて学び体験する講座
学習教室ボランティアを知ろう！	1	15	13	13	学習教室について学び、活動団体の取組を体験する講座
クリーンアップ作戦	—	—	—	—	市民と市民団体、市職員等の協働による街中の清掃活動 【雨天中止】
計	4	75	74	74	

ボランティアアカデミー(講義)の様子



ボランティアアカデミー(体験)の様子

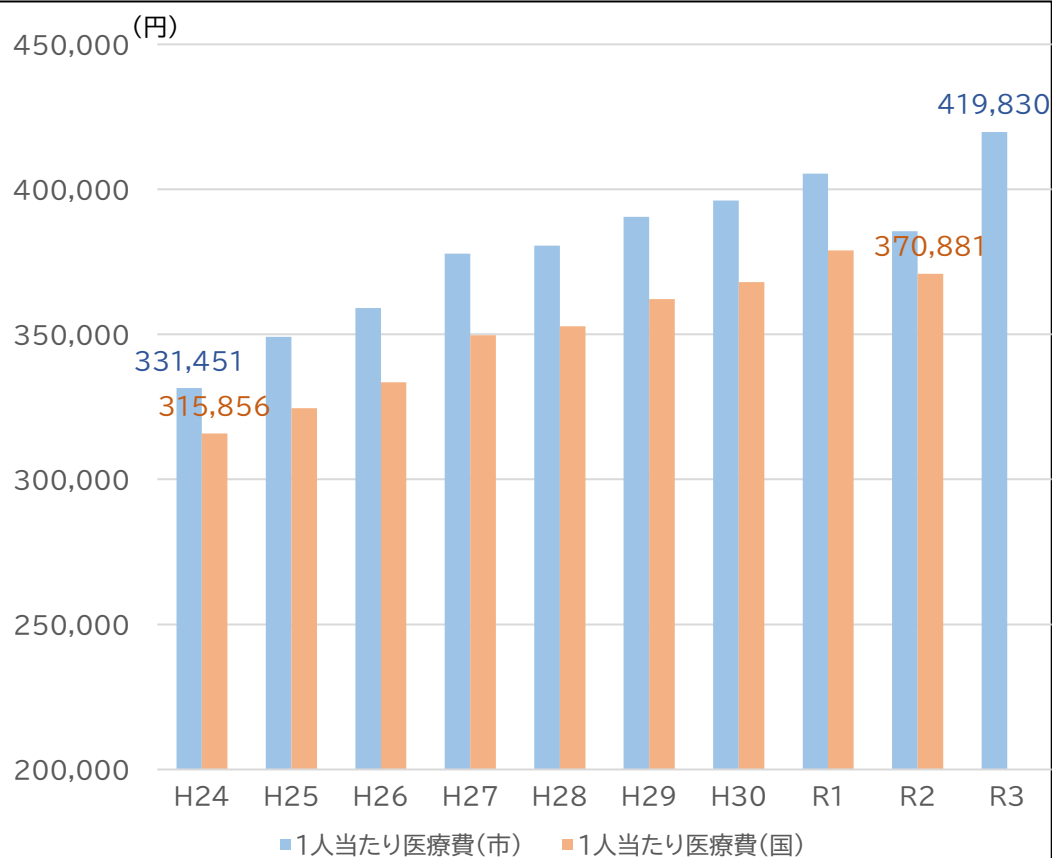


福祉

(1) 医療

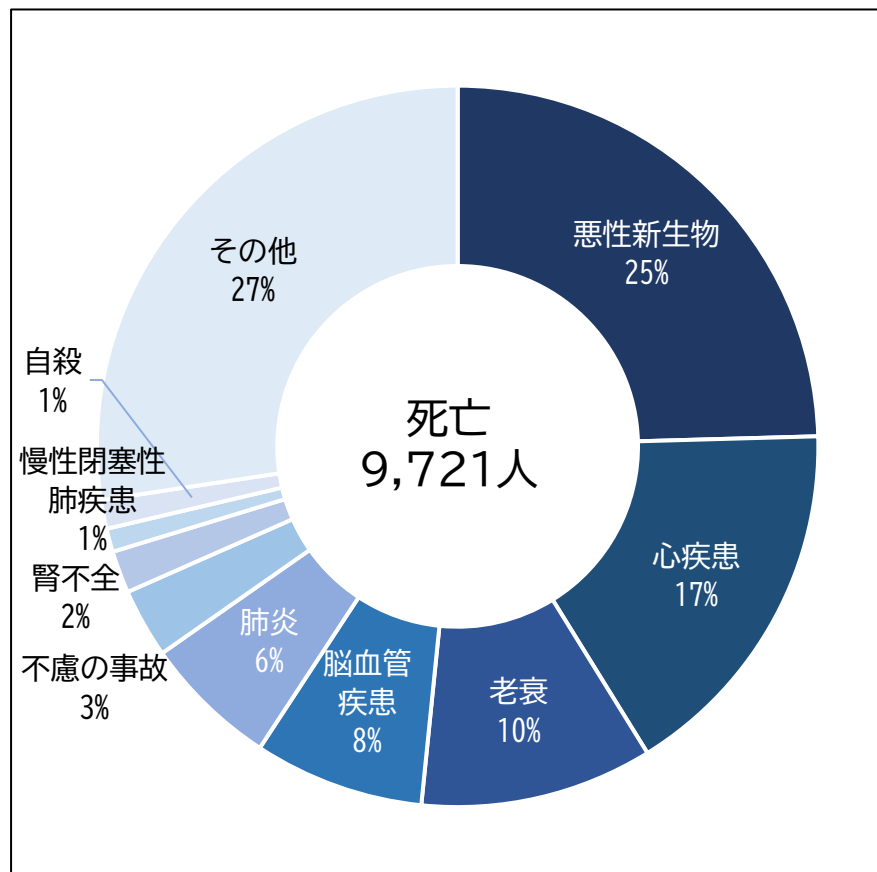
○市民1人当たりの年間医療費は、国民1人当たりの額よりも高くなっている。
○福井県における死因では、生活習慣病の主な疾患である、悪性新生物(がん)、心疾患、脳血管疾患などが上位を占めている。

●国民健康保険の医療費の推移(1人当たり年額)



出典：厚生労働省「国民健康保険事業年報（令和2年度）」
福井市調べ

●福井県における死因別死亡状況(令和3年)



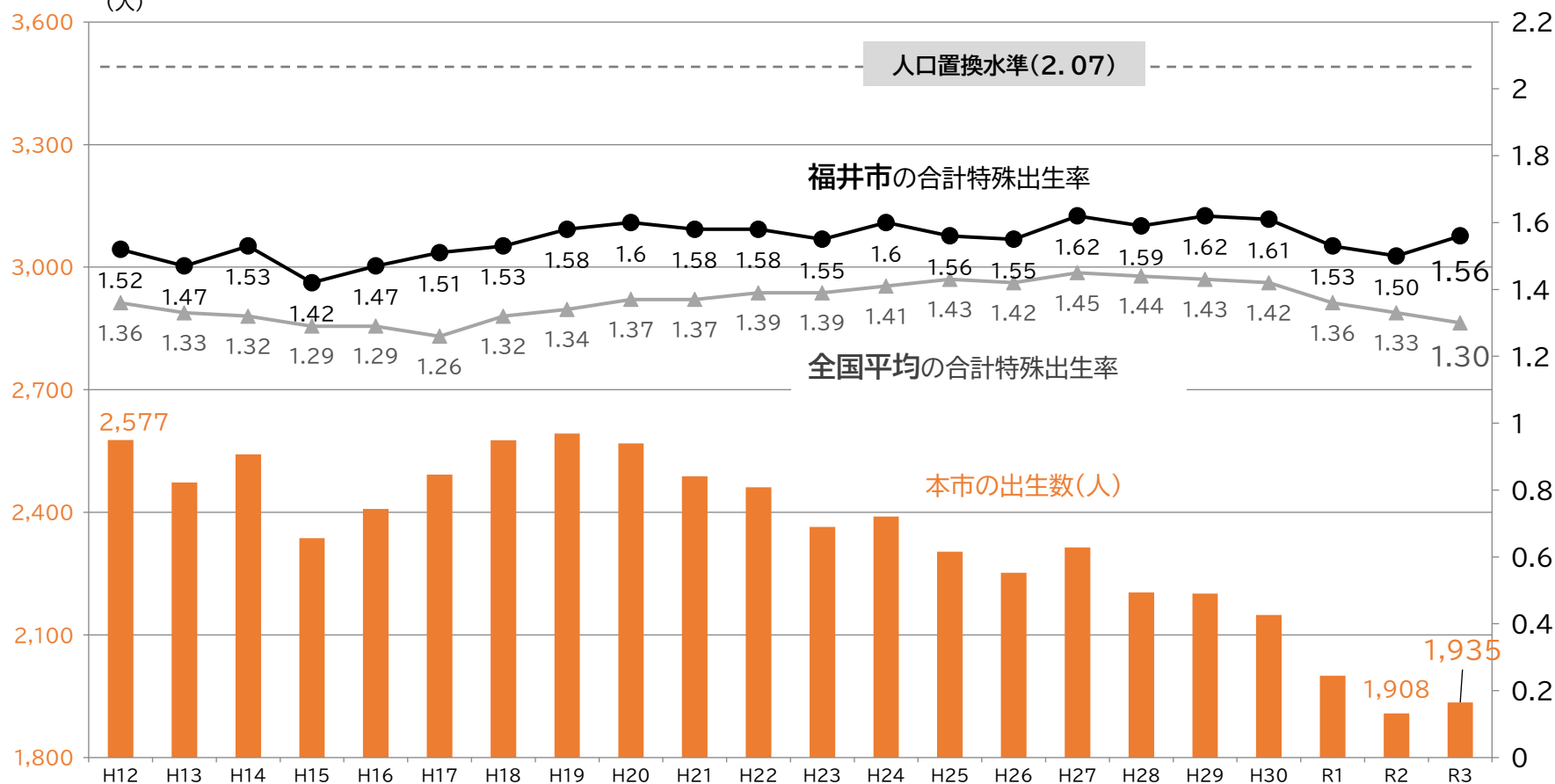
出典：令和3年 福井県衛生統計年報人口動態統計
第21表 (死亡数)

福祉

(2)出生の状況

○本市の合計特殊出生率は全国平均よりも高水準にあるが、以前として人口置換水準(2.07)を大きく下回っている。

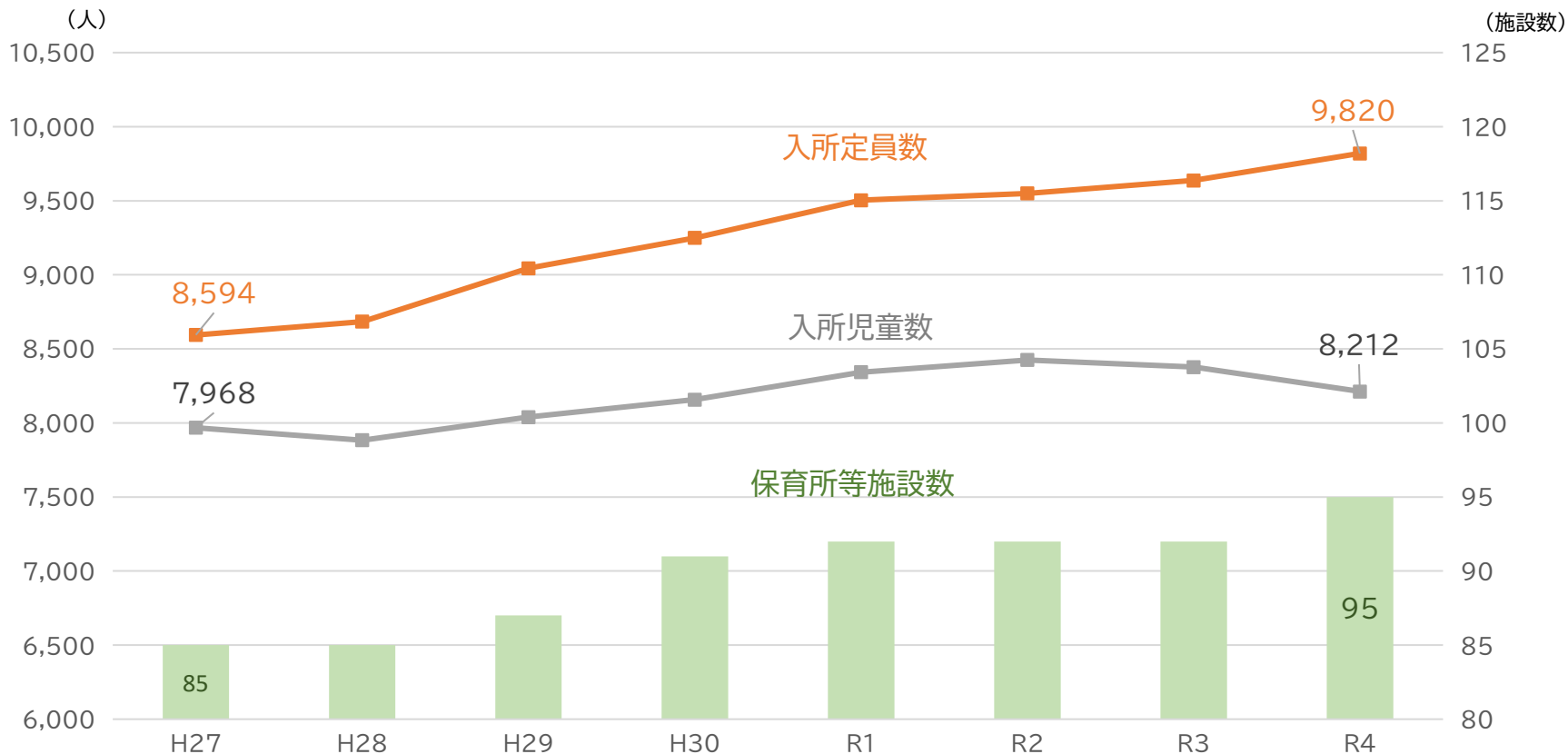
●福井市の出生数及び合計特殊出生率の推移
(人)



※人口置換水準・・・人口が増加も減少しない均衡した状態となる合計特殊出生率の水準のこと

○少子化の影響等により、入所児童数(需要)と入所定員数(供給)の差が拡大する傾向にある。

●本市の保育所数及び入所定員数・入所児童数の推移

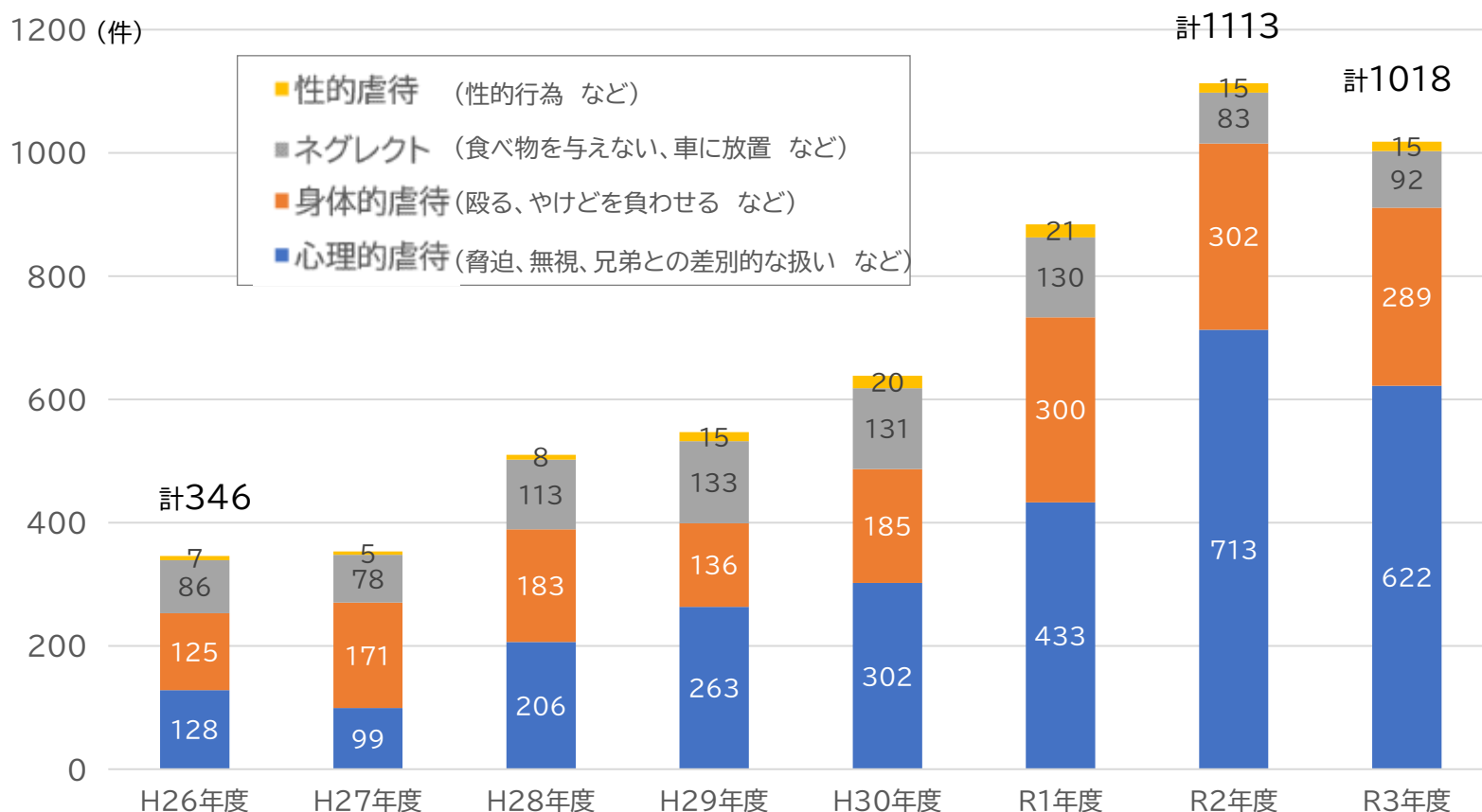


※施設数は、2号・3号認定の定員を持つ保育所や認定こども園の分園及び休園を含む施設数。
 ※入所定員数は、認可定員ではなく2号・3号認定の利用定員とする(1号認定の利用定員及び休園の定員は算入しない)。
 ※入所児童数は、2号・3号認定子どもの入園児童数とする(1号認定子どもの入園児童数は算入しない)。
 ※広域委託児童数を除き、広域受託児童数を含む。

(4)児童虐待

○児童虐待相談件数は増加傾向にあったが、令和3年度は減少している。
 ○種別でみると、最も多いのが「心理的虐待」であり、次が「身体的虐待」となっている。

●福井県の児童相談所における児童虐待相談の対応件数の推移(福井県総合福祉相談所・敦賀児童相談所の合計)

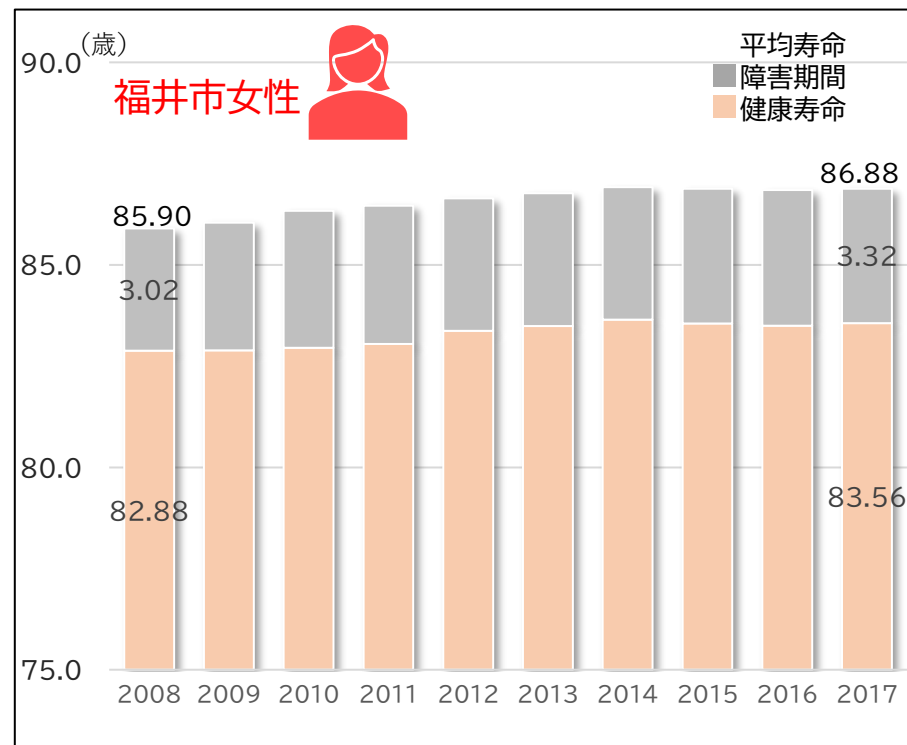
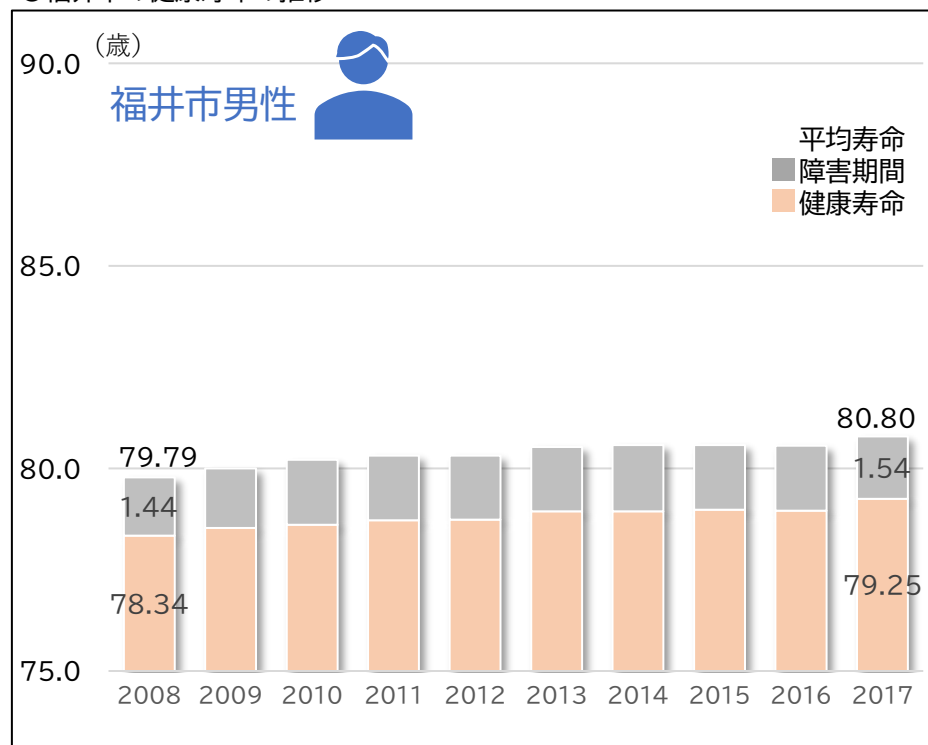


出典：福祉行政報告例（28表）

(5) 平均寿命と健康寿命

- 2017年の福井市の健康寿命は、男性が79.25歳、女性が83.56歳となっている。
- 平均寿命と健康寿命の差は、男性が概ね1.5歳、女性が3.3歳となっており、この10年間大きな変化はみられない。

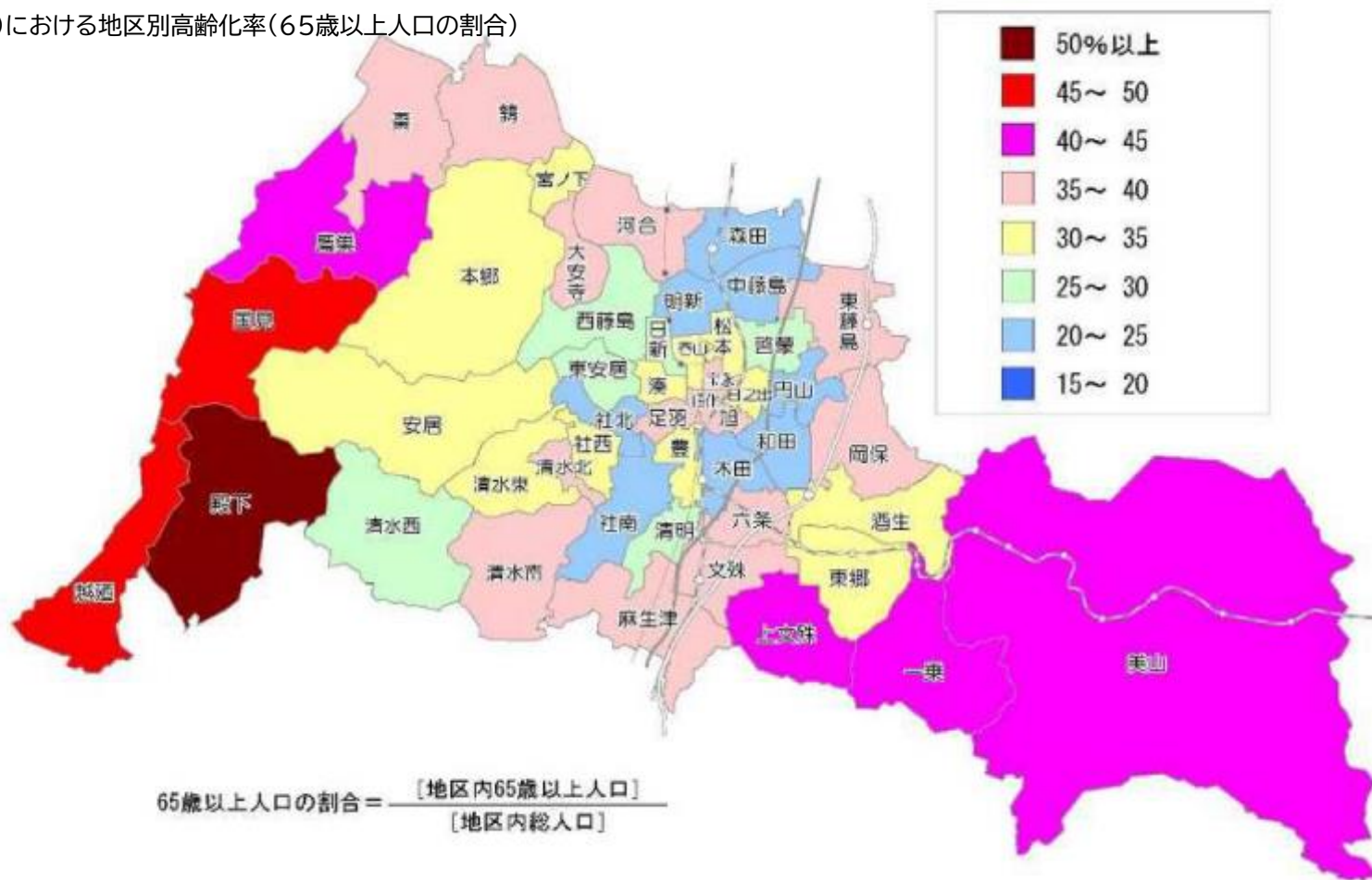
●福井市の健康寿命の推移



(6)高齡化(地区別)

- 山間部や沿岸部において、高齡化率が特に高くなっている。
- 中心部の高齡化率が高くなっているが、その周辺エリアについては、高齡化率が低くなっている。

●2021年(令和3年)における地区別高齡化率(65歳以上人口の割合)

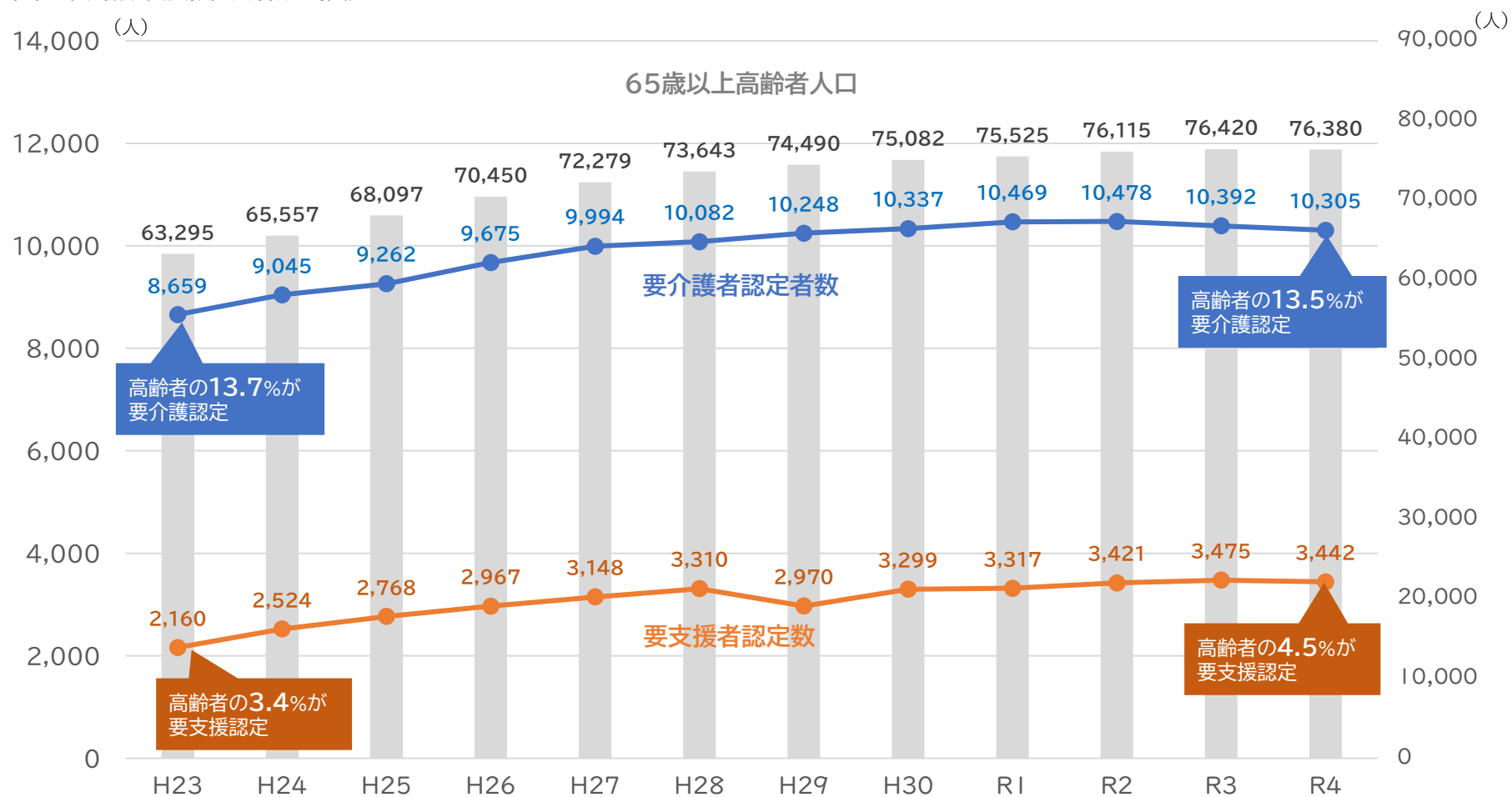


福祉

(7)介護

○高齢者における要支援及び要介護認定者数は、増加傾向にあったが、近年は横ばいの状態となっている。

●本市の要介護・要支援認定者数の推移



※要介護・要支援認定者数は各年度末数値（1号被保険者のみ）
 ※65歳以上高齢者人口は、各年10月1日の福井市統計書より

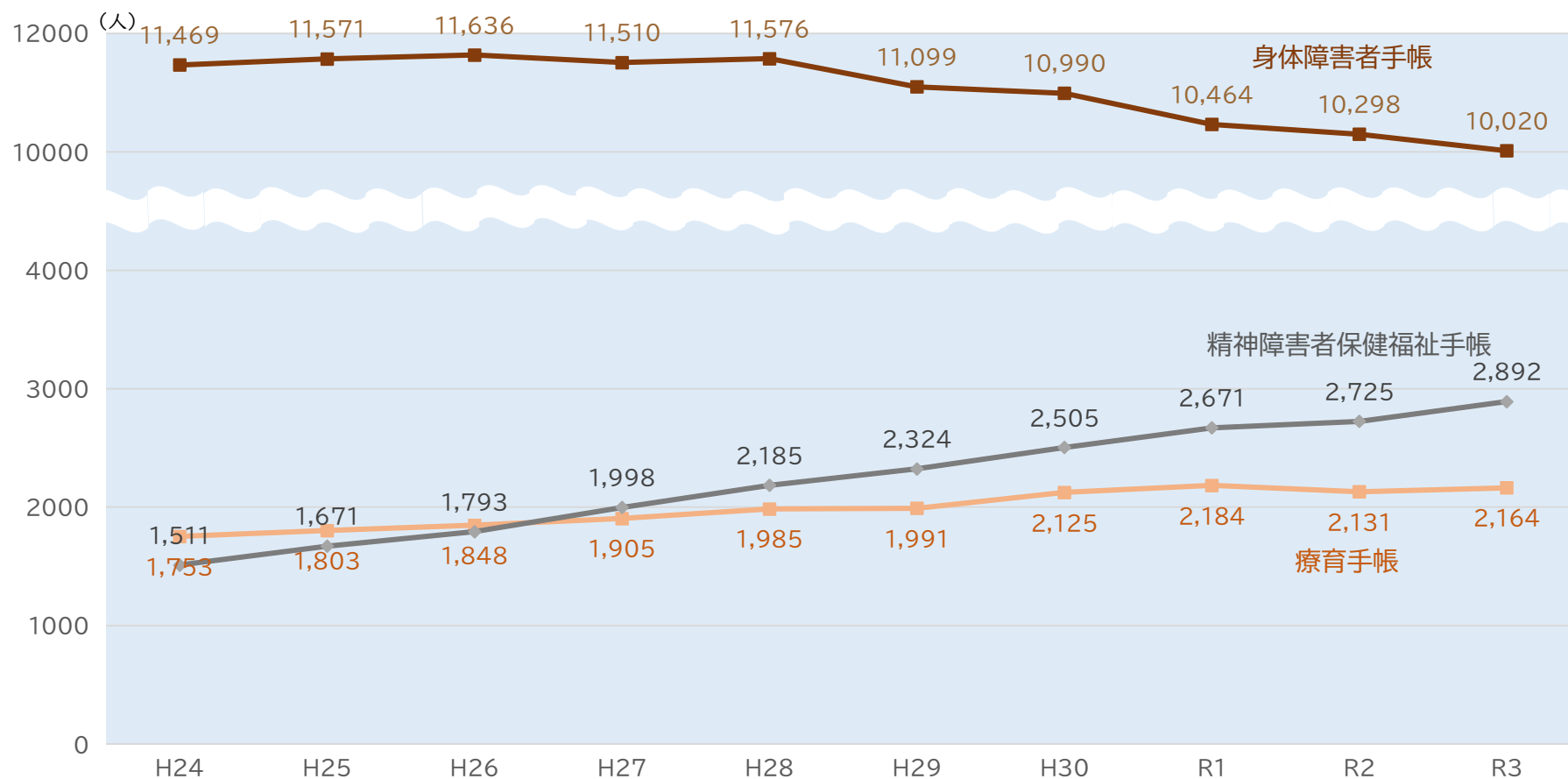
出典：厚生労働省 介護保険事業状況報告 第2-1表
 介護保険事業状況報告（令和5年3月分）

福祉

(8)障がい者

- 身体障害者手帳の交付状況は近年減少傾向にある。
- 療育手帳や精神障害者保健福祉手帳の交付件数は増加傾向にある。

●本市の障がい者手帳の交付件数の推移



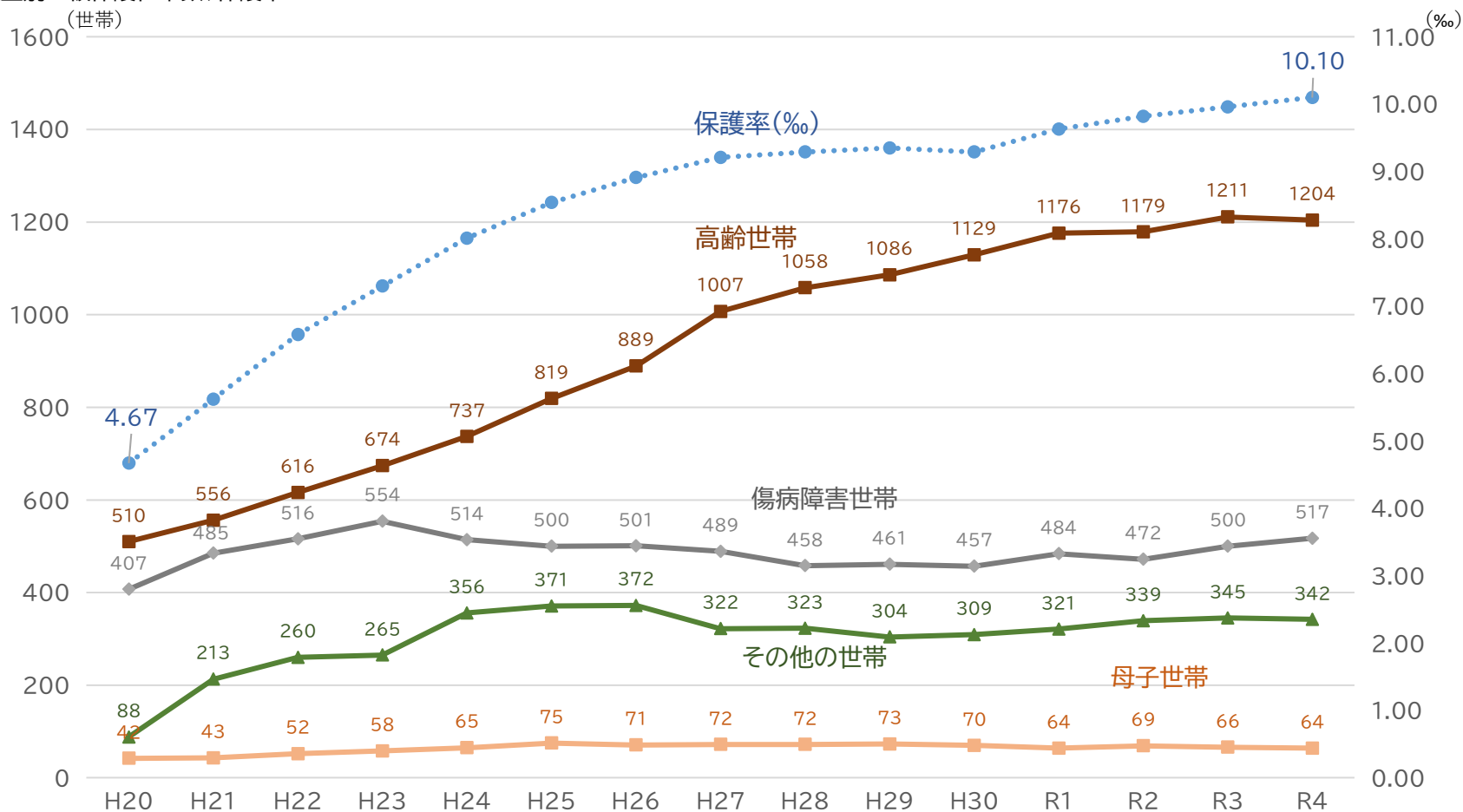
出典：福井市調べ

福祉

(9)生活保護

○生活保護の世帯類型では、高齢世帯の増加が著しく、令和4年度では、1200世帯を超えている。
 ○保護率は上昇傾向にあり、令和4年度は10.10%となっており、市民の約100人に1人が生活保護を受給している。

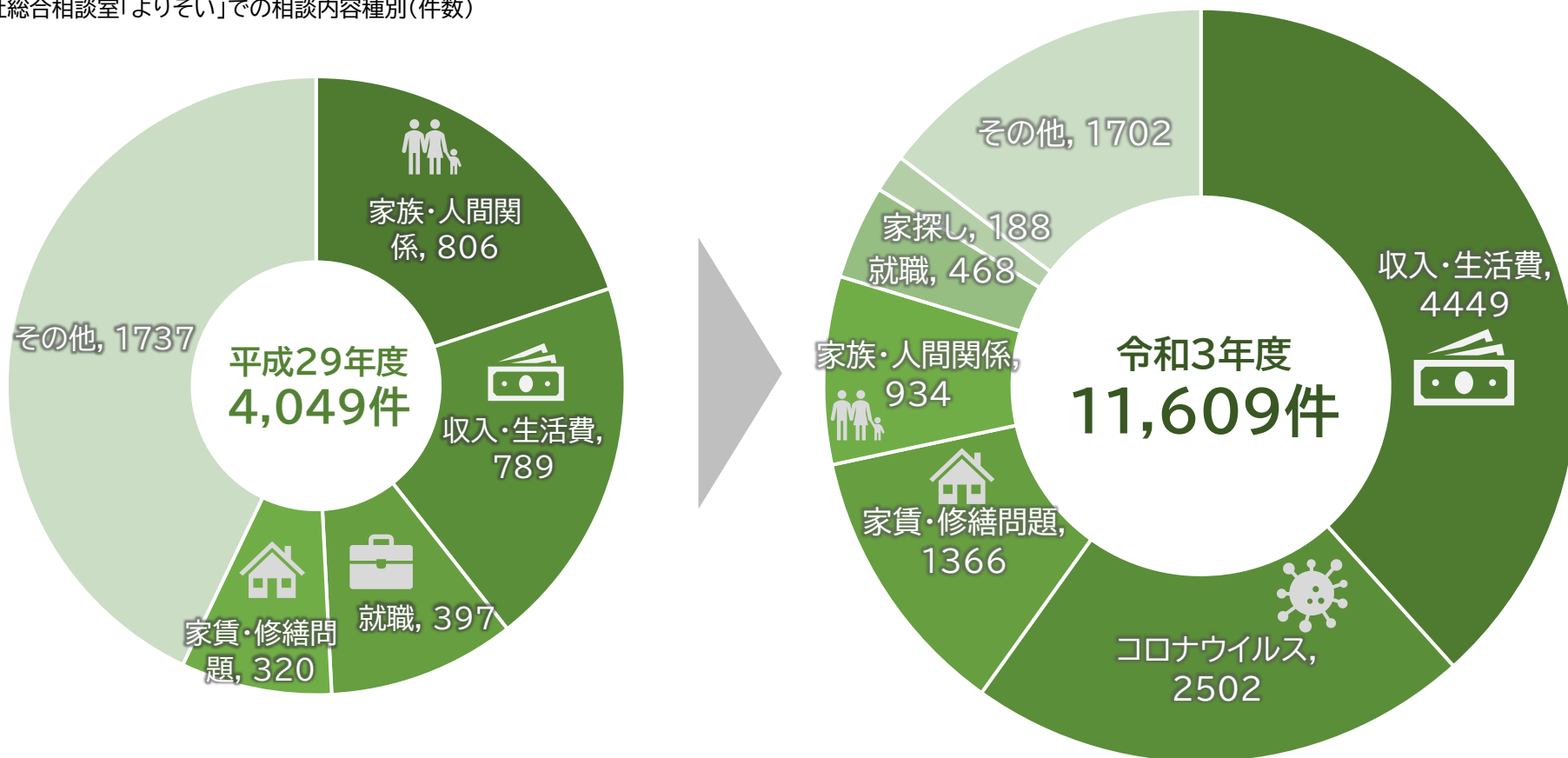
●世帯類型別の被保護世帯数、保護率



出典：福井市調べ

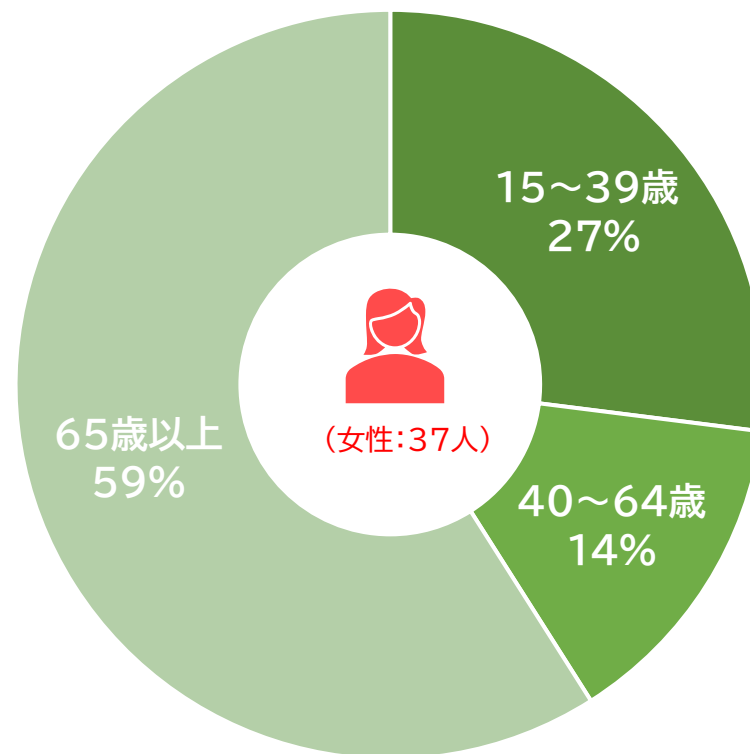
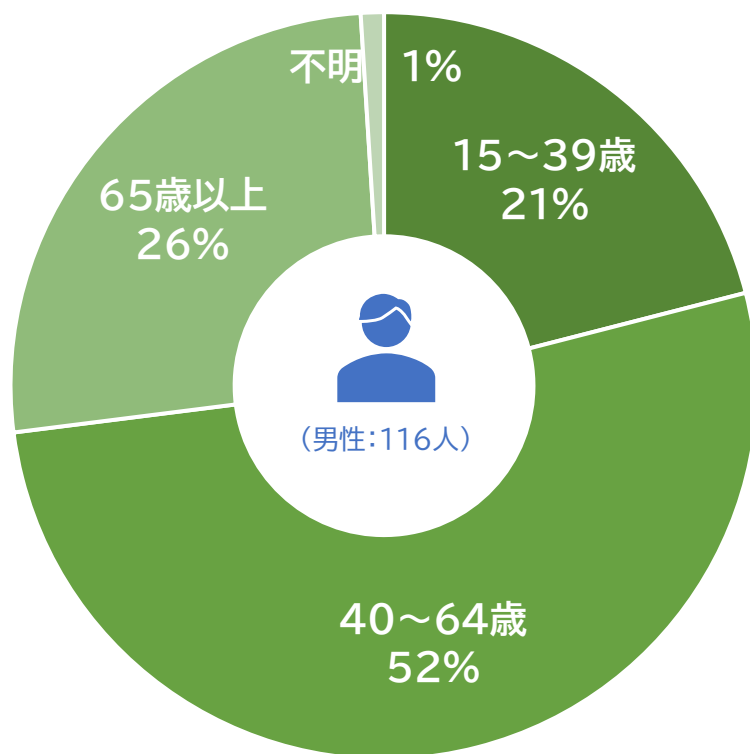
○平成29年度と比べ、令和3年度の相談件数は約3倍近くに増加している。
 ○令和3年度の相談内容種別では、全体の約4割を「収入・生活費(4,449件)」が占めている。

●福祉総合相談室「よりそい」での相談内容種別(件数)



○ひきこもりと思われる男性116人のうち、約半数が40歳～64歳となっている。
 ○ひきこもりと思われる女性37人のうち、半数以上が65歳以上となっている。

●本市におけるひきこもりと思われる人数(年代別)

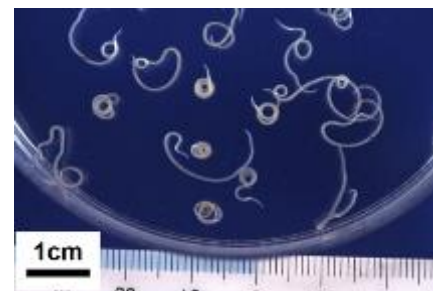


※ひきこもり：同居している家族等以外との交流がほとんどない状態が概ね6か月以上続いている、市内在住の15歳以上の方
 ※調査方法：民生児童委員に対し、普段の活動の中で把握しているひきこもりと思われる人数を聞き取り（令和元年10月～11月）

○令和4年は、7件の食中毒が発生しており、うち6件は「アニサキス」が原因となっている。

●近年の福井市での食中毒発生状況

	R1	R2	R3	R4
発生件数	3件	4件	4件	7件
患者数	6名	8名	101名	19名



アニサキスの幼虫(国立感染研究所提供)

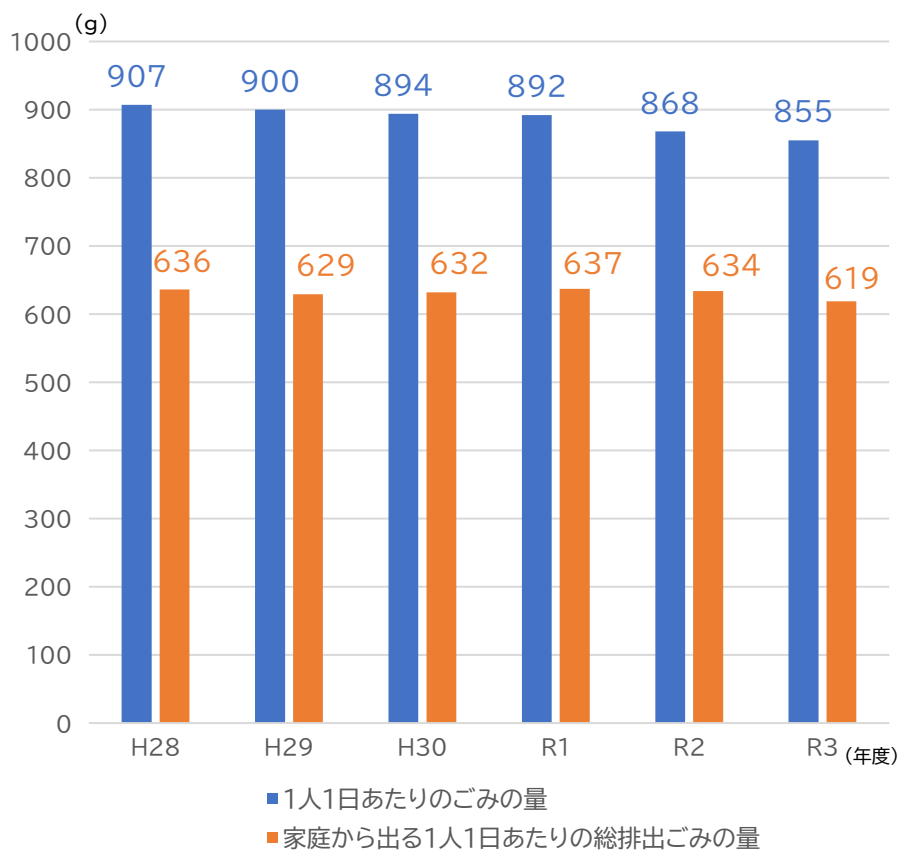
	発生年月日	患者数	原因食品	病因物質	行政処分
1	R4.2.26	1名	魚介類販売店が販売した「いわし(刺身用の冊)」	アニサキス	営業停止処分
2	R4.4.18	1名	飲食店が調理提供した食事(特上にぎり)	アニサキス	営業停止処分
3	R4.6.27	13名	飲食店が調理提供した弁当	黄色ブドウ球菌	営業停止処分
4	R4.7.31	1名	飲食店が調理提供した「サバの刺身」	アニサキス	営業停止処分
5	R4.9.18	1名	魚介類販売店が販売した「刺身(ふくらぎ、ぶり、いか、ひらめ)」	アニサキス	営業停止処分
6	R4.9.23	1名	喫食した生鮮魚介類	アニサキス	営業停止処分
7	R4.11.25	1名	魚介類販売店が販売した「ふくらぎ お刺身」	アニサキス	営業停止処分
7件		19名			

環境

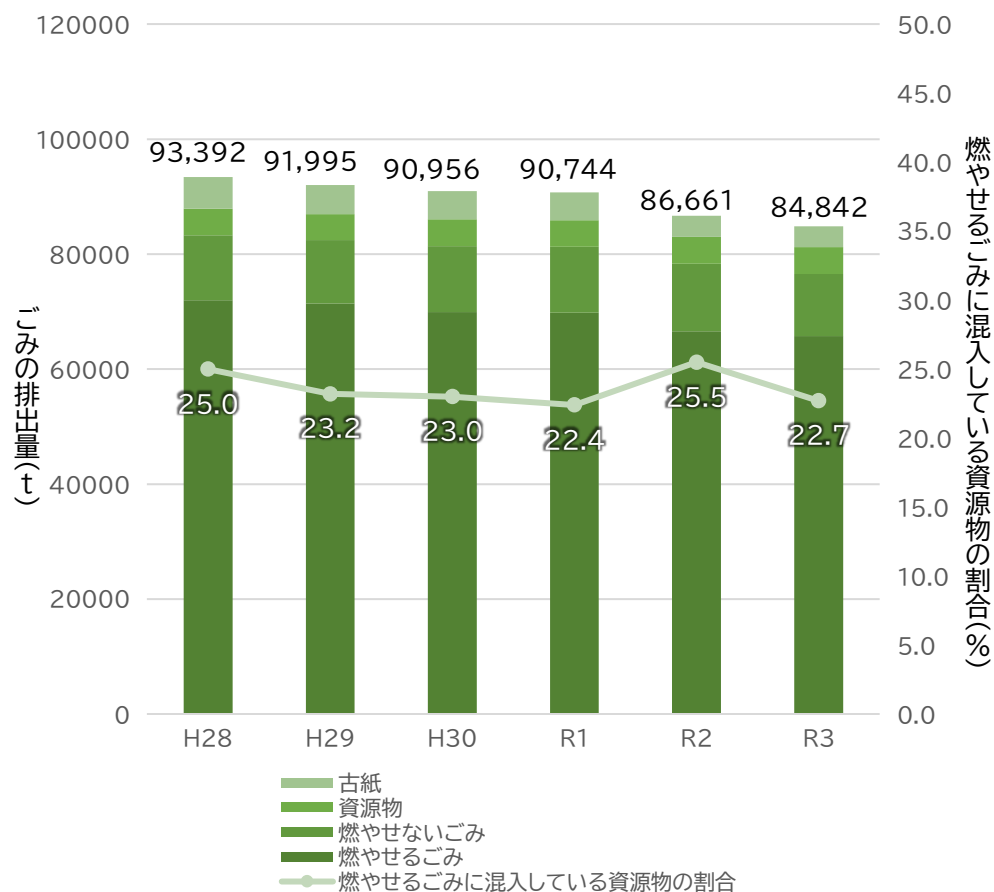
(1)ごみ

○市全体におけるごみの排出量は、毎年減少傾向にある。
○燃やせるごみに混入している資源物の割合は、22.7%と、前年度より2.8ポイント改善した。

●市民1人1日あたりのごみの量



●本市のごみの総排出量・燃やせるごみに混入している資源物の割合

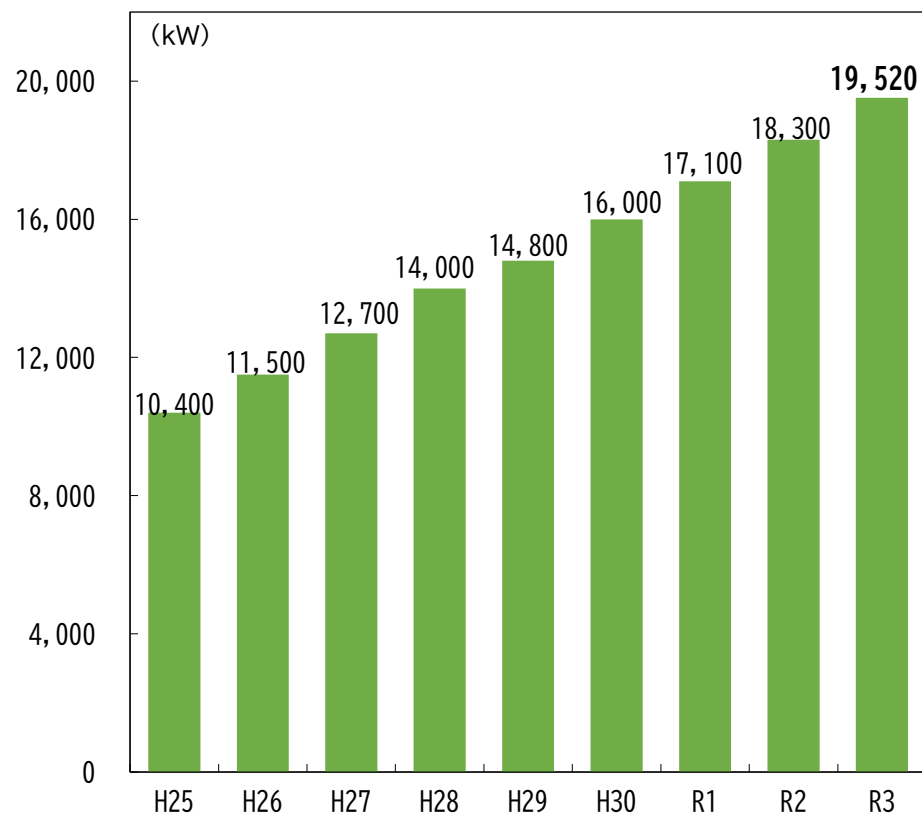


環境

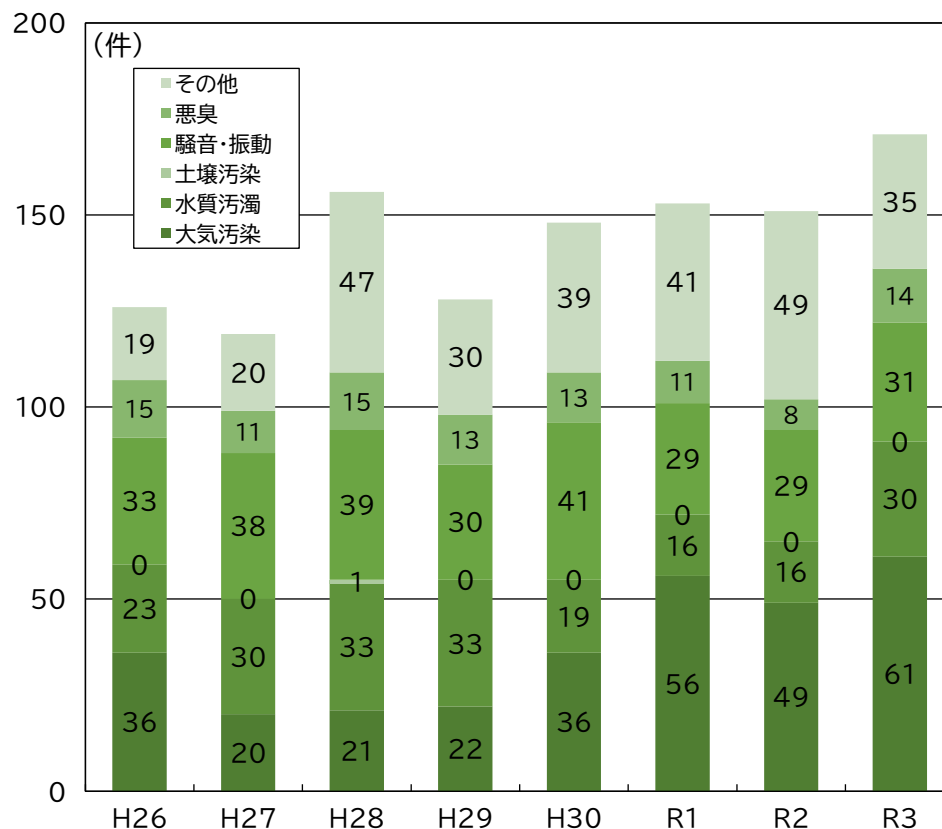
(2)自然エネルギー、公害

○太陽光発電設備の導入については、国のエネルギー買い取り制度等による後押しもあり、増加傾向にある。
○福井市では、毎年150件程度の公害が発生しており、近年は野焼きなどによる「大気汚染」が最も多く発生している。

●福井市の太陽光発電導入量



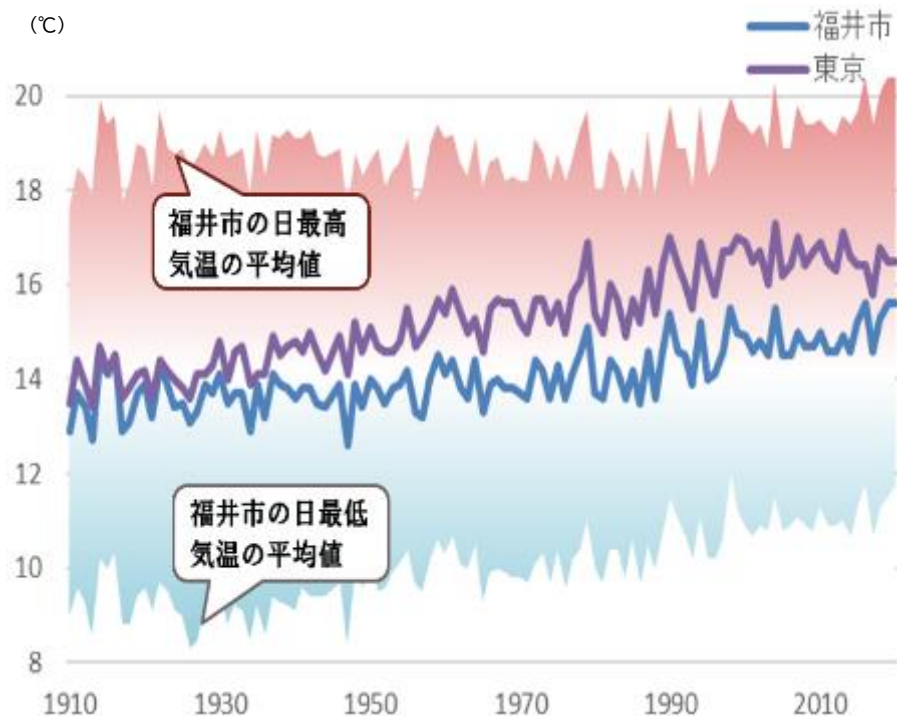
●福井市における公害の種類別発生件数の推移



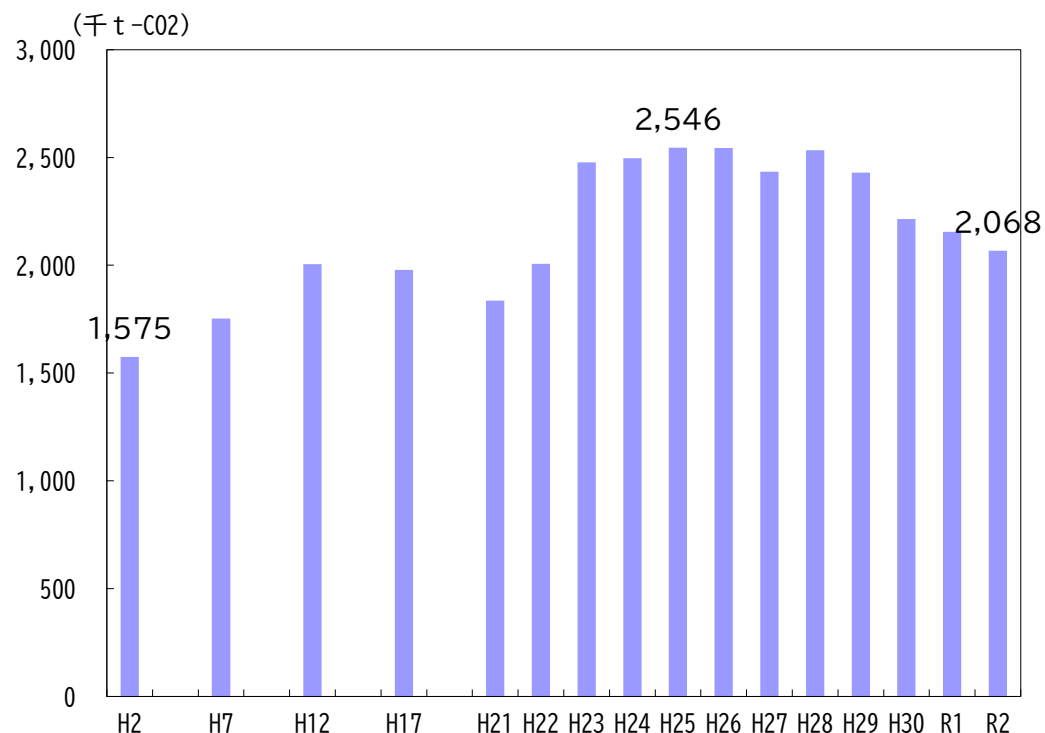
(3) 気温変動、温室効果ガス

- 世界的に温暖化が進んでおり、本市においても平均気温が上昇傾向にある。
- 本市における温室効果ガス排出量は減少傾向にあり、令和2年度は、平成25年度より約2割減少。

●100年間の気温変動(年平均値)



●福井市における温室効果ガス排出量の推移



出典：福井市作成「ふくいの環境 令和4年度版」

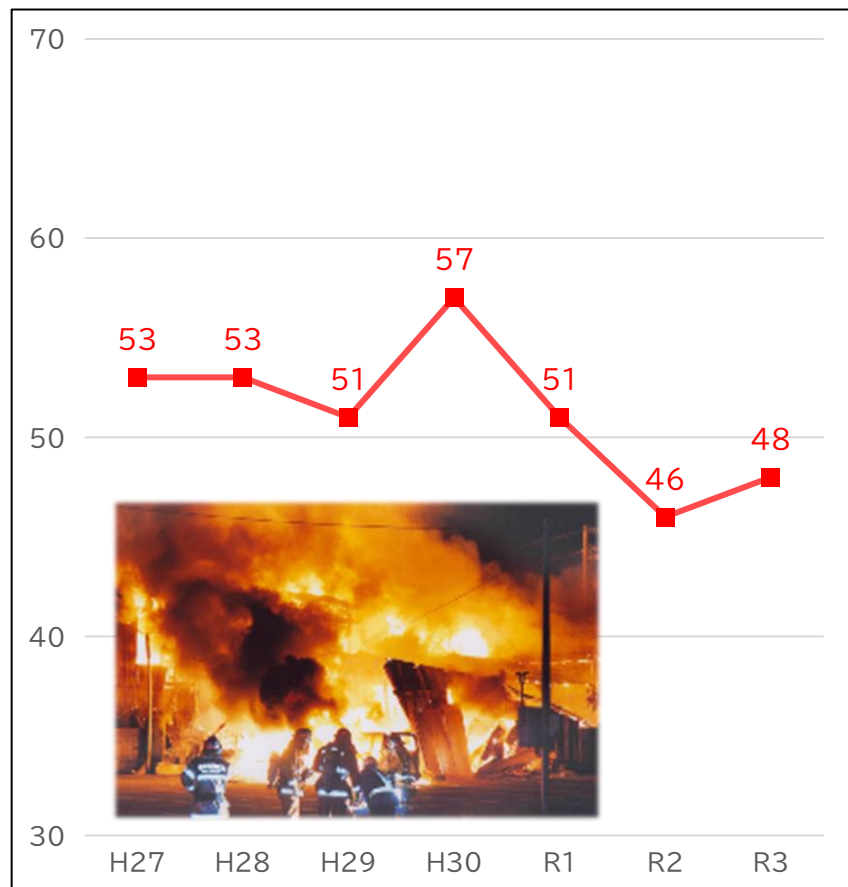
防災、安全安心

(1)火災・救急

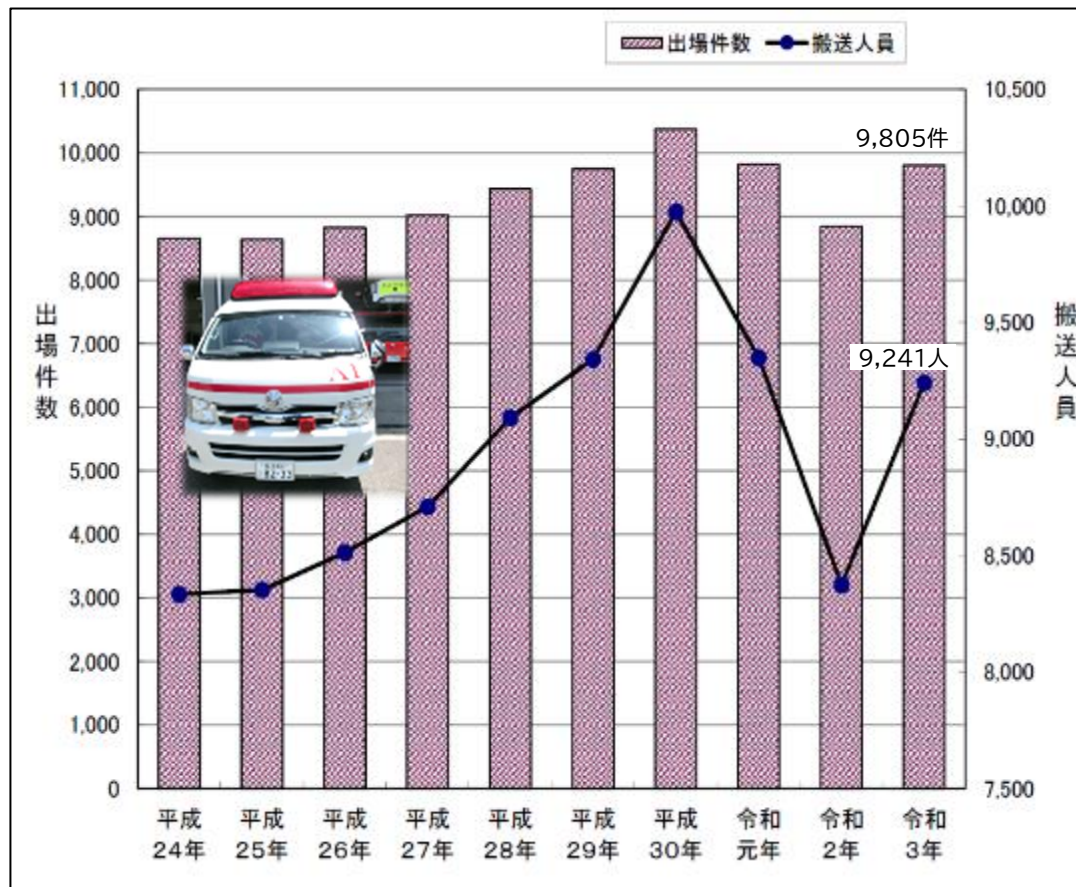
○本市では毎年約50件程度の火災が発生している。

○救急件数及び搬送人員は近年減少傾向となっていたが、令和3年においては増加している。

●本市における火災発生件数



●本市における救急件数及び搬送人員の推移



出典：福井市作成「消防年表」

1948年(S23)6月28日
福井地震



嶺北北部を震源とするM7.1最大震度6(当時)の直下型地震が発生。家屋の全壊率は福井市で約80%に達し、火災も多数発生。市の総人口8万6千人に対して930人もの死者を出す大災害となった。

1948年(S23)7月25日
九頭竜川堤防決壊



7月24日から続いた雨で、九頭竜川堤防が決壊し、各河川の合流点付近一帯が浸水。市内の浸水家屋は約7千戸、被災人口は約2万8千人に及び、九頭竜川流域全体での死傷者は156人に及んだ。

1962~63年(S37~38)
12月30日~2月
三八豪雪



1月末の積雪が213cmに達した。美山町では雪崩が発生して下校中の教員と生徒を襲い、4人が犠牲に。県内全体では死者25人、全壊家屋623戸、床上浸水323戸。

1980~1981年(S55~56)
12月~2月
五六豪雪



1週間程度の豪雪が3回発生し、積雪は福井市で1月15日に196cmを記録。市内では死者6人、負傷者41人、家屋の損壊102件、雪崩7件。

2004年(H16)7月18日
福井豪雨



山間部では相次いで土石流や土砂崩れが発生し、都市部では足羽川左岸で堤防が決壊して大規模な浸水被害が発生。県内では死亡3人、行方不明1人。市内の被災世帯数は11,319世帯に上った。

2018年(H30)2月
平成30年大雪



2月7日に147cmに達する積雪を記録。車のスリップ多発により、国道8号において車の立ち往生が多数発生。市内では死者4人、半壊4戸、家屋等の一部破損15戸。

2020年(R2)9月4日
嶺北地方を震源とする地震



9時10分頃、嶺北地方を震源とするM5.0の地震が発生。福井市では震度4を計測し、市内では中等傷1人、軽傷11人、建物一部損壊等の被害があった。

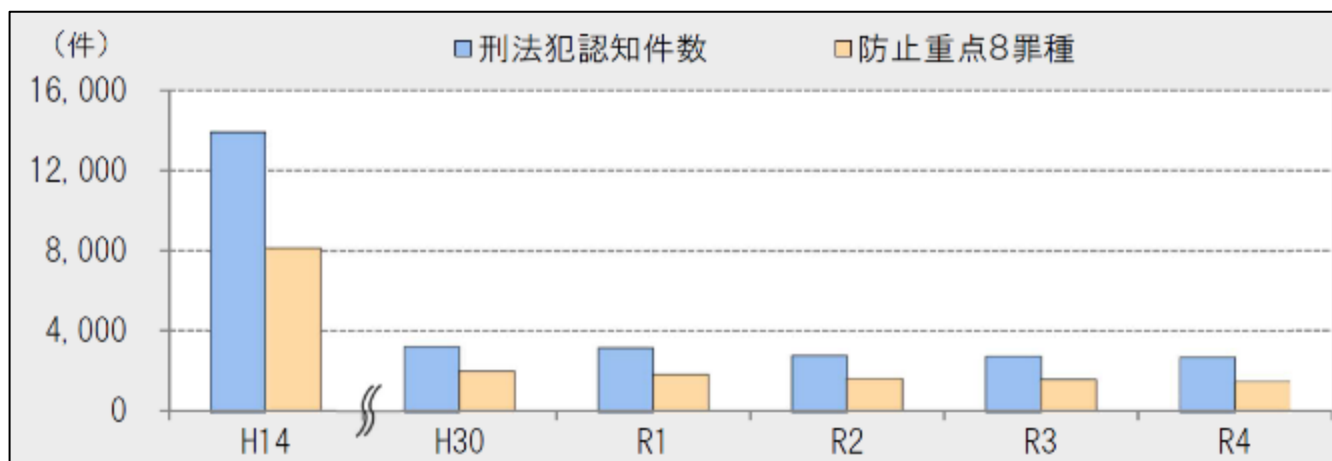
2021年(R3)1月
大雪



1月9日に107cmに達する積雪を記録。北陸自動車道武生IC-加賀IC間の通行止めに伴い、国道8号に交通が集中し、大規模な渋滞が発生。

- 福井県の刑法犯認知件数は、減少傾向にある。
- 令和4年においては、「万引き」が562件と最も多く、次いで「自転車盗」「車上ねらい」「器物損壊」の順で発生している。

●福井県における刑法犯認知件数と防止重点8罪種の推移



8罪種		H14	H30	R1	R2	R3	R4
県民の身近で多く発生する犯罪	車上ねらい	2,416	277	147	189	123	160
	自転車盗	2,341	487	477	307	293	310
	万引き	1,320	516	516	543	443	562
	置き引き	348	205	217	143	114	142
	器物損壊	904	335	261	238	220	156
住宅等への侵入犯罪	空き巣	460	63	79	60	53	43
	忍込み	132	38	58	46	252	20
	住居侵入	188	45	62	72	51	61
合計		8,109	1,966	1,817	1,598	1,549	1,454

(単位：件)

○令和3年度の特殊販売における相談件数は715件であり、前年度に比べ、わずかに減少(前年度比97.9%)している。
 ○相談件数全体の約7割を「通信販売」が占めている。

●特殊販売における契約当事者の年齢別相談件数(令和3年度)

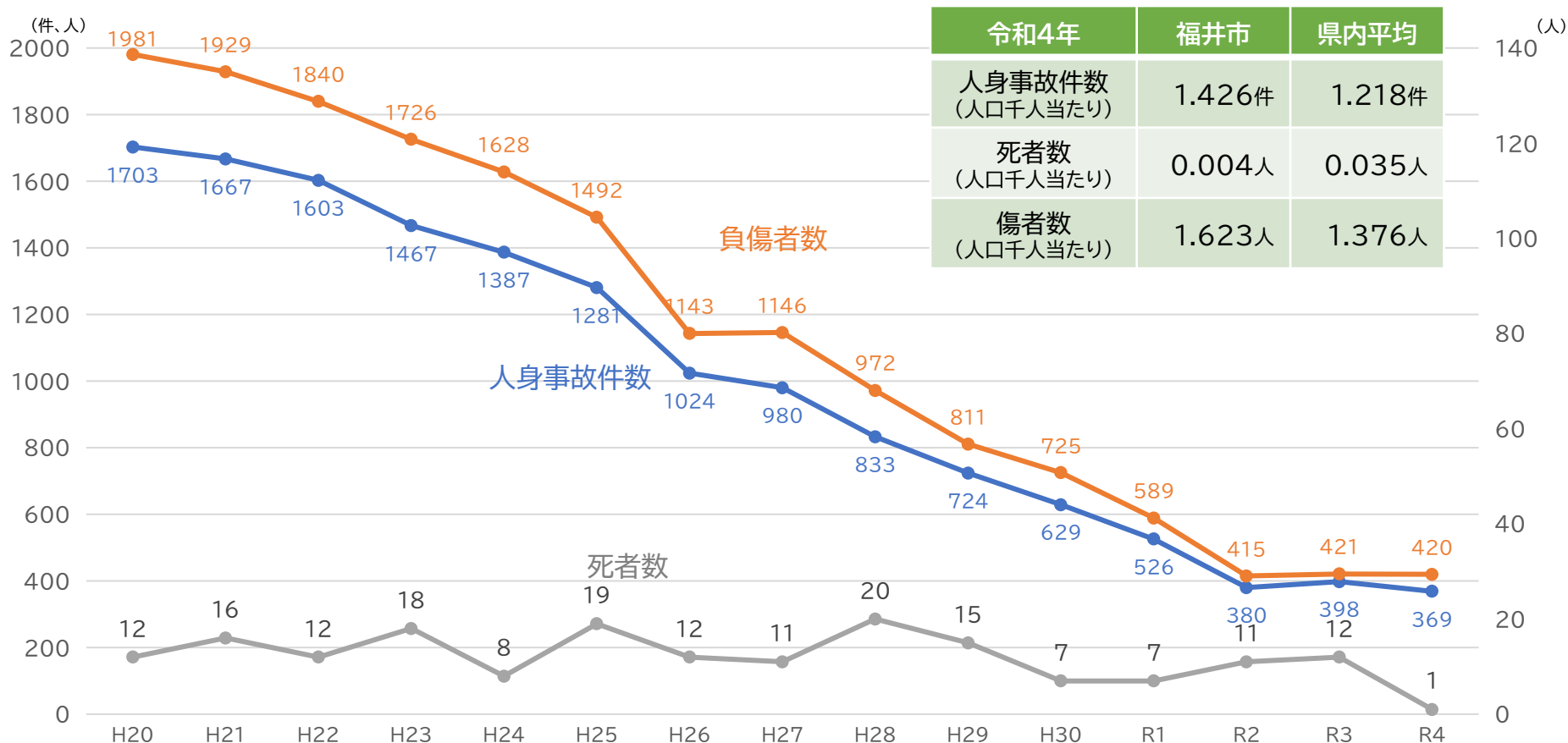
販売購入 形態/年代	(件)									前年度比(%)	
	20 歳未満	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70歳 以上	その他 ・不明	計		
訪問販売	0	10	3	4	10	9	40	15	91	↗	159.6
通信販売	34	41	42	80	77	66	106	70	516	↘	93.1
マルチ・マルチまがい取引(※1)	0	2	3	3	1	1	2	1	13	↘	56.5
電話勧誘販売	1	3	7	5	7	7	31	10	71	↗	102.9
ネガティブ・オプション(※1)	0	0	0	0	0	0	1	0	1	↘	10.0
訪問購入	0	0	1	0	2	6	4	1	14	↗	116.7
その他無店舗販売	0	0	1	0	0	2	4	2	9	↗	180.0
合計	35	56	57	92	97	91	188	99	715	↘	97.9

※1:マルチ商法とは、商品などの購入契約と販売組織への加入をさせ、その者に新たな会員を勧誘させることによって利益を得るといった販売方法

※2:ネガティブ・オプションとは、購入の申込みをしていない者に一方的に商品を送り付け、相手方から商品の返送、または購入しない旨の通知がない限り、購入の意思ありとみなし代金を請求する販売方法

○人身事故件数、負傷者数は減少傾向にあり、令和4年中の死者数は1人と最も少なくなった。

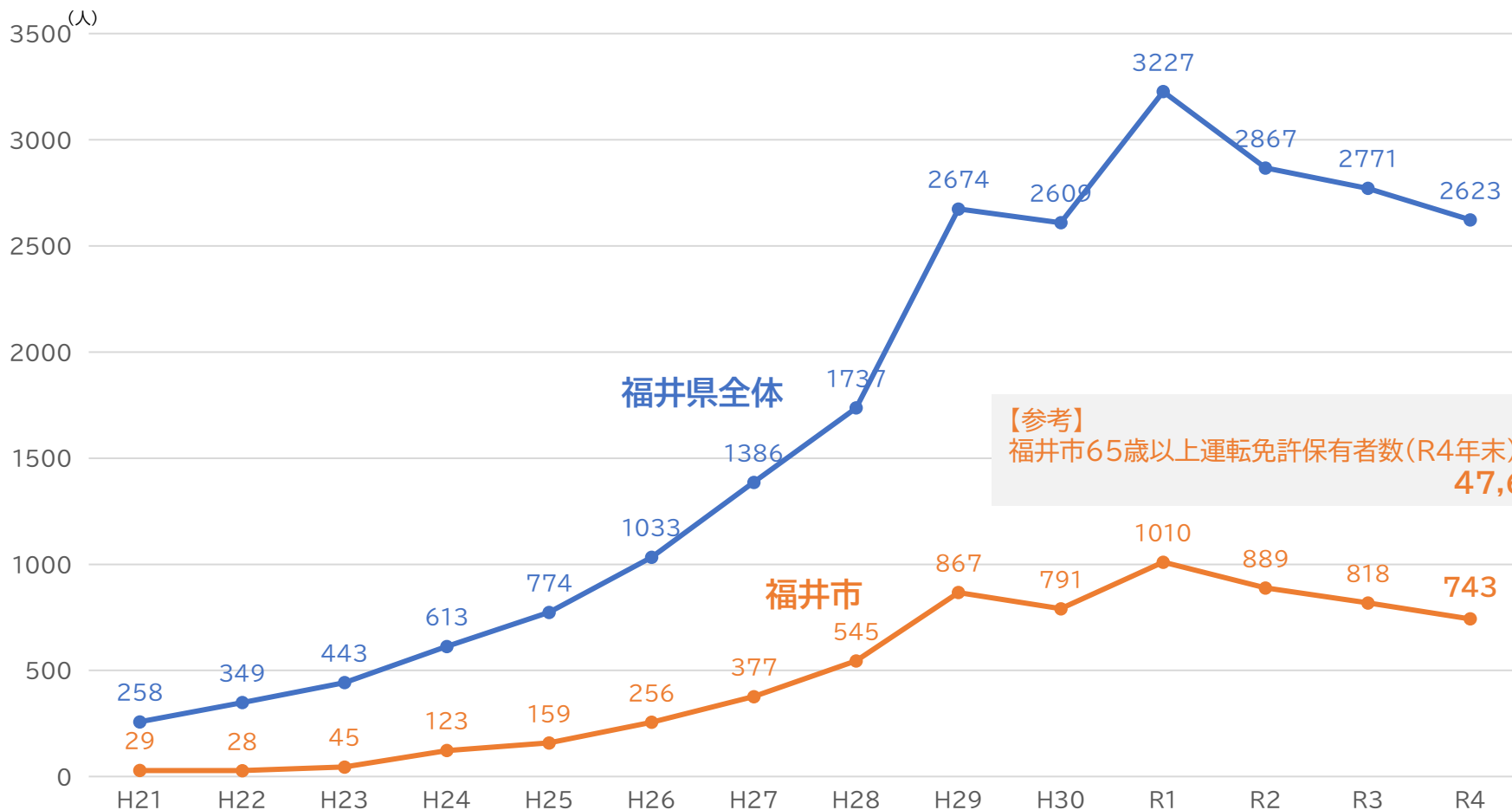
●福井市の交通事故による人身事故件数、負傷者数、死者数の推移



(6) 運転免許返納

○運転免許返納者数は、令和元年までは増加傾向にあったものの、近年では、減少傾向にある。

●免許返納者数の推移



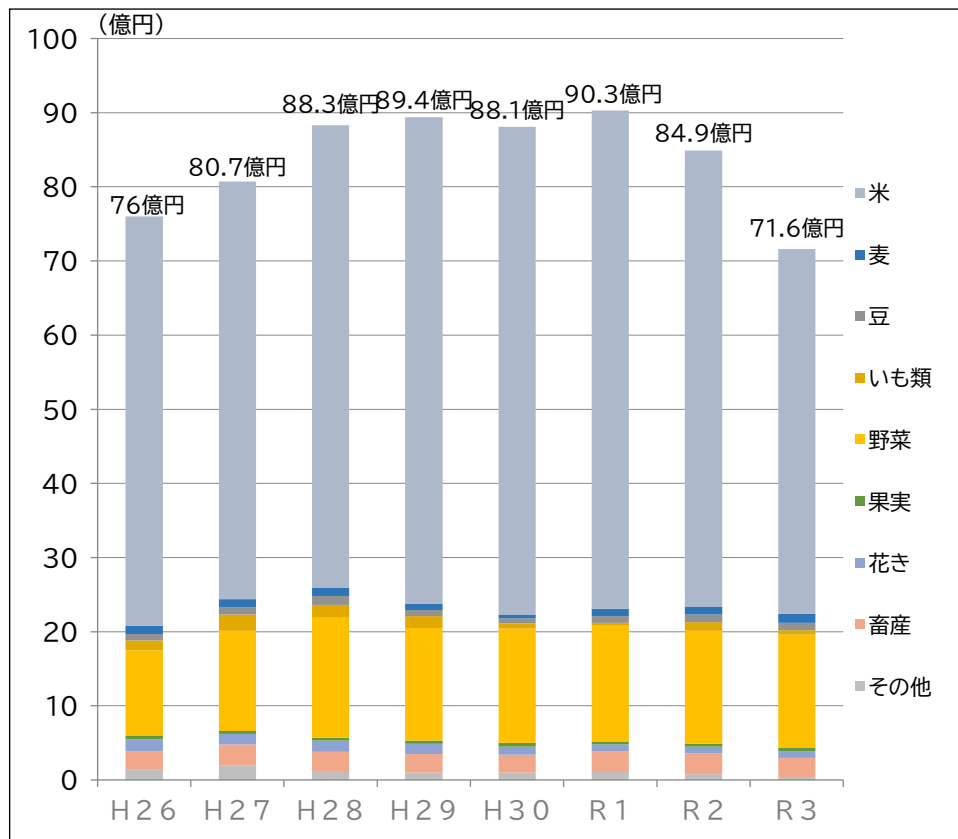
【参考】
福井市65歳以上運転免許保有者数(R4年末)
47,672人

農林水産業

(1) 農業

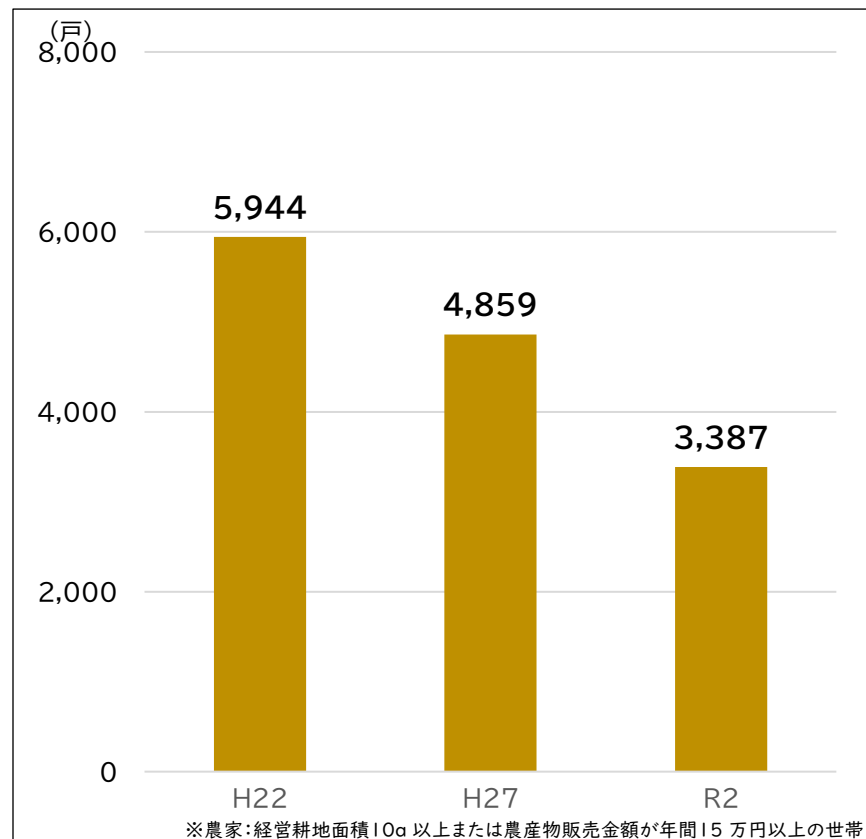
- 農業産出額は、増加傾向であったが、令和元年度以降は、減少傾向にある。
- 農家数では、平成22年と比較すると令和2年の農家数は43%減少している。

●本市の農業産出額の推移



出典：農林水産省 作物統計
(平成26～令和3年 市町村別農業産出額 (推計))

●本市の農家数



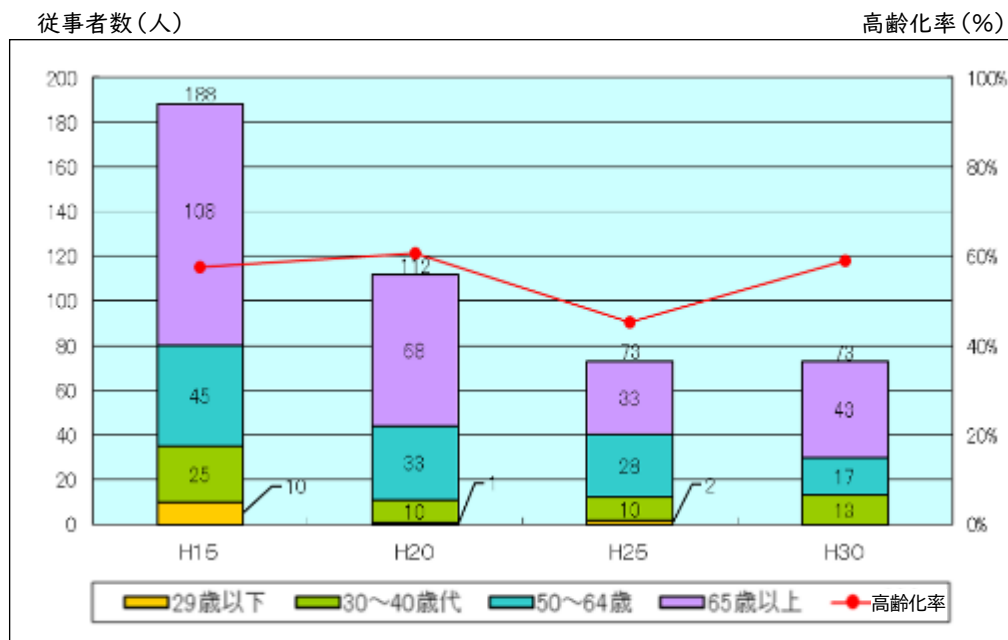
出典：2020年 (R2) 「農林業センサス」

農林水産業

(2) 漁業

○基幹的漁業従事者数については、年々減少傾向にあり、また平成30年の高齢化率は59%となっている。
 ○平成20年と平成30年の魚種別漁獲量を比べると、すべての魚種において、漁獲量が減少している。

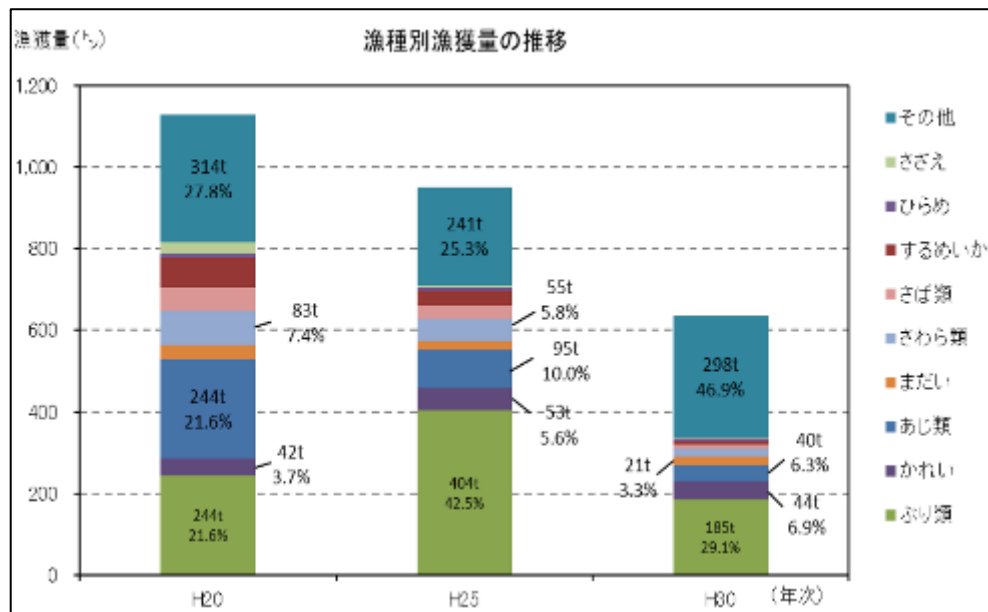
●基幹的漁業従事者の年齢階層の推移(福井市)



※基幹的漁業従事者…個人経営体の世帯員のうち、満15歳以上で自家漁業の海上作業従事日数が最も多い者

出典：2018年 漁業センサス

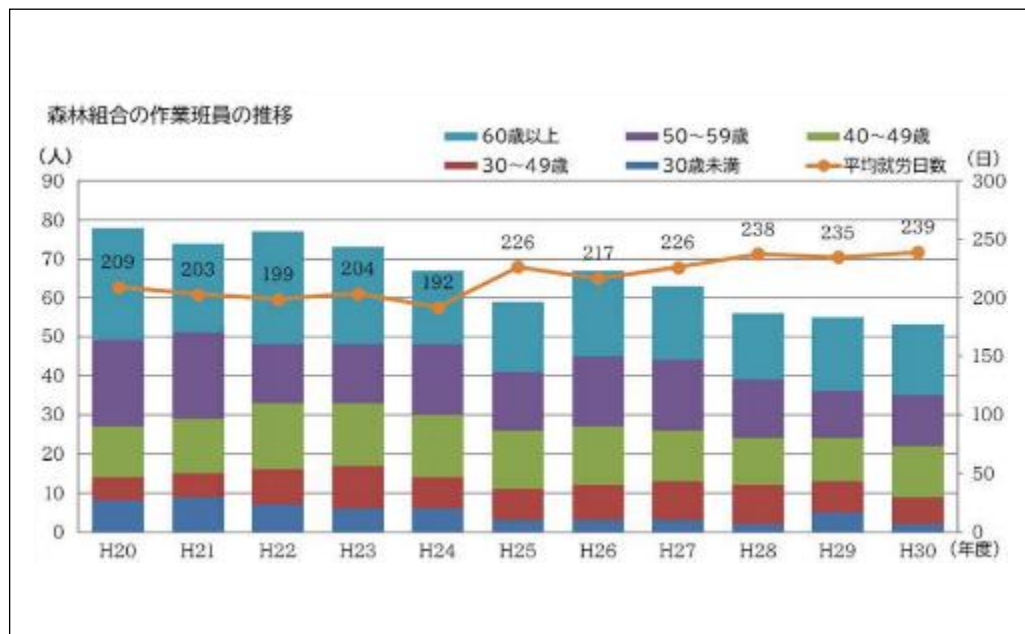
●魚種別漁獲量の推移(福井市)



出典：農林水産省平成30年「海面漁業生産統計調査」

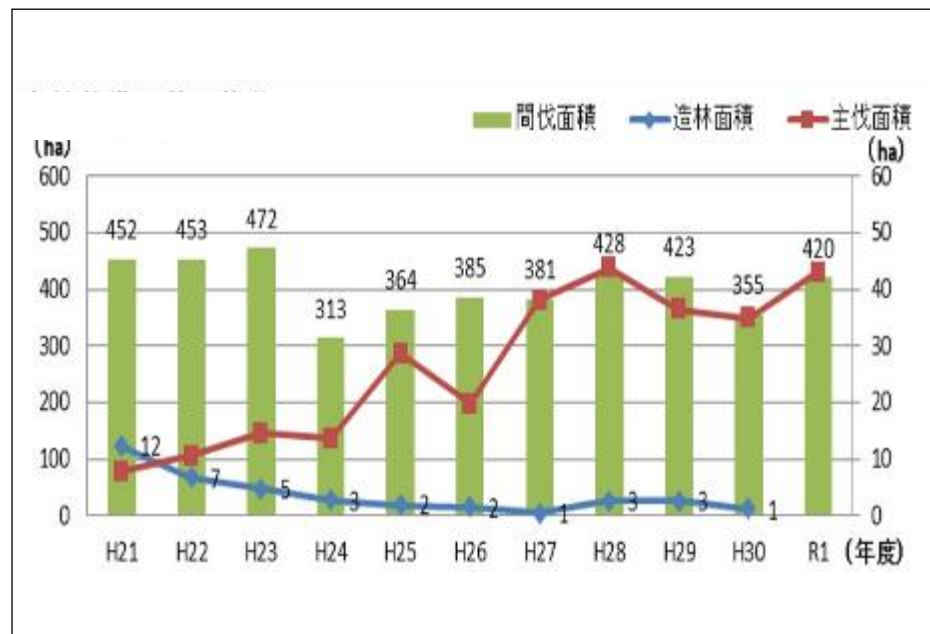
- 本市管内で活動している森林組合の作業班員数は減少傾向にある。
- 本市の間伐面積は年間平均400haで推移しているが、造林面積は減少傾向にあり、資源の循環利用が図られていない状況となっている。

●森林組合の作業班員の推移(福井市)



出典：福井県林業統計書

●森林整備面積の推移(福井市)



出典：福井県林業統計書

※主伐・・・利用期に達した樹木を伐採し収穫すること。間伐と異なり、伐採後、次の世代の樹木の育成を行う。

※間伐・・・育成段階にある森林において樹木の混み具合に応じて、育成する樹木の一部を伐採(間引き)し、残存木の成長を促進する作業。間伐を行うことにより森林の公益的機能の維持・増進を図ることができる。

○令和4年度においては、イノシシの捕獲頭数が増加に転じた一方で、シカの捕獲頭数は若干減少傾向にある。
○有害鳥獣による被害により、毎年度1千万円以上の被害が発生している。

●本市の有害鳥獣の被害等の推移

	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3	R 4
イノシシ捕獲頭数 (頭)	1,511	1,449	1,322	1,185	1,368	593	1,415	637	282	435
シカ捕獲頭数 (頭)	40	192	141	180	390	410	653	996	891	606
鳥獣類による 農業被害面積 (ha)	38.15	35.63	37.00	31.39	13.85	12.71	17.06	10.35	9.49	20.81
被害金額 (千円)	21,562	18,619	16,287	11,247	13,195	13,758	19,749	10,979	11,068	24,506

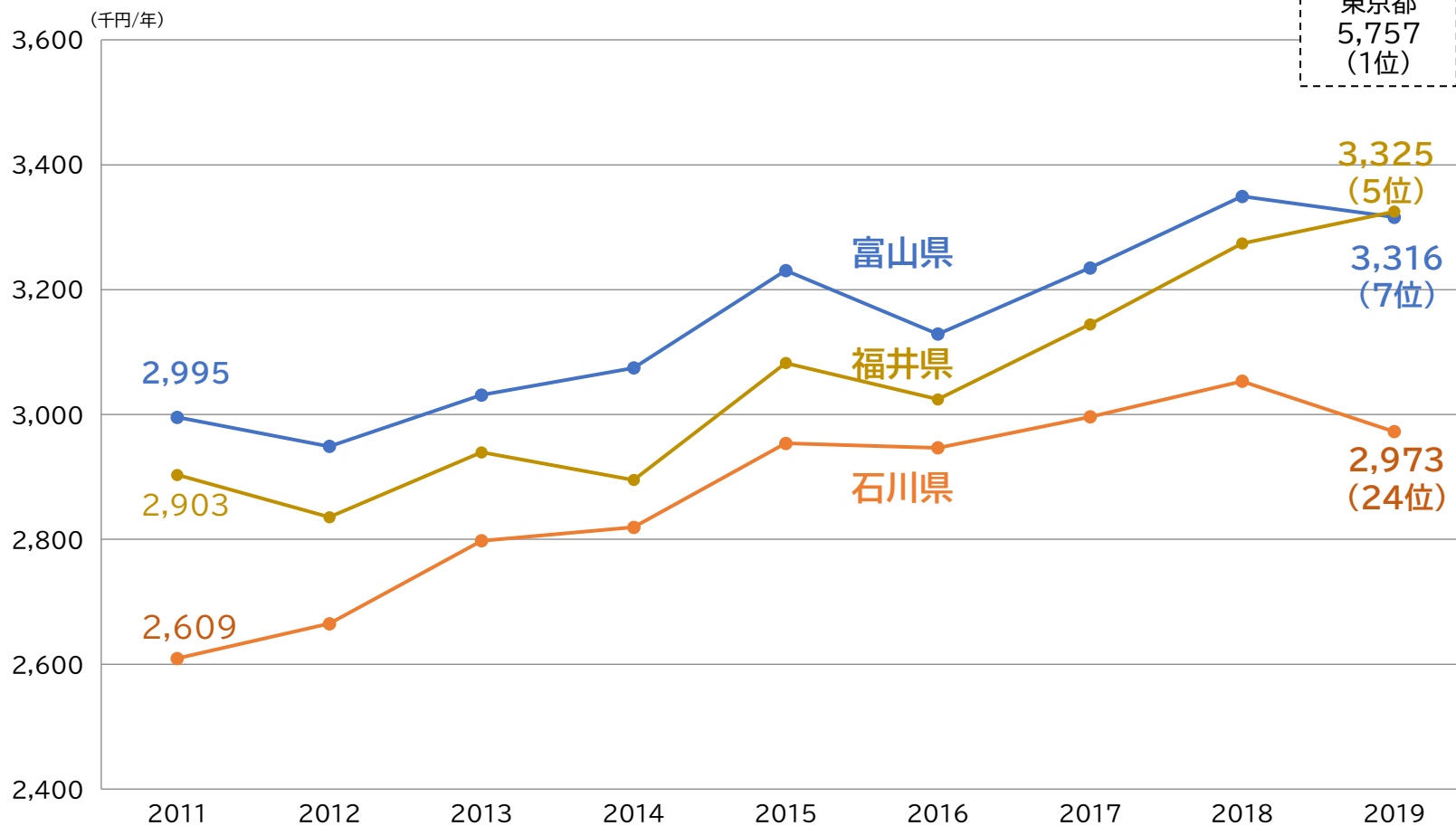
出典：第2次福井市農業活性化プラン
福井市調べ

商工業

(1)所得

○本県の一人当たり県民所得は、増加傾向にあり、2019年では、47都道府県中、第5位となっている。

●一人当たり県民所得の推移

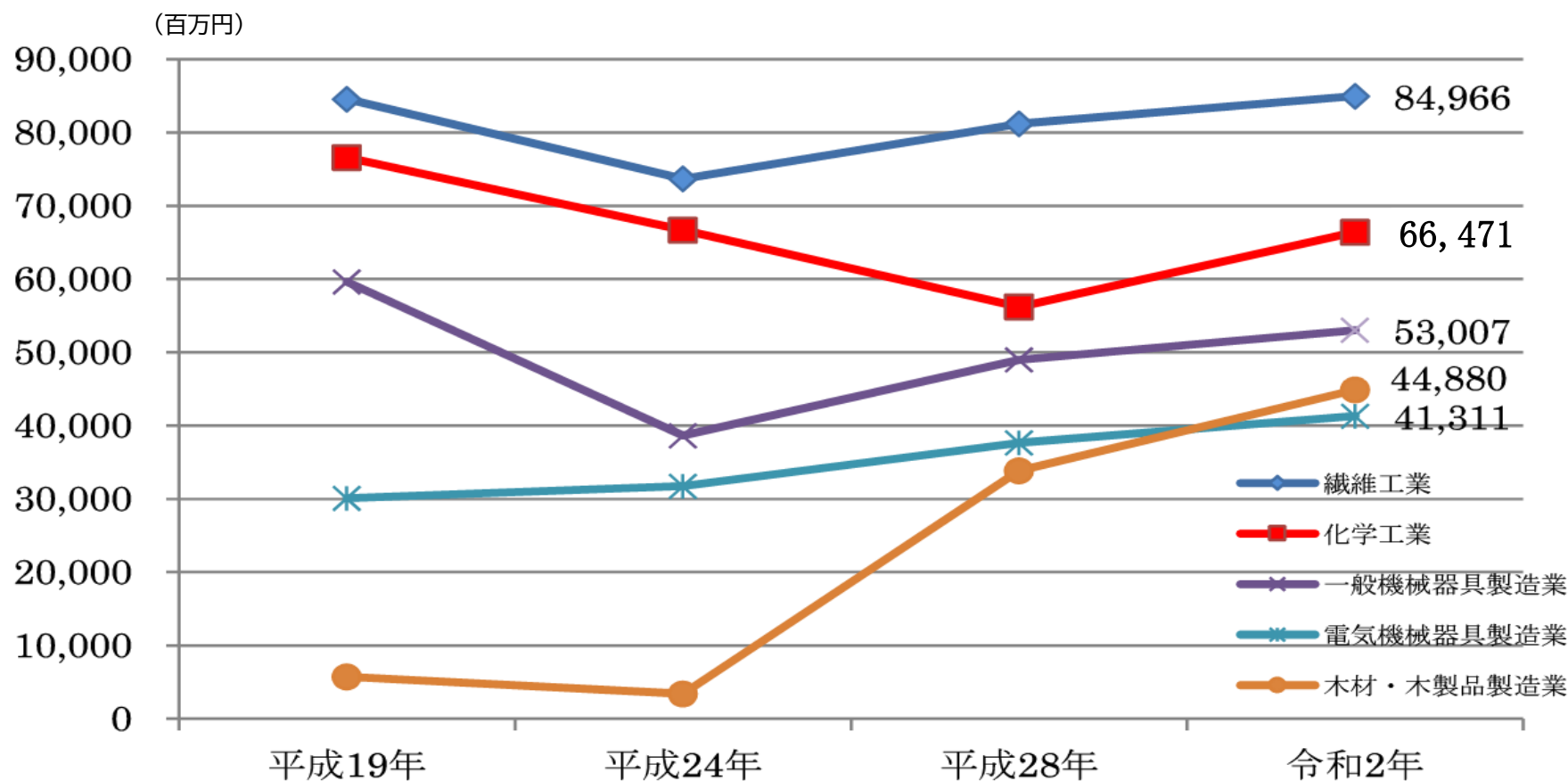


商工業

(2) 製造業(出荷額)

- 工業統計調査(従業員数4人以上)によると、製造品出荷額等は、繊維工業、化学工業の順に多い。
- 繊維工業の減少が顕著であったが、近年は回復傾向が見られる。

●本市の製造品出荷額等の推移(上位5業種)



商工業

(3) 製造業(従業者・事業所数)

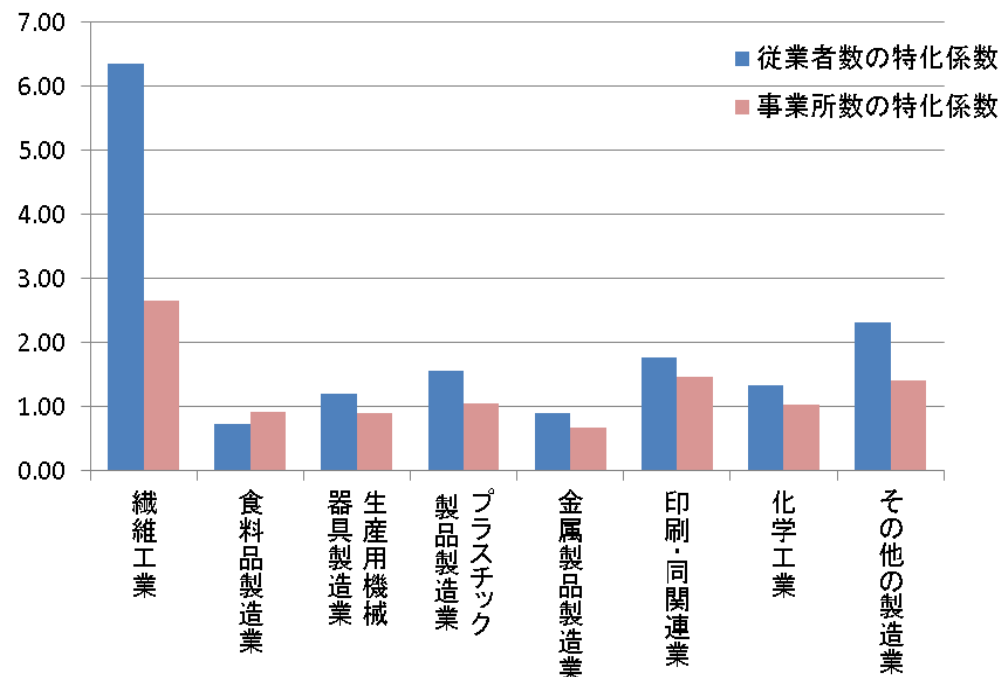
- 本市の業種において、従業者、事業所数ともに最も多いのは繊維工業(5,460人、338事業所)となっている。
- 特化係数をみると、従業者数、事業所数のいずれにおいても、繊維工業の特化傾向が顕著であり、本市製造業の大きな特徴となっている。

●本市の業種別の従業者数、事業所数(2016年)

産業中分類	従業者数	事業所数
繊維工業	5,460	338
食料品製造業	2,200	143
生産用機械器具製造業	1,837	116
プラスチック製品製造業	1,727	78
金属製品製造業	1,495	129
印刷・同関連業	1,478	137
化学工業	1,348	29
その他の製造業	1,288	134
製造業の計	20,796	1,441

※本市の製造業において、従業者数が多い業種(構成比5%以上)を抜粋

●本市の特化係数〔従業者数及び事業所数〕(2016年)



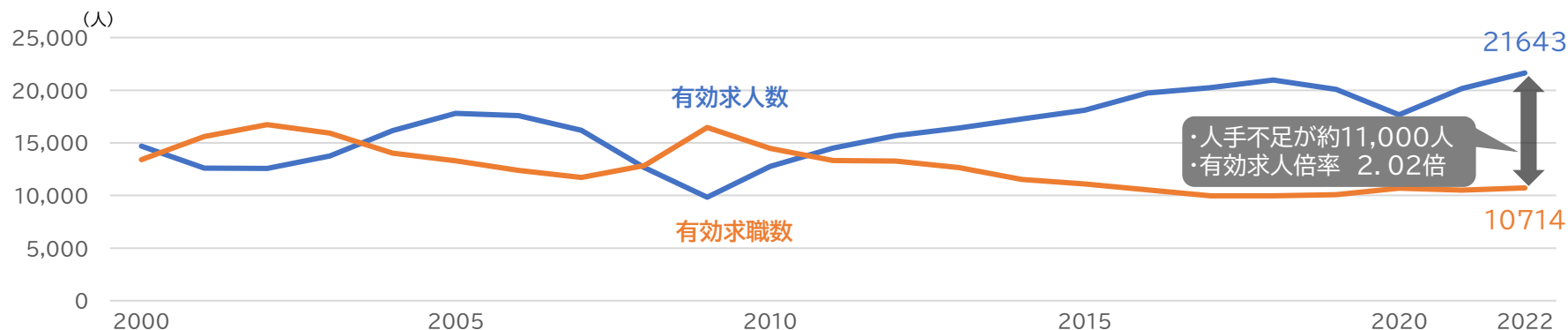
※ 特化係数
「本市における構成比/全国における構成比」
により算出される、地域のある産業が、どれだけ特化しているかを見る係数

商工業

(4)有効求人倍率

○有効求人倍率は、全国1、2位の水準で推移し、2022年度の求職者の不足数は約11,000人。
○職種別では、「事務職」に比べ、「建設・土木業」や「介護・保健医療サービス業」の求人倍率が高く、職種・業種間で格差が生じている。

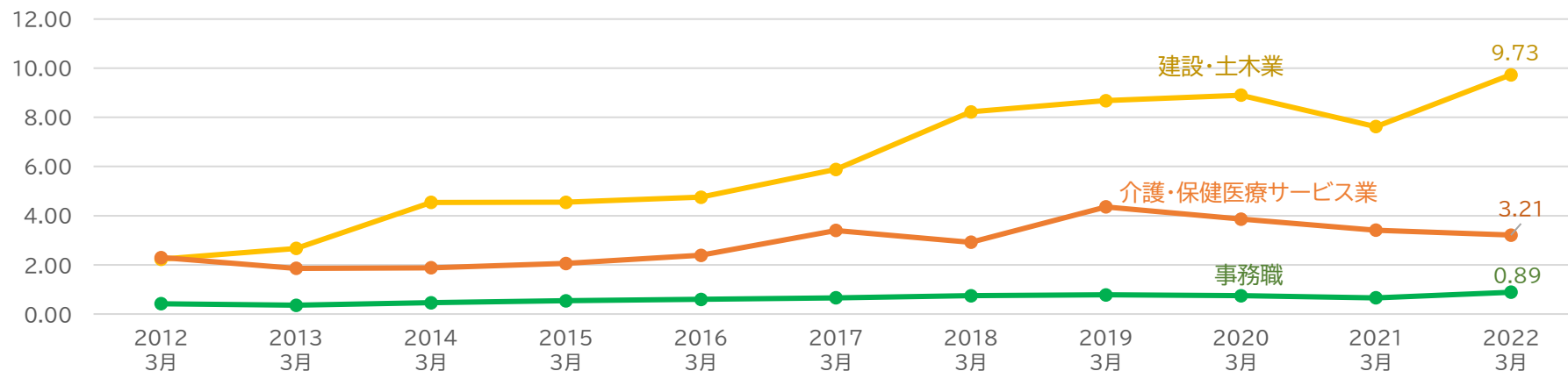
●福井県の求人・求職の動向(年間平均者数)



・人手不足が約11,000人
・有効求人倍率 2.02倍

●福井県の職種別有効求人倍率

出典：雇用失業情勢(令和5年3月分)(福井労働局)



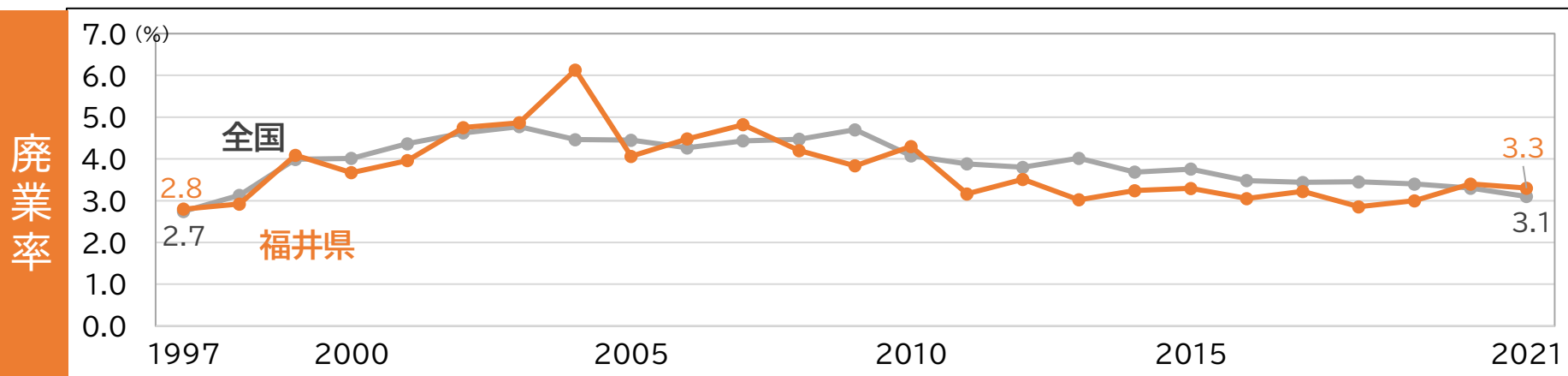
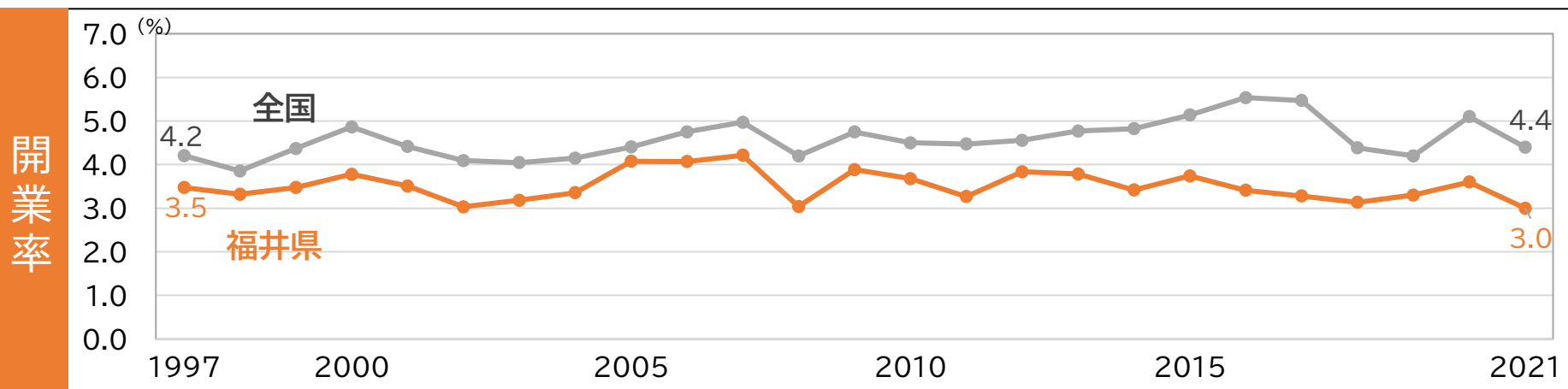
出典：有効求人・求職者状況(令和5年3月分)(福井労働局)

商工業

(5)開業率・廃業率

- 福井県の開業率は、全国よりも低い傾向が続いている。
- 福井県の廃業率は、全国よりもやや低い値で推移していたが、2020年、2021年は全国の値を上回った。

●国及び福井県における開業率・廃業率の推移



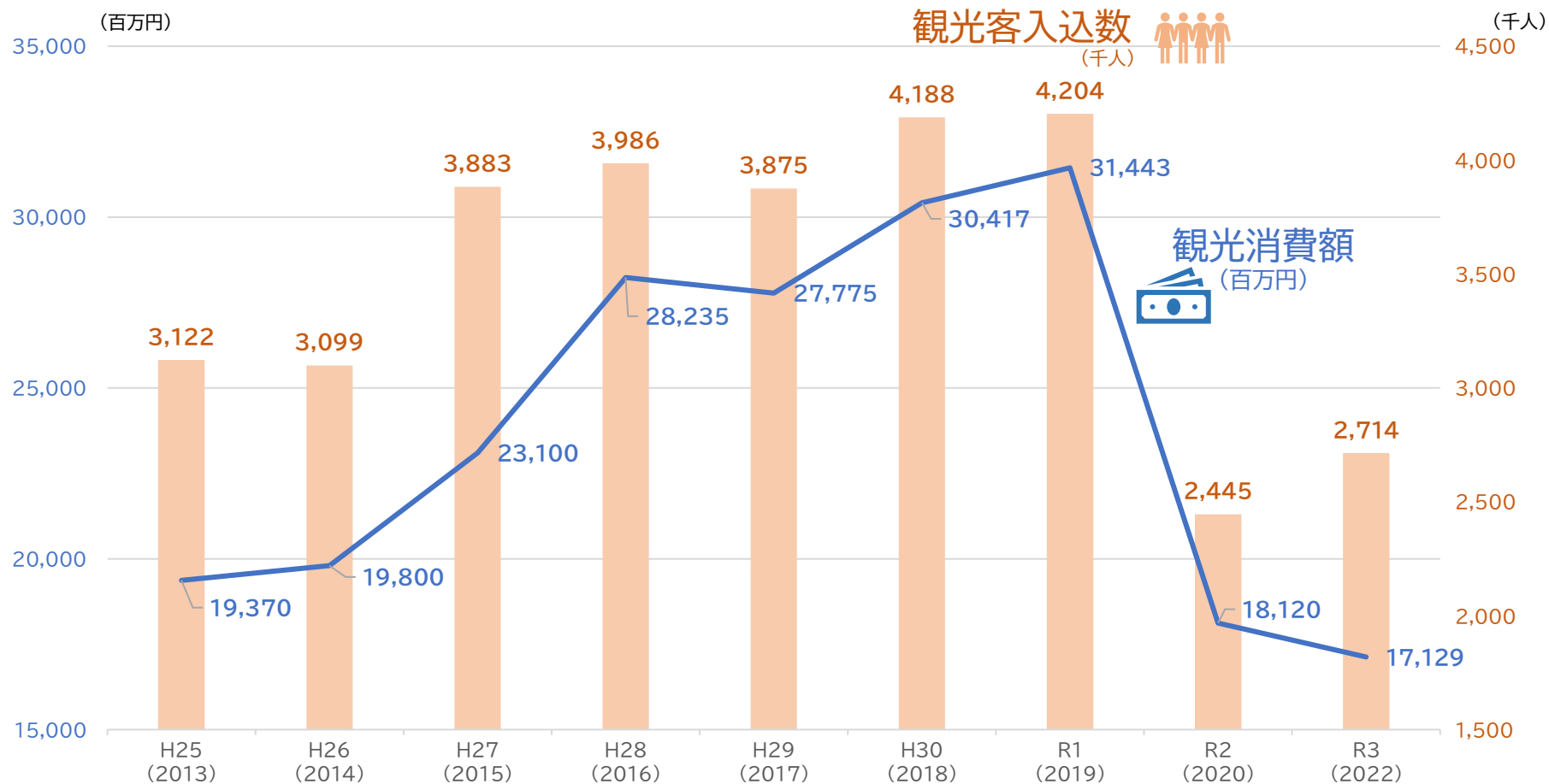
開業率…当該年度の雇用関係が新規に成立した事業所数／前年度末の雇用保険適用事業所数×100
廃業率…当該年度に雇用関係が消滅した事業所数／前年度末の雇用保険適用事業所数×100

観光

(1)観光

○観光客入込数及び観光消費額ともに増加傾向にあったが、コロナ禍以降、大きく落ち込んでいる。

●本市の観光客入込数と観光消費額の推移



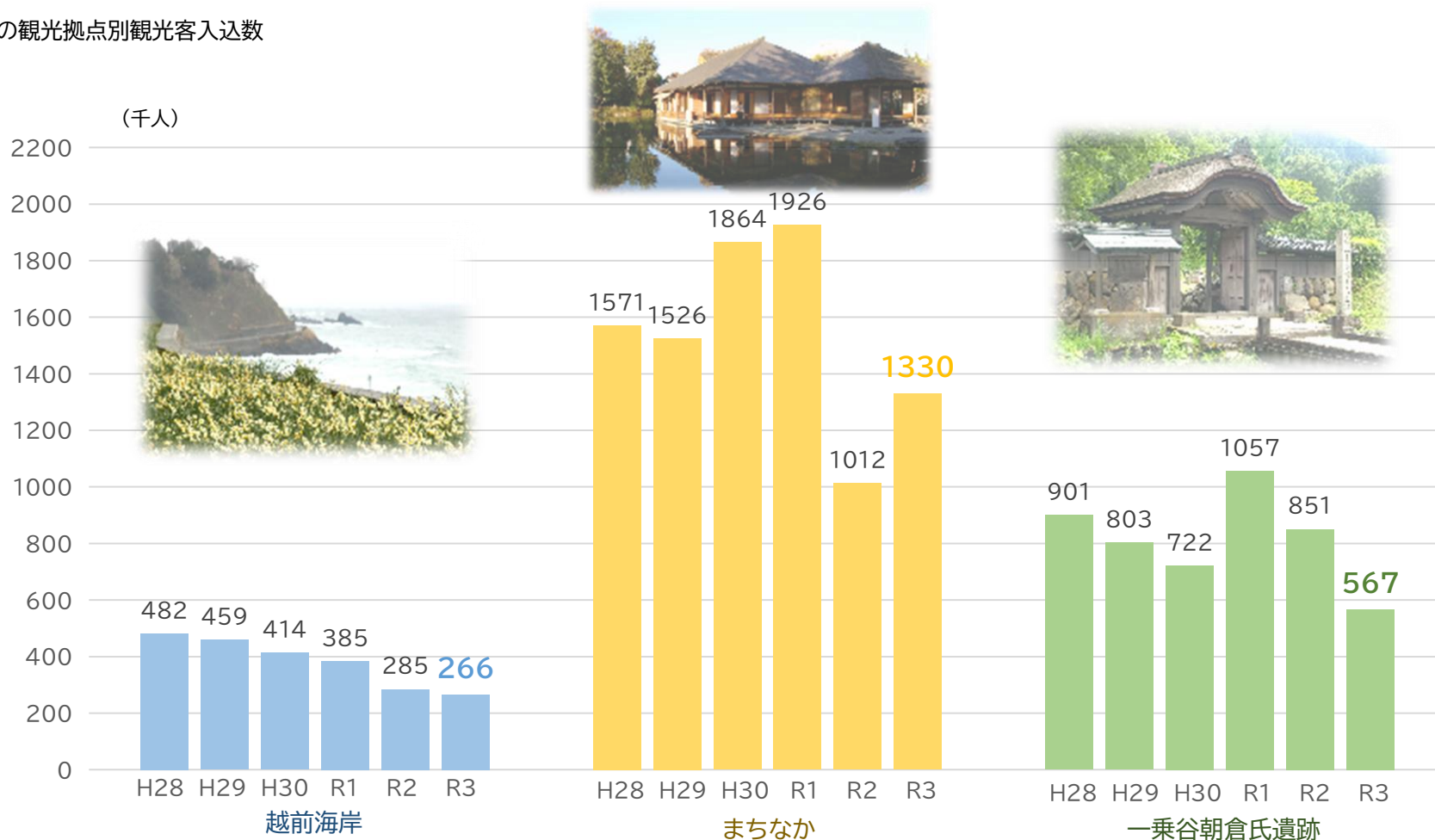
出典：福井市統計書

観光

(2)観光地別 観光客入込数

○観光地別では、「まちなか」への観光客が増加傾向にあるが、「越前海岸」「一乗谷朝倉氏遺跡」では減少傾向にある。

●本市の観光拠点別観光客入込数

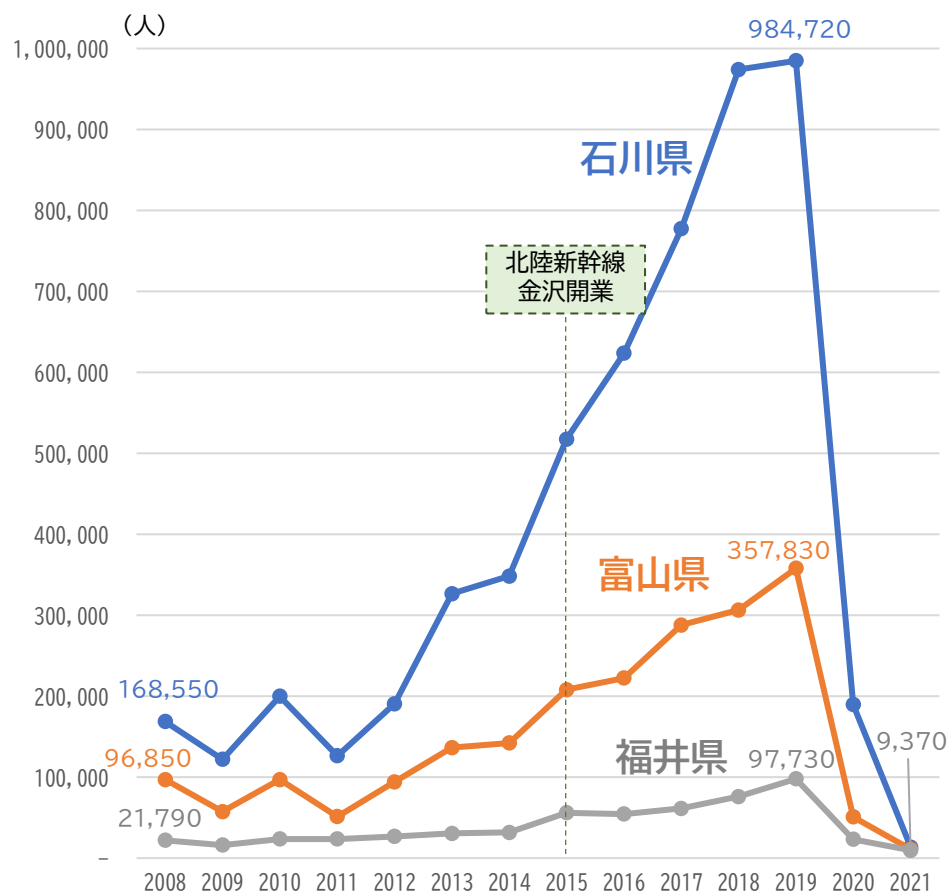


観光

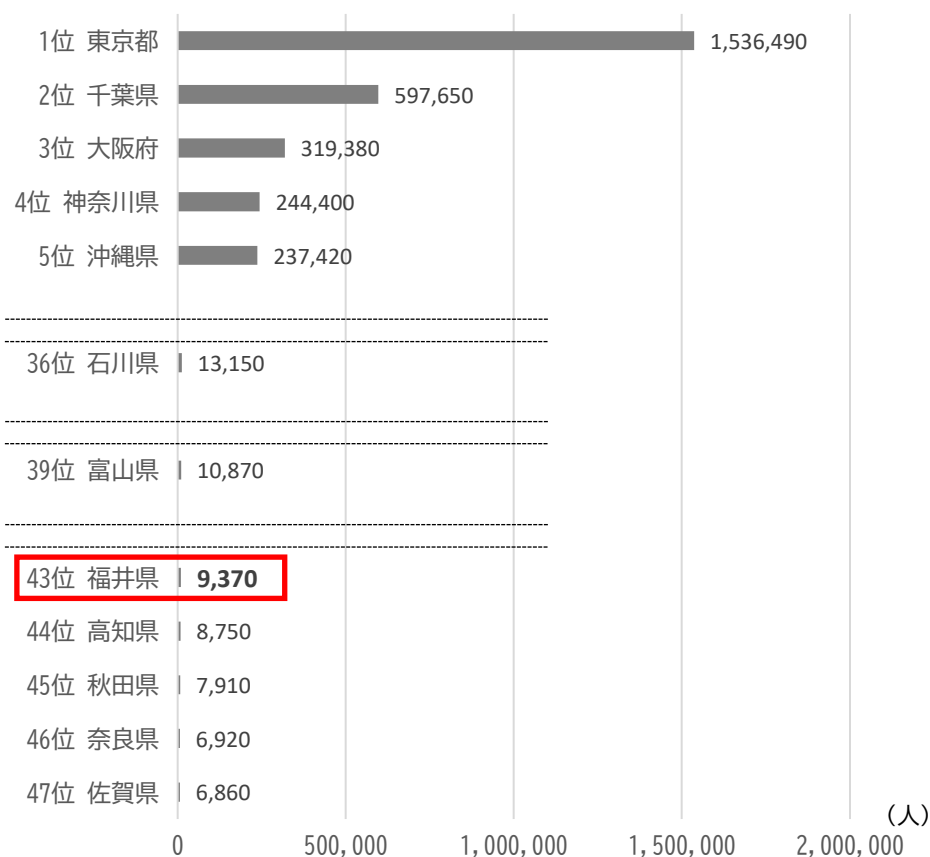
(3)外国人観光客

○2015年の北陸新幹線金沢開業を契機に、北陸3年の外国人観光客数は増加傾向にあったが、コロナ禍以降、減少している。
○都道府県の全国順位で見ると、福井県は下位となっている。

●北陸三県の外国人宿泊者数の推移



●外国人宿泊者数の全国順位(2021)

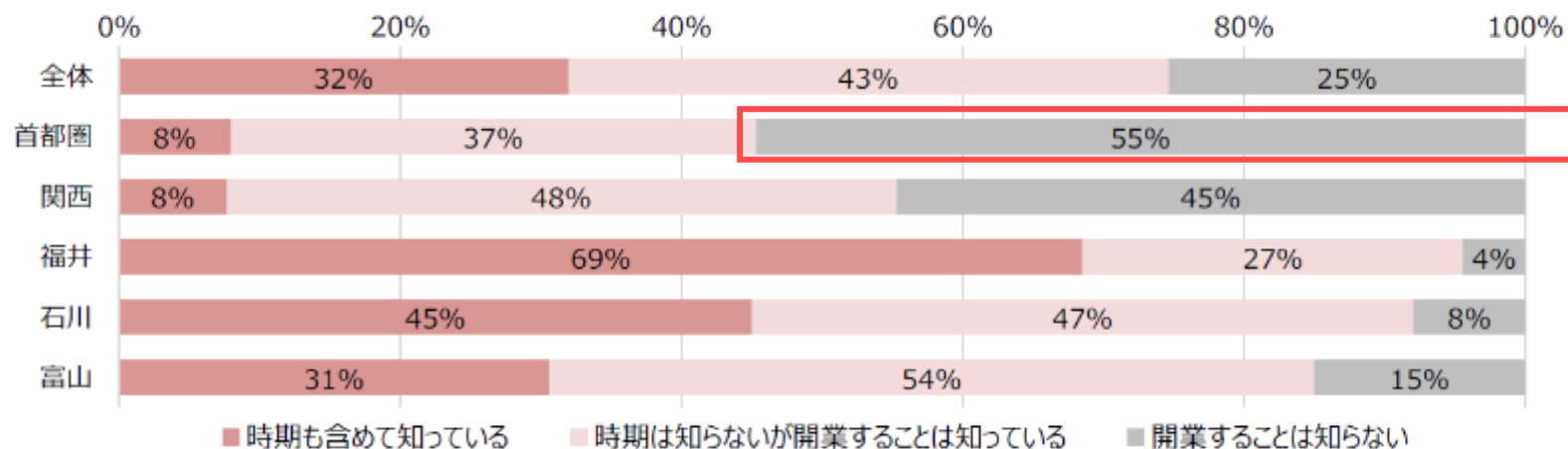


観光

(4) 新幹線開業に関する認知度

○令和4年10月の調査では、北陸新幹線開業について首都圏の約55%が「知らない」と回答しており、まだ認知度が低い状況。
 ○福井在住者が自県に持つイメージは、「食・酒」「温泉」「自然」と、全体回答と同様であるが、首都圏においては、「イメージなし」が約3割。

●居住地別・北陸新幹線敦賀開業の認知度



●居住地別・福井県に対するイメージ

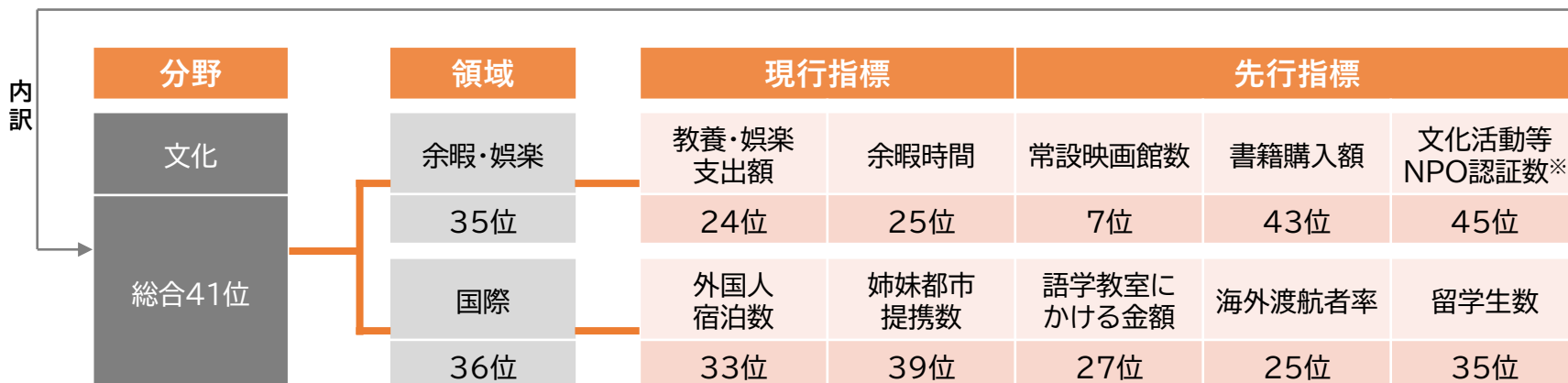
居住地	食・酒	温泉	歴史・史跡	産業	伝統工芸	自然	寺社仏閣	祭	その他	イメージなし
福井	56%	43%	20%	4%	17%	57%	9%	1%	4%	11%
全体	35%	32%	18%	6%	13%	36%	11%	0%	7%	21%
首都圏	31%	16%	19%	4%	15%	23%	9%	0%	6%	31%
関西	34%	34%	15%	4%	13%	33%	4%	0%	6%	22%
石川	29%	30%	17%	9%	12%	36%	15%	0%	9%	17%
富山	24%	35%	19%	11%	7%	31%	16%	0%	10%	21%

(1)文化指標の都道府県順位

○都道府県 幸福度ランキングでは、福井県は総合1位だが、文化分野では、低い順位となっている。
 ○内訳でみると、「文化活動等NPO認証数」が45位と最下位付近にあり、県民の文化活動が低調と言える。

●福井県の幸福度ランキングの経年変化(都道府県順位)

		2012年版	2014年版	2016年版	2018年版	2020年版	2022年版
総合ランキング		3位	1位	1位	1位	1位	1位
分野別 (5分野)	健康	16位	17位	13位	8位	14位	11位
	文化	44位	38位	42位	33位	38位	41位
	仕事	1位	1位	1位	1位	1位	1位
	生活	3位	3位	7位	5位	4位	4位
	教育	1位	1位	1位	1位	1位	1位



※学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動を行うNPO認証数

○本市には数多くの文化財があり、代表的なものとしては、「一乗谷朝倉氏遺跡」「大安寺」「養浩館庭園」などがある。
○令和3年3月に、県内で初めて国の重要文化的景観として「越前海岸の水仙畑 下岬の文化的景観」が選定された。

●本市の文化財の登録状況(R5.4.1現在)

	国指定（選定）文化財	県指定文化財	市指定文化財
建造物	1 大安寺	3 瑞源寺本堂 等	17 旧梅田家住宅 等
絵画	3 絹本著色 羅漢図 等	9 絹本著色 親鸞聖人伝絵 等	3 絹本著色 八祖九祖絵図 等
彫刻	1 木造十一面観音菩薩立像	19 木造阿弥陀如来坐像 等	18 木造聖徳太子立像 等
工芸品	3 鉄製銀象眼冑 等	5 刀 銘越前国康継 等	1 梵鐘
書跡、典籍、古文書	2 紙本墨書 結城宗広 自筆書状 等	2 八十一難経版本 等	3 西蓮寺文書 等
歴史資料	1 世界及日本図 六曲屏風	2 木彫朱漆塗カメラ 等	
考古資料	2 一乗谷朝倉氏遺跡出土品 等	6 舟形石棺 等	5 石棺附副葬品 等
無形民俗文化財	2 睦月神事 等	6 馬鹿ばやし 等	1 免鳥夜網節
有形民俗文化財		1 鎌のコレクション	1 八幡神社千石船絵馬
史跡	3 一乗谷朝倉氏遺跡 等	5 北堀貝塚 等	17 盛源寺 等
名勝	2 養浩館(旧御泉水屋敷)庭園 等		1 青木氏(青木蘭麿堂)庭園
天然記念物	1 アラレガコ生息地	1 真杉家のタラヨウ	20 ラカン樹 等
文化的景観	1 越前海岸の水仙畑 下岬の文化的景観		

表以外に、国選択文化財：1、国登録文化財：24がある。

学校教育

(1) 学力全国順位

○2007年度の調査開始以来、全国トップクラスの学力を維持している。

●全国学力・学習状況調査結果の推移

小学校総合順位

	2007	2008	2009	2010	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2021	2022
1位	秋田	秋田	秋田	秋田	秋田	秋田	秋田	秋田	石川	石川	石川	秋田 石川	石川	石川
2位	福井	福井	福井	福井	福井	福井	福井	石川	秋田	秋田	秋田		秋田	秋田
3位	香川	青森	青森	青森	石川	石川	石川	福井	福井	福井	福井	福井	福井 東京	福井 東京
4位	青森	富山	広島	京都	青森	青森	青森	青森	広島	愛媛	富山	青森 富山		
5位	富山	東京	石川	広島	富山	香川	富山	富山	富山	富山	東京 広島		京都	富山 京都

中学校総合順位

	2007	2008	2009	2010	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2021	2022
1位	福井	福井	福井	福井	秋田	秋田	福井	福井	福井	福井	福井	福井	石川	石川
2位	富山	秋田	秋田	秋田	福井	福井	秋田	秋田	秋田	石川	石川	石川 秋田	福井 秋田	福井
3位	秋田	富山	富山	富山	富山	石川	富山	石川	石川	秋田	秋田			秋田
4位	石川	岐阜	石川	岐阜	石川	岐阜	石川	富山	富山	富山	富山	富山	東京	徳島
5位	岐阜	石川	岐阜	石川	群馬	富山	静岡	岐阜	静岡	愛媛	静岡	東京 静岡	静岡	香川

※2020年度は調査未実施
 ※順位については、国語・算数（数学）の平均正答率の合計で順位付
 ※公立のみ

学校教育

(2)体力全国順位

○福井県の児童生徒の体力では、小中学生ともに、2008年度の調査開始以来、全国トップクラスを維持している。
 ○長引く新型コロナウイルス禍の影響で、各種種目の記録は全国的に低下にある。

●全国学力・運動能力、運動習慣等調査結果の推移(公立)

小学校男子(5年生)

	2016	2017	2018	2019	2021	2022
1位	福井	福井	大分	福井	大分	福井
2位	茨城	茨城	福井	大分	福井	大分
3位	秋田	石川	石川	石川	石川	石川
4位	広島	秋田	茨城	秋田	秋田	秋田
5位	石川	大分	広島	茨城	埼玉	埼玉

小学校女子(5年生)

	2016	2017	2018	2019	2021	2022
1位	福井	福井	福井	福井	福井	福井
2位	茨城	茨城	茨城	茨城	大分	石川
3位	秋田	秋田	大分	秋田	秋田	大分
4位	新潟	新潟	新潟	大分	茨城	秋田
5位	埼玉	埼玉	秋田	埼玉	新潟	茨城

中学校男子(2年生)

	2016	2017	2018	2019	2021	2022
1位	茨城	福井	福井	茨城	新潟	福井
2位	福井	茨城	茨城	福井	大分	岩手
3位	新潟	石川	新潟	大分	福井	新潟
4位	石川	新潟	石川	新潟	秋田	秋田
5位	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	岩手	大分

中学校女子(2年生)

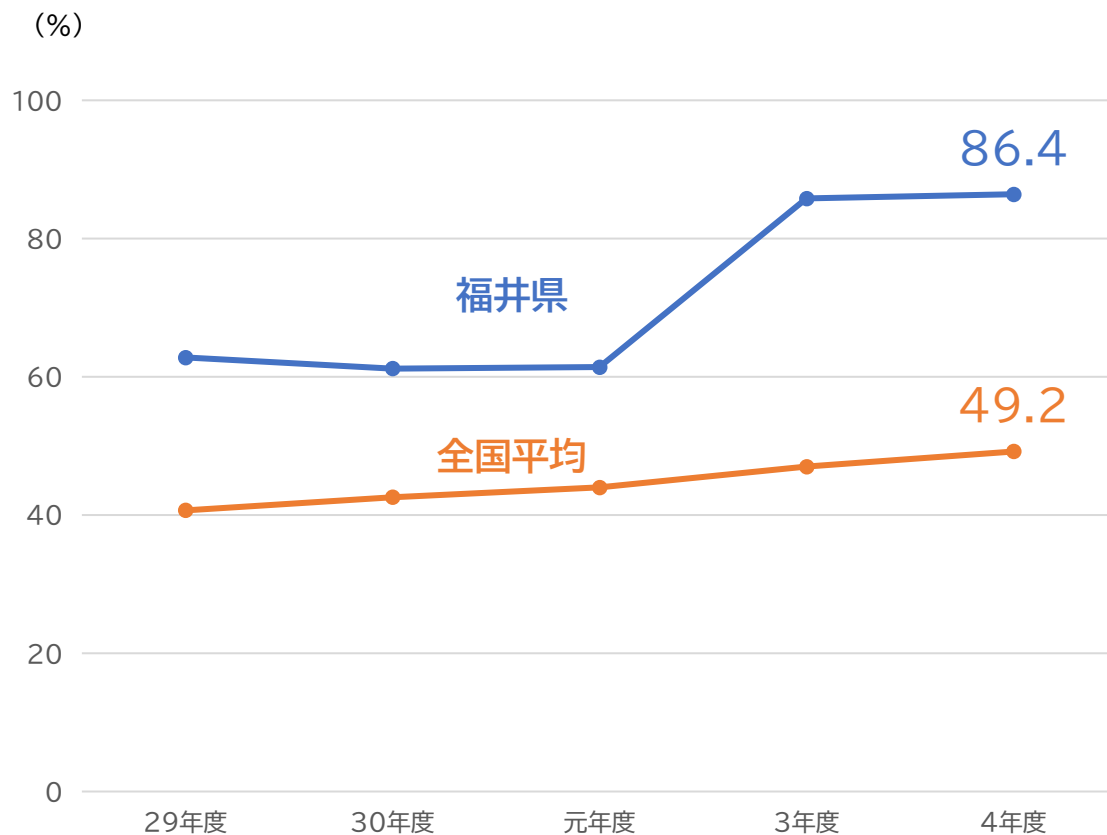
	2016	2017	2018	2019	2021	2022
1位	福井	福井	福井	福井	福井	埼玉
2位	茨城	茨城	埼玉	埼玉	埼玉	福井
3位	埼玉	埼玉	茨城	茨城	茨城	茨城
4位	千葉	石川	新潟	新潟	新潟	岩手
5位	石川	千葉	石川	広島	大分	新潟

※握力、反復横跳び、50メートル走、立ち幅跳びなど8種目の記録を10点満点で点数化
 ※2020年度は調査未実施

出典：スポーツ庁「令和4年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書」

○福井県の中学3年生の英語力は、全国平均を大きく上回っており、都道府県別で5年連続全国第1位となっている。

●中学3年生の英語力の推移(英検3級程度以上の英語力を有する生徒の割合)



※全国平均には、政令指定都市を含む
 ※令和2年度は、コロナ禍に伴い調査なし

【令和4年度 都道府県別上位】

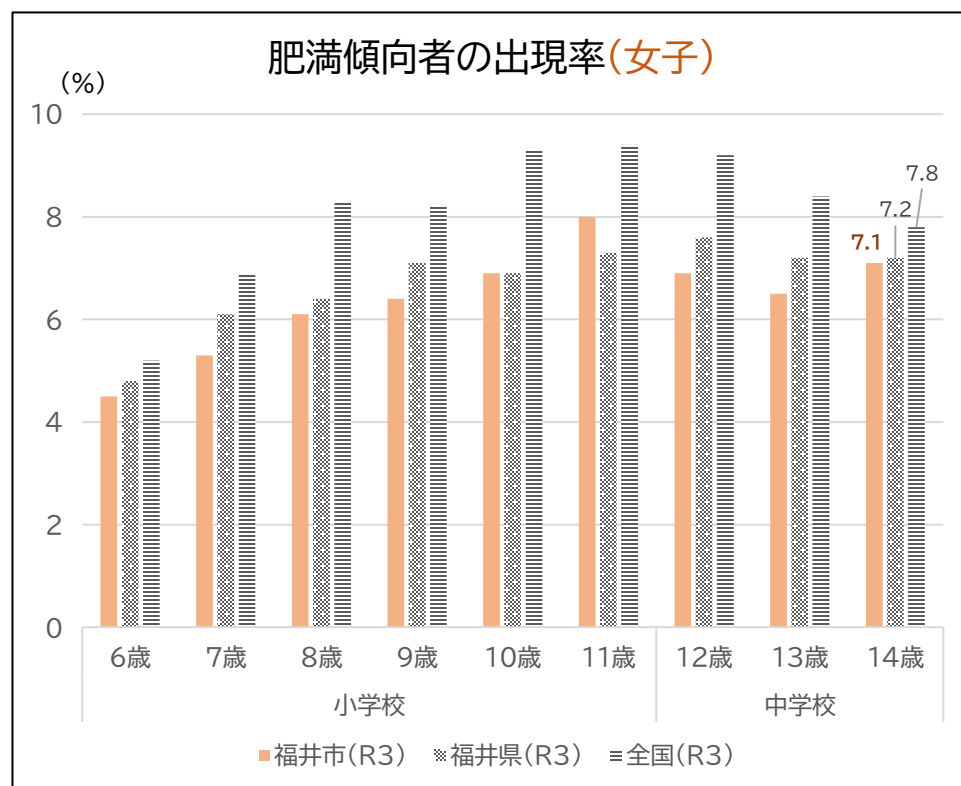
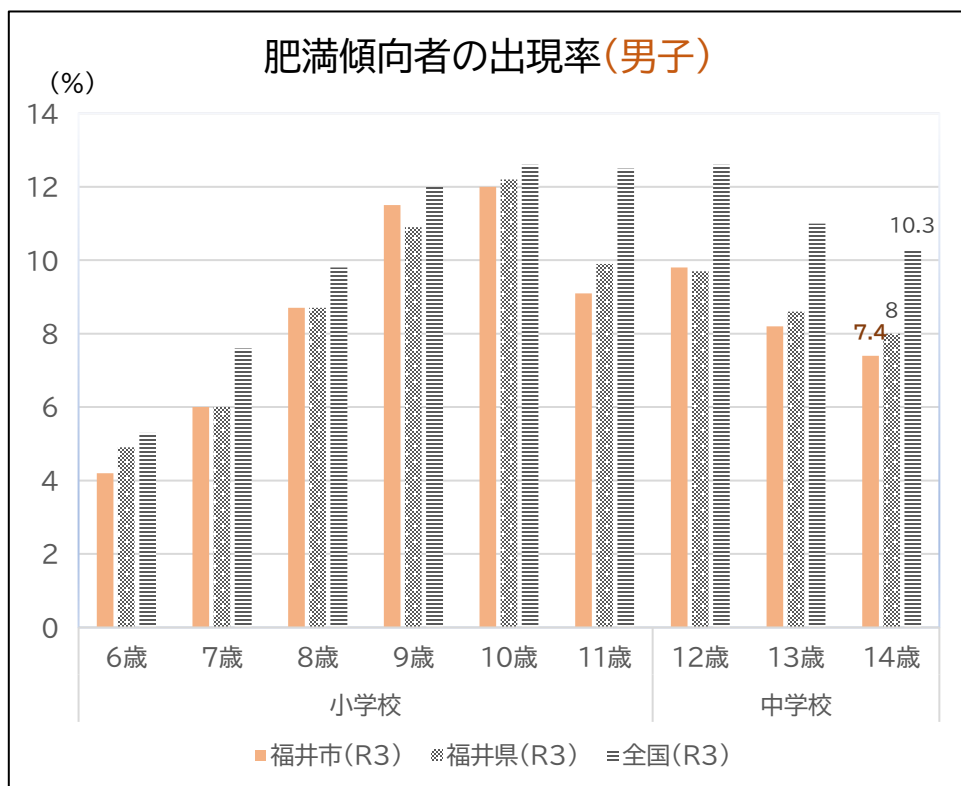
都道府県	割合
①福井県	86.4%
②東京都	59.5%
③群馬県	59.1%
③千葉県	59.1%
⑤岐阜県	54.8%

学校教育

(4)子どもの健康(肥満)

○肥満傾向の割合は、ほぼ全ての年齢で全国平均・県平均を下回っており、県内の子どもの発育は良好と言える。

●肥満傾向者の出現率(福井県・全国・福井市)



生涯学習、生涯スポーツ

(1)生涯学習

○地域住民の活動拠点である公民館を、令和4年度は延べ約52万人が利用している。
 ○令和2年度以降は、コロナ感染対策として利用制限期間があったことから、参加人数が大きく減少している。

●公民館における事業別延べ参加人数(令和4年度)

公民館主体			団体主体		合計
教育事業	会議	共催事業	講座	団体事業	
47,517人	32,887人	56,536人	203,760人	182,378人	523,078人
9.1%	6.3%	10.8%	39.0%	34.9%	100.0%

●教育事業における目的別延べ参加者数(令和4年度)

	目的別事業					項目計(人)
	地域の課題解決に向けた事業	家庭教育に関する事業	少年教育に関する事業	青年教育に関する事業	郷土学習に関する事業	
R4年度	22,384	7,564	7,510	3,396	6,663	47,517
R3年度	15,692	5,185	5,762	3,300	4,148	34,087
R2年度	14,921	5,550	5,269	3,687	4,301	33,728
R元年度	28,655	10,527	11,401	4,856	10,605	66,044
H30年度	30,158	9,615	11,579	6,104	10,035	67,491

※令和元年度から郷土学習に関する事業を福井学事業に一本化

○令和2年度との比較では、コロナ禍による閉館期間が縮小されたため、全ての図書館で入館者が増加している。

●図書館の利用状況(令和3年度)

		市立 図書館	移動図書館 (市立)	みどり 図書館	移動図書館 (みどり)	桜木 図書館	美山 図書館	清水 図書館	福井市 総計
開館日数 ※()は2年度比		284日 (+32)	128日 (+17)	283日 (+30)	111日 (+18)	329日 (+29)	283日 (+72)	279日 (+19)	—
入館者数 ※()は2年度比		148,131人 (+19,125)	9,656人 (+1,292)	179,378人 (+32,958)	8,499人 (+1,736)	218,957人 (+25,255)	13,823人 (+6,409)	9,173人 (+2,441)	587,617人 (+89,216)
貸出冊数	一般書	225,183冊	10,530冊	223,319冊	7,601冊	154,550冊	9,677冊	10,521冊	641,381冊
	児童書	154,848冊	27,727冊	166,945冊	17,404冊	75,597冊	5,359冊	9,925冊	457,805冊
1日平均入館者数		522人	—	634人	—	666人	49人	33人	1,904人
1日平均貸出冊(点)数		1,421冊・点	—	1,551冊・点	—	760冊・点	56冊・点	86冊・点	3,874冊・点

生涯学習、生涯スポーツ

(3)スポーツ

○市体育施設では、令和2年度以降は、コロナ感染対応として利用制限期間があったことから、利用者数が減少している。
 ○スポーツを楽しみながら心身の健全な育成を図ることを目的として、様々な種目のスポーツ少年団が活動している。

●市体育施設利用者数

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
利用者数(万人)	111	125	123	124	117	106	65	63

万人未満切り捨て

●福井市スポーツ少年団 種目別団数・団員数登録状況(令和3年度)

種目別	複合	リーダー会	野球	剣道	ソフトボール	バレーボール	卓球	サッカー	ミニバスケット	バドミントン	陸上	マーチング	合計
団数(団)	2	1	26	2	3	17	3	8	10	5	2	1	80
団員数(人)	46	9	428	36	31	197	28	214	209	78	81	13	1,370
前年比 団員数(人)	+13	+2	-23	-3	-8	-6	-2	-40	+12	-16	-17	+1	-87

その他

(1) 住みよさランキング(全国順位)

○東洋経済新報社から発表された「住みよさランキング2022」において、本市は歴代最高位となる全国第2位となった。
(県庁所在地及び中核市の中では、いずれも第1位)

●「住みよさランキング」における福井市の順位変動

	2017 (平成29)	2018 (平成30)	2019 (令和元)	2020 (令和2)	2021 (令和3)	2022 (令和4)
安心度	48位	66位	165位	169位	212位	119位
利便度	111位	156位	42位	43位	51位	50位
快適度	222位	244位	213位	251位	259位	260位
富裕度	182位	183位	67位	76位	69位	21位
総合	13位	32位	4位	5位	7位	2位

【「住みよさランキング2022」について】

公的統計等を基に、それぞれの都市の「住みよさ」を「安心度」「利便度」「快適度」「富裕度」の4つのカテゴリーに分類し、20の指標について偏差値を算出して、その平均値を総合評価として全国の812都市を順位付けしたもの。

その他

(2) 住みよさランキング(本市の特徴)

- 全国の都市(812市区)と比べ、福井市は「平均寿命・女」「納税者1人当たり所得」などが上位となっている。
- 都道府県(47都道府県)と比べ、福井県は「有効求人倍率」「合計特殊出生率」などが上位となっている。

●各種データのうち、**福井市**の主な上位項目及び下位項目(812市区中)

上位項目 😊		順位(812中)
平均寿命・女	87.9歳	21位
製造業事業所数	557	48位
女性労働力率	54%	69位
水道料金(1か月)※	2,761円	71位
納税者1人当たり所得	375.5万円	78位

下位項目 😞		順位(812中)
介護保険料	6,600円	727位
年間日照時間	1,661時間	710位
高齢人口比率	29.07%	516位
千人あたり刑法犯認知件数※	4.41件	513位
後期高齢者比率	15.07%	467位

※の項目は、数値が小さいものを上位としている。

●各種データのうち、**福井県**の主な上位項目及び下位項目(47都道府県中)

上位項目 😊		順位(47中)
有効求人倍率	1.74倍	1位
1世帯当たり人数	2.59人	1位
住宅当たり延べ床面積	138.4㎡	2位
合計特殊出生率	1.61	6位

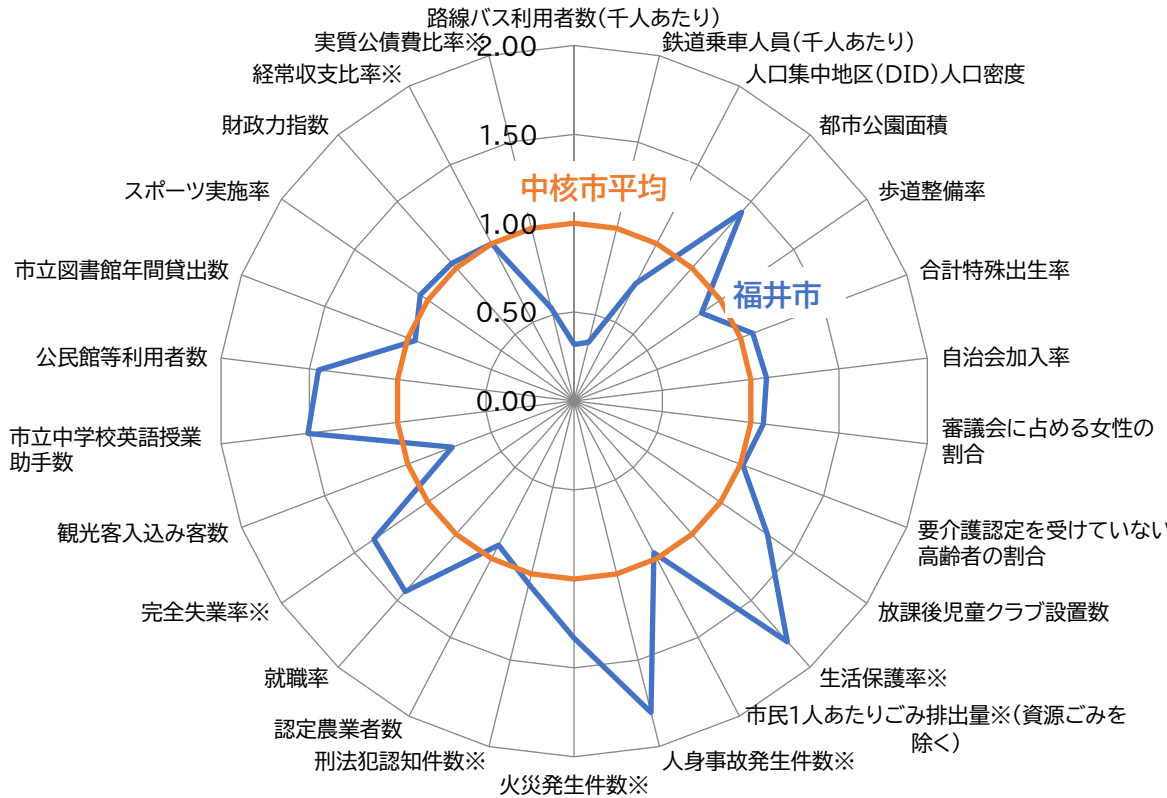
下位項目 😞		順位(47中)
労働力人口	423千人	43位
病院数	67施設	43位
国内総生産(名目)	33,236億円	42位
大学・大学院:在籍者数	12,364人	39位

その他

(3)中核市間との比較

- 中核市平均よりも優れている指標は、「都市公園面積」「合計特殊出生率」「就職率」など
- 中核市平均よりも劣っている指標は、「鉄道乗車人員(千人あたり)」「観光客入込み数」など

●中核市平均を1.00とした場合の福井市の行政水準(令和2年度末基準:62中核市)



	項目	福井市	中核市平均	順位	単位
社会基盤	路線バス利用者数(千人あたり)	0.02	0.07	27位	人/日
	鉄道乗車人員(千人あたり)	615.6	1803.0	41位	人/日
	人口集中地区(DID)人口密度	4616	6182	46位	人/㎓
	都市公園面積	15.40	10.85	11位	㎡/人
	歩道整備率	16.11	18.51	28位	%
市民福祉	合計特殊出生率	1.50	1.40	10位	-
	自治会加入率	74.10	68.05	22位	%
	審議会に占める女性の割合	32.40	30.26	18位	%
	要介護認定を受けていない高齢者の割合	81.49	80.40	17位	%
	放課後児童クラブ設置数	6.08	4.61	16位	クラブ数/児童千人
	生活保護率※	9.91	17.91	11位	%
	市民1人あたりごみ排出量※(資源ごみを除く)	856.0	824.2	37位	g/人日
産業	人身事故発生件数※	146.0	263.1	3位	件/10万人
	火災発生件数※	1.77	2.36	14位	件/万人
	刑法犯認知件数※	4.46	4.73	31位	件/千人
	認定農業者数	230.0	251.4	27位	経営体
教育	就職率	40.50	28.29	5位	%
	完全失業率※	2.87	3.93	2位	%
	観光客入込み客数	9.39	12.81	33位	人/市民1人
教育	市立中学校英語授業助手数	3.04	2.01	9位	人/生徒千人
	公民館等利用者数	1.34	0.93	13位	人/市民1人
財政	市立図書館年間貸出数	3.92	4.10	27位	冊/市民1人
	スポーツ実施率	50.30	47.88	23位	%
	財政力指数	0.83	0.80	25位	-
財政	経常収支比率※	92.80	92.74	32位	%
	実質公債費比率※	10.40	5.60	58位	%

※数値が低いほど望ましい指標(※のついた指標)については、低い方が良い指標であるため、逆数をとって指数化している

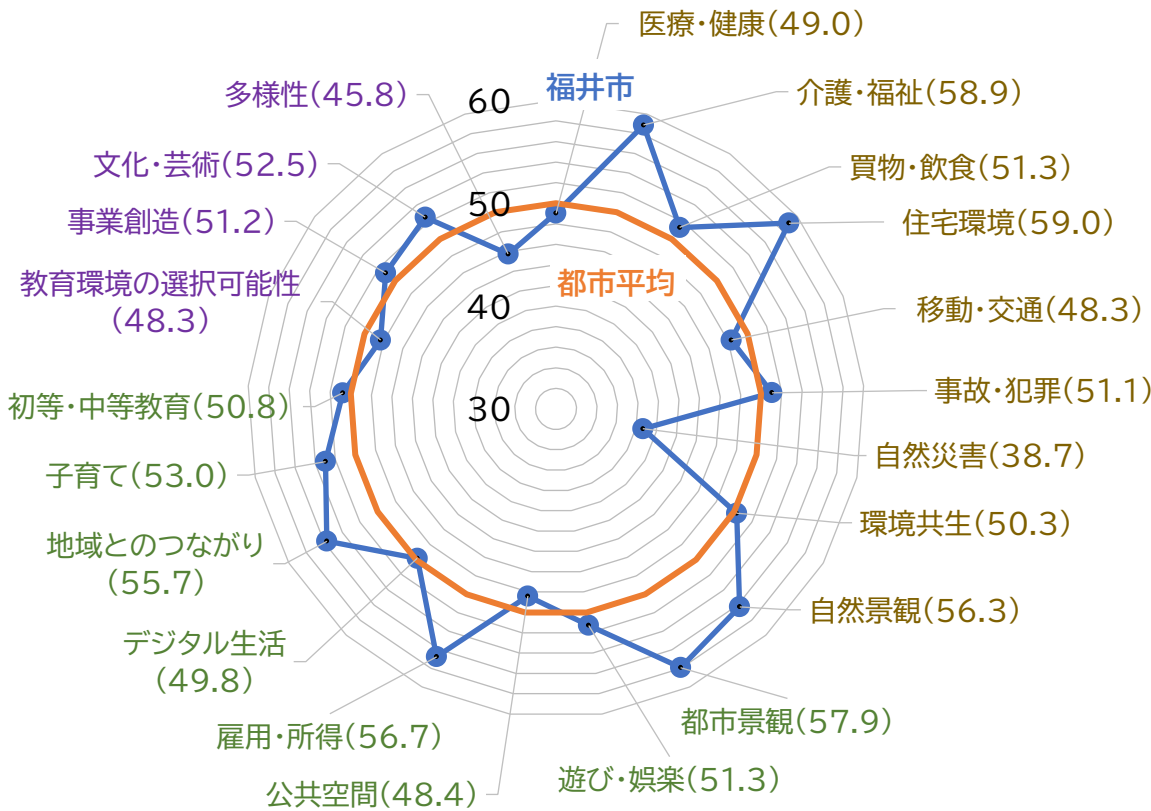
その他

(4) 地域幸福度 (Well-Being) 客観指標

○デジタル庁が定めた地域幸福度 (Well-Being※)に関する客観指標によると、福井市は「住宅環境」「子育て」「地域とのつながり」などが全国平均を上回っているが、一方で「移動・交通」「自然災害」「多様性」などは平均を下回っている。

※ Well-Being…「身体的、精神的、社会的に良好な状態になること」 (WHOより)

●全国都市の平均値を50とした場合の福井市の各項目の偏差値



精神	社会	身体	総合
49.4	52.9	51.4	51.6

	項目 (指標数)	指標 (オープンデータを基本として算出)	
身体	医療・健康(7)	健康寿命、医療費、健康診断受診率、特定健康診断受診率など	
	介護・福祉(4)	福祉施設徒歩圏人口カバー率、障がい者視線施設数、児童福祉施設数など	
	買物・飲食(4)	商業施設数、飲食店数、商業施設徒歩圏人口カバー率など	
	住宅環境(4)	1住宅あたり延べ面積、持ち家割合、平均価格(住宅地)など	
	移動・交通(5)	駅またはバス停徒歩圏人口カバー率、一人あたり小型車走行キロ、職場までの平均通勤時間など	
	事故・犯罪(3)	交通事故数、空家率、刑法犯認知件数	
	自然災害(1)	自然災害・防災指数(市域を250mメッシュで自然災害(地震・水害)リスクならびに自治体による防災対応力を算出し、人口密度で加重平均をとることで数値化)	
	環境共生(4)	CO2排出量、ごみのリサイクル率、環境共生指標(SDGs未来都市、ゼロカーボンシティ表明の有無、脱炭素先行地域など)	
	自然景観(1)	自然景観指数(国立・国定・県立公園の有無、景観重要樹木の有無など)	
	社会	都市景観(1)	都市景観指数(都市景観大賞の受賞有無、景観条例の有無、景観協定の有無など)
遊び・娯楽(1)		娯楽事業所数	
公共空間(4)		公園緑地徒歩圏人口カバー率、公園面積、公共空間指数(歩道設置率、ウォークアブル推進都市、自転車活用推進計画の有無など)	
雇用・所得(8)		失業率、正規雇用者比率、創業比率、高齢者有業率、高卒者進路未定者率など	
デジタル生活(3)		自治体DX、デジタル政策(マイナンバー取得率、国勢調査ネット回答率など)、デジタル生活指数(大学ICT関連学部の有無、通信キャリア店舗数など)	
地域とのつながり(12)		投票率、自殺者数、自治会町内会加入率等、NPO数、高齢単身世帯割合など	
子育て(6)		合計特殊出生率、10万人あたり待機児童数等、歳出総額における教育費割合など	
初等・中等教育(6)		可住地面積あたり小・中・高等学校数、1施設あたり学生数	
精神		教育環境の選択可能性(3)	大卒、院卒者割合、大学、短大数、中高一貫校数
		事業創造(4)	新規設立法人割合、コワーキングスペース数、大学発ベンチャー企業数など
	文化・芸術(6)	芸術家・著述者等割合、図書館数、博物館数、劇場等の数、日本遺産数など	
	多様性(5)	女性議員割合、外国人人口、女性管理職割合、自治体職員における障害者の割合、パートナーシップ宣誓制度の有無など	